

拓殖大学大学院 言語教育研究科  
言語教育学専攻 博士論文

感情の表現形式による分類  
—直接的表現から客観的表現まで—

2018 年  
指導教授：石川 守 教授

蔡 嘉紘

## 目次

第一章	はじめに	6
1.1	研究動機と目的	
1.2	研究方法	
1.3	本論文の構成	
第二章	感情表現の使い分けに関する先行研究	10
2.1	倉持 (1986)	10
2.1.1	「腹が立つ」と「腹を立てる」の一般的な定義	
2.1.2	「腹が立つ」、「腹を立てる」と「自動形」、「他動形」の意味的な対応関係	
2.1.3	「腹が立つ」と「腹を立てる」の意味・用法の差異	
2.2	加藤 (2001)	16
2.2.1	「喜ぶ」と「楽しむ」	
2.2.2	テイル形	
2.2.3	タ形	
2.3	大曾 (2001)	19
2.3.1	感情表現と主体に関する制限	
2.3.2	第三者の感情の表現	
2.3.2.1	「一がる」	
2.3.2.2	「一む」／「一する」	
2.3.2.3	「一ている」	
2.3.2.4	他動詞	
2.4	馬場 (2001)	23
2.5	まとめ	24
第三章	感情表現の表現形式	27
3.1	感情表現の特徴	27
3.2	直接感情表現とその下位分類	29
3.2.1	直接感情表現	

3.2.2	直接感情表現の下位分類	
3.3	間接感情表現とその下位分類	32
3.3.1	間接感情表現	
3.3.2	間接感情表現の下位分類	
3.4	直接・間接同形感情表現	36
3.5	まとめ	37
第四章	感情表現の生起性と恒常性	41
4.1	感情表現のAspectに関する先行研究	41
4.1.1	森山 (1983)	
4.1.2	小泉 (1989)	
4.1.3	吉永 (2004)	
4.1.4	関口 (2014)	
4.1.5	まとめ	
4.2	感情の生起性と恒常性	45
4.2.1	蔡 (2015)、蔡 (2017) における分類方法	
4.2.2	瞬間的感情と恒常性感情に関する再考	
4.3	表現形式による各分類の生起性と恒常性	49
4.3.1	「直接感情表現」の生起性と恒常性	
4.3.2	「間接感情表現」の生起性と恒常性	
4.3.3	「直接・間接同形感情表現」の生起性と恒常性	
4.4	まとめ	53
第五章	感情表現の各語句の分析	56
5.1	研究対象の選定	56
5.1.1	辞典が収集した感情表現の語句	
5.1.1.1	『感情表現辞典』(1993)	
5.1.1.2	他の感情表現に関する辞典	
5.1.1.3	現在の感情表現に関する辞典の問題点	

5.1.2	日本語教育のための基本語彙による選定	
5.1.2.1	『日本語教育のための基本語彙調査』	
5.1.2.2	『現代雑誌九十種の用語用字』の使用率による選定	
5.1.2.3	本研究の選定した研究対象	
5.1.3	検索例の選定	
5.2	感情表現の各語句の分析	71
5.2.1	「愛する」	71
5.2.2	「呆れる」	73
5.2.3	「焦る」、「慌てる」	76
5.2.4	「ありがたい (ありがたがる)」	79
5.2.5	「痛い (痛む、痛がる)」	82
5.2.6	「嫌 (嫌がる)」	87
5.2.7	「いらいらする」	90
5.2.8	「恨む」	93
5.2.9	「嬉しい (嬉しがる)」、「喜ぶ」	96
5.2.10	「おかしい (おかしがる)」	101
5.2.11	「怒る」	104
5.2.12	「惜しい (惜しむ、惜しがる)」	107
5.2.13	「恐れる」	111
5.2.14	「落ち着く」	114
5.2.15	「驚く」	116
5.2.16	「面白い (面白がる)」	119
5.2.17	「がっかりする」	122
5.2.18	「悲しい (悲しむ、悲しがる)」	124
5.2.19	「かわいそう」	128
5.2.20	「感じる」	130
5.2.21	「嫌い」、「好き」	133
5.2.22	「悔しい (悔やむ、悔しがる)」	136
5.2.23	「苦しい (苦しむ、苦しがる)」	140
5.2.24	「困る」	144

5.2.25	「怖い (怖がる)」	146
5.2.26	「寂しい (寂しがる)」	150
5.2.27	「残念 (残念がる)」	153
5.2.28	「楽しい (楽しむ、楽しがる)」	156
5.2.29	「辛い (辛がる)」	160
5.2.30	「泣く」	163
5.2.31	「懐かしい (懐かしむ、懐かしがる)」	165
5.2.32	「悩む」	169
5.2.33	「憎い (憎む、憎がる)」	172
5.2.34	「恥ずかしい (恥じる、恥ずかしがる)」	176
5.2.35	「腹が立つ」、「腹を立てる」	180
5.2.36	「びっくりする」	185
5.2.37	「欲しい (欲しむ、欲しがる)」	188
5.2.38	「笑う」	191
5.3	各分類に属す語句および分類の特徴	194
5.3.1	「純粹直接感情表現」の特徴	
5.3.2	「属性直接感情表現」の特徴	
5.3.3	「直接反応間接感情表現」の特徴	
5.3.4	「間接反応間接感情表現」の特徴	
5.3.5	「純粹間接感情表現」の特徴	
5.3.6	「直接・間接同形感情表現」の特徴	
5.4	まとめ	204
第六章  まとめおよび将来の展望		210
参考文献		233

# 第一章

## はじめに

# 第一章 はじめに

## 1.1 研究動機と目的

筆者が日本語学習を始めた時に、もっとも困ったことは、人称や、動作性の有無などによって感情や欲求、あるいは感覚などの表現のしかたが変わるということであった。このような日本語の特徴は、母語にそのような複雑な違いの存在しない学習者たちを大いに混乱させる。例えば、日本語では話し手の視点によって「嬉しい」、「嬉しいがる」などを使い分けなければならないが、中国語ではこれらに相当する違いは存在せず、「開心」しか使用しない。

(日本語)

私は嬉しい。

彼は嬉しいがっている。

(中国語)

我很開心

他很開心

また、日本語は、感情などを表すための言葉や表現、文法的な形式などが複雑に絡み合い、形容詞だけではなく、動詞、また、擬情語や慣用語などをフルに活用して感情や欲求、あるいは感覚などを表す言語である。また、中国語を母語とする日本語学習者にとって、ほとんど同じ感情や欲求、あるいは感覚などを表す言葉であっても、それぞれ差異があり、そう簡単に置き換えられないものが多く、学習者を一層困惑させることになる。本研究は、このような複雑な日本語の感情や欲求、あるいは感覚などの表現体系を研究し、その使い分けの特徴などによって、新たな分類方法を立てようとするものである。この分類によって感情や欲求、あるいは感覚などの表現全体の構造を明らかにし、より体系的な指導法の基礎とし、日本語教育にいくばくかの貢献をすることを目指している。

また、台湾は日本の作品をもっとも多く輸入している国であるという<sup>1</sup>。したがって、台湾の若手の作家たちの作品もこれらから多くの影響を受けている。しかし、日本語の作品の翻訳の質は、その報酬の低下により、低くなっており、誤訳などの多くの間違いが絶

---

1 中華民國財政部関務署および中華民國經濟部國際貿易局の統計資料により、2016年台湾が輸入した書籍、小冊、新聞、雑誌や定期刊行物の中で、日本から輸入したのは約19% (17841/89683) (単位：千ドル) である。

(<http://tpi.culture.tw/content-58-PStatusCtr-publishContent/12724>)

(<https://cus93.trade.gov.tw/FSC3210F/FSC3210S?menuURL=FSC3210S>)

えまなく出てしまう。どんなに優れた作品でも正確的に伝えられなければ意味はなくなる。それは読者ばかりでなく、作者にとっても災難としか言いようがない。本研究は両言語の交流の一助となればと思っている。

## 1.2 研究方法

まず、本研究においては、「感情、感覚や欲求などの心理的また生理的な内部の心の動き、およびそれによって生じる外部の反応や動き」などを研究対象とするが、これらを「感情表現」として一括して表記することにする。また、研究方法としては、日本語の感情表現を新たに分類するために、まず従来の人称による感情表現の使い分けに関する先行研究を分析し、その問題点を明らかにし、新たな表現形式による分類方法を立てた。また、この表現形式による新たな分類方法は、持続時間という大きな要素に左右される。そのため、感情の持続時間に関する先行研究に基づき、感情表現の持続時間の特徴を解明し、新たな分類方法の理論を補完することにした。

本研究を進めるに当たって、まず研究対象とする語を選択する必要がある。そのために、『日本語教育のための基本語彙調査』と『現代雑誌九十種の用語用字』の使用率順語彙表を用いて日本語教育における使用率の高い語から選択した。

選択した語の属す分類を確定するために、各語の用例を収集し、その語の特徴および表現形式を明らかにし、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』、『名大会話コーパス』と『感情表現辞典』の中から用例を検索し、用例の中の感情の表現形式を分析し、その語の分類を行った。なお、『名大会話コーパス』は検索エンジンを備えていないので、フリーソフト「サクラエディタ」を用いて、『名大会話コーパス』のデータを一斉に検索することにした。

また、各語の属す分類を明らかにした後、各分類の語を分析し、その共通点、および相違点を明らかにした。その結果に基づいて、感情表現全体の関係を明らかにした。

## 1.3 本論文の構成

本論文の構成は、次の通りである。

第一章では、研究動機、目的および研究方法について述べた。

第二章では、感情表現の使い分けに関する先行研究を考察し、従来分類方法の問題点を検討した。

第三章では、感情の表現形式の特徴を分析し、表現形式による「直接感情表現」や「間



接感情表現」などの新たな分類方法を立てた。

第四章では、新たな分類方法の理論を補完するため、感情のAspectに関する先行研究を分析し、「生起性感情」と「恒常性感情」といった性質を明らかにした。さらに各分類の生起性と恒常性の性質を検討した。

第五章では、本研究において研究対象となる語を絞って選定した。さらに、それらの語の属す分類および特徴を分析して明らかにした。また、研究対象となる語の属す分類を確定し、それぞれ分類した語の一覧表を作成した。最後に、その一覧表を利用し、分類された語の共通点および特徴を検討し、感情表現全体の特徴を分析して明らかにした。

第六章では、各章のまとめを行い、将来の展望について述べた。

## 第二章

### 感情表現の使い分けに関する先行研究

## 第二章 感情表現の使い分けに関する先行研究

学習者にとって日本語の感情表現のもっとも大きな問題点は「人称によって使用する言葉が変わる」ということである。この感情表現の使い分けに関して、従来の先行研究は基本的に形容詞が一人称、動詞が三人称（自動詞は一人称、他動詞は三人称）という前提に基づき、例外的な言葉を探し、そうなる原因を分析している。したがって、日本語の感情表現の「人称」に関する先行研究は、主に「特定の（感情を表す）言葉は例外的な使い方を有する」と「ある条件を加えれば、（感情を表す）言葉の人称の制限が緩和あるいは解除される」という二種の観点から行っている。本章はその「人称」に関する先行研究について考察し、それぞれの問題点を検討する。

### 2.1 倉持（1986）<sup>2</sup>

倉持は「腹が立つ」と「腹を立てる」に意味的な差異が存在するか、また、自他両形の意味的な対応関係に該当するかを検討している。

#### 2.1.1 「腹が立つ」と「腹を立てる」の一般的な定義

倉持は現行の国語辞書数種を調べ、「腹が立つ」と「腹を立てる」の定義を以下のように提示している。

##### ①『日本国語大辞典』<sup>3</sup>

見出し語「はら（腹）」の句項目

腹が立つ 怒る。癢にさわる。立腹する。はらだつ。

腹を＝立てる〔＝立つ〕 怒る。立腹する。

##### ②『岩波国語辞典』<sup>4</sup>

見出し語「はら（腹）」の語釈「②⊙気持。」の用例

「一が立つ」（怒る「一を立てる」）（同上）

---

2 倉持 保男（1986）「「腹が立つ」と「腹を立てる」」、『松村明教授古稀記念国語研究論集』pp706-722、明治書院

3 小学館、縮刷版第一版第三刷

4 第三版第一刷

③『新潮現代国語辞典』<sup>5</sup>

見出し語「はら（腹）」の句項目

〔一を立・てる〕怒る。立腹する。腹が立つ。腹を立つ。

④『三省堂国語辞典』<sup>6</sup>

見出し語「はら（腹）」の句項目

腹が立つ（句） おこつてがまんできなくなる。しゃくにさわる。（他動）腹を立てる〔＝おこる〕

⑤『新明解国語辞典』<sup>7</sup>

見出し語「はら（腹）」の語釈③「考えや心の働きがそこに含まれると想像された『腹⊖』。」  
の用例

「一が立つ〔＝不愉快になり、心の平静が保てなくなる。怒る〕」

⑥『学研国語大辞典』<sup>8</sup>

見出し語「はら（腹）」の子項目

一がた・つ〔一が立つ〕《句》しゃくにさわる。

一をた・てる〔一を立てる〕《句》怒る。立腹する。腹を立つ<sup>9</sup>。

⑦『国語慣用句辞典』<sup>10</sup>

腹が立つ 怒る・おこるのたとえ・様子。

腹を立てる 怒る・おこるのたとえ。

---

5 第一版第一刷

6 第三版一刷

7 三省堂、第三版第五刷

8 初版

9 原文のまま

10 白石 大二編、東京堂、一九版

⑧『慣用句の意味と用法』<sup>11</sup>

「腹が立つ／腹を立てる」

(意味) 心中に怒りの感情の生じる状態を言う。

①～④、および⑦、⑧は「腹が立つ」と「腹を立てる」の意味を同義として扱っている。

(④は「腹を立てる」を「腹が立つ」の他動形として扱っているが、意味的には同じと扱っている) ⑤は片方しか載せていない。⑥の語釈は重なる部分はないが、さらに調べると以下のような語釈がある。

「しゃく(癩)」の語釈②

不愉快で、腹がたってむしゃくしゃすること(「癩にさわる」の句は取り上げていない)

「おこる(怒る)」の項①

不快・不満の気持ちを表面に表す。腹を立てる。

両語の語釈を見ても、結局見出し語の両句に戻ってしまい、意味の差を知ることはできないと述べている。

## 2.1.2 「腹が立つ」、「腹を立てる」と「自動形」、「他動形」の意味的な対応関係

意味としては相違を見出すことができないことから、倉持は「立つ」と「立てる」の自動詞と他動詞といった形式について、意味的な対応関係を調べている。

まず自他両形の対応関係で、もっとも目につくのは以下のようなものであると述べている。

自動形——他(多動形における動作の主体)から及ぼされる働きかけによって生じる  
主体(多動形における対象物)自体の変化、または、結果として生じる状態を表す。

他動形——意志を持った動作の主体、またはそれに準ずるとみなされる主体の、対象

---

11 宮地 裕編、明治書院、初版

物に及ぼす何らかの変化や影響を表す。<sup>12</sup>

他動形		自動形
(ダレカガ) 窓を開ける	——	(ソノ結果) 窓が開く
木を倒す	——	木が倒れる
電気をつける	——	電気がつく
火を消す	——	火が消える
位置を変える	——	位置が変わる
ビルを建てる	——	ビルが建つ

一般的に、他動形の方は動作主体が意図的な行為を行うことが多いが、以下のような非意図的なこともある。

他動形		自動形
(ダレカガ) 財布をなくす	——	財布がなくなる
皿を割る	——	皿が割れる
家運を傾ける	——	家運が傾く

意図的な行為ではないが、自動形で表せば、上の方と同じく他動形の行為がもたらす結果を示している。言い換えれば、自他両形は意味的な対応関係がある場合には、概ね以下のような対応関係があると倉持は述べている。

他動形		自動形
動作主の意図的な行為	——	その結果

しかし、「腹が立つ」と「腹を立てる」は、この自他の対応関係に適合しているかについて述べている。

---

12 倉持 保男 (1986) 「「腹が立つ」と「腹を立てる」」、『松村明教授古稀記念国語研究論集』p709、明治書院

他動形

自動形

(ダレカガ何カニ対シテ〔意図的ニ〕) —— (ソノ結果トシテ、ダレカノ)

腹を立てる

腹が立つ

倉持は「腹を立てる」と「腹が立つ」のような心の変化は意志によって抑制がききにくいので、このような対応関係としてとらえることは明らかに無理だと考えている。また、「腹を立てる」を非意図的な行為の結果、生じた状態（財布をなくす、皿を割る、家運を傾ける）を表すものであるとしても、「腹を立てる」という行為は動作主自身に関わる場合もあるが、一般的に他から与えられた要因に基づくのが普通であるので無理であると述べている。結局、「腹が立つ」と「腹を立てる」は自他両形の意味的な対応関係（意図的または非意図的）とは異なるという結論に至っている。

### 2.1.3 「腹が立つ」と「腹を立てる」の意味・用法の差異

倉持は「腹が立つ」と「腹を立てる」には形式的に自他の対応があるが、一般的な自他両形の意味的な対応関係とは異なると述べている。また、実際の用例を検討し、以下の表のようにそれぞれの差異を見出している。

「腹が立つ」	「腹を立てる」
主体の心内に生じる感情の変化そのものを表す。	主体の心内に生じた感情の変化が基になって、表情・態度・言動等に投影された何らかの変化を、その起因になる感情の変化と一体化させて、動的な変化として表す。
心内に生じる感情を表すという点で、形態的には動詞であっても、意味的には形容詞に近い性質がある。	内に感情の変化を含みながらも、外面に現れる変化をとらえている点で、動詞的な性質が「腹が立つ」より強い。
心内に生じる変化であるから、「腹が立つ／立たない／立った／立たなかった」の範囲で用いられる場合には、その主語は変化を自覚しうる感情の所有主自身、つまり一人称になる。	外面に現れた変化をとらえるのであるから、人称にかかわらず、客観的な観察の対象となる主体について広く用いることができる。

<p>二人称・三人称を主語とする場合には、感情の所有主である主体の心内に、その種の感情が生じたか否かを問いかけたり、生じたものととらえたことを表す表現主体の判断辞を添えたりする形で用いられるのが普通である（文学作品には例外がある）。</p>	<p>一人称を主語とする場合には、表現主体が自己の心内に生じた感情の変化とその結果とった行動などをやや対象化してとらえるといった含みが強い</p>
--	---

その中で、人称に関する差異について、「腹が立つ」の主語はほとんど一人称を用いるが、文学作品においては、三人称を主語とする場合には、以下のように視点を表現主体に転位すれば使うことが可能であると述べている。

(1) <sup>13</sup>彼女は、ヤタラに 腹が立つ ののであるが、その怒りの底に、安堵のようなものがあるのが不思議だった。(獅子文六「自由学校」)

(2) そわそわしているうちに、神経のたっている 彼女 は、何故いつも自分が広介にばかり気を費わねばならぬのかと 腹が立って 来たりした。(佐多稲子「くれない」)

(3) しかしそう思うと 彼 は自分がいやになると共に可哀思になり、腹が立って 来た。(長与善郎「青銅の基督」)

それに対して、「腹を立てる」の主語は三人称を用いることができ、自分を客観的に観察すれば、以下のように一人称を取ることもできる。

(4) 僕 は、その子を見た瞬間、腹を立てる ことを忘れてしまった。(『P・H・P』423号)

また、倉持は「腹が立つ」の形容詞に近い性質と「腹を立てる」の動詞的な性質が強いという両者の特徴が情意・感覚形容詞（希求の助動詞「たい」も含めて）とその接尾辞「一

---

13 本論文では、例文は引用資料の番号ではなく、各章ごとに本論文独自の通し番号とした。



がる」に似ていると考え、それを一群の語群として対立関係を示すことが可能であると指摘している。

腹が立つ	——	腹を立てる
うれしい	——	うれしがる
悲しい	——	悲しがる
欲しい	——	欲しがる
(遊び) たい	——	(遊び) たがる

## 2.2 加藤 (2001) <sup>14</sup>

加藤は寺村 (1982) <sup>15</sup>の「より純粹に心の感情の状態を描く動詞 (ヲ格を取る動詞)」を分析し、以下のような三つのタイプに分けている。

### ① 形態的にも意味的にも対応する形容詞があるもの

憎む—憎い	うらやむ—うらやましい	惜しむ—惜しい
ねたむ—ねたましい	悲しむ—悲しい	楽しむ—楽しい
恥じる—恥ずかしい	懐かしむ—懐かしい	好く—好きだ
嫌う—嫌いだ		

### ② 形態的には対応しているが、単語レベルで意味的に対応していないもの

恨む—うらめしい	喜ぶ—喜ばしい	悔いる—悔しい
好む—好ましい	望む—望ましい	

### ③ 対応が見つけられないもの

愛する	やく
-----	----

(加藤 (2001) p48)

---

14 加藤 由紀子 (2001) 「感情表現における動詞とその周辺」『岐阜大学留学生センター紀要』pp47-59、岐阜大学留学生センター

15 寺村 秀夫 (1982) 『日本語のシンタクスと意味 I』、くろしお出版

これらの感情表現について、一人称には形容詞を使い、三人称には動詞を使うという原則を認めるが、例外的な状況があると指摘している。

### 2.2.1 「喜ぶ」と「楽しむ」

まず、加藤は以下の文を主題の文と称してあげている。

(5) 美しい公園に連れて行ってもらって**喜んだ**。

(加藤 (2001) p47)

主語は存在しないので、主題の文の選んだ動詞が正しいかどうかを判断しかねる。もし三人称の主語を加えて以下の文になれば、問題がなくなる。

(6) **こども**は美しい公園に連れて行ってもらって**喜んだ**。

しかし、その感情（喜ぶ）は第三者ではなく、自分自身のものであれば、選んだ動詞を変える必要がある。

(7) (**私は**) 美しい公園に連れて行ってもらって**楽しんだ**。

加藤は「楽しむ」を使う (7) の文は「喜ぶ」を使う (5) の文よりそれほどの違和感はないと述べている。その理由は (5) の文で「喜ぶ」の理由は「公園に連れて行ってもらったから」であり、(7) の文で「楽しむ」の理由は「連れて行ってもらったこと」自体ではなく、「公園の中でしたこと」、あるいは「公園の中で過ごした時間」である。加藤は読み手（聞き手）が接続詞、副詞、対象語（動詞の対象となる名詞）や補語などを手掛かりに文の不足の部分を自動的に予測して補うので、省略されても不自然さを感じないと述べている。

例えば、次の文を見してみる。

(8) ビデオを借りて、**楽しんだ**。



形容詞文「この旅行が楽しいです」は、旅行に対する現在の自分の感覚あるいは判断を示し、動詞文「この旅行を楽しんでいます」は、旅行をしていることを心の快感として継続的に実感していることを表すと述べている。

以上の分析から、加藤は、一人称が主体の文の場合、適当な感情形容詞を見つからないために動詞のテイル形を使用しているというだけではなく、感情表現のニュアンスを変えるために使用している場合があると指摘している。

### 2.2.3 タ形

テイル形の他に、タ形でも人称制限を解除できると加藤は述べている。ただ、これは小説や物語の場合に使われており、実際に会話の中で使うと、不自然さを感じる文が多いようである。また、「やく」、「好く」といった一部の動詞は、タ形の使用は不可能だと指摘している。

## 2.3 大曾 (2001) <sup>16</sup>

大曾は感情を表す動詞・形容詞を考察し、一部の感情動詞（句）は感情形容詞と同じ人称制限があると指摘し、その制限を解除する方法をまとめている。

### 2.3.1 感情表現と主体に関する制限

大曾は感情・感覚を表す形容詞は以下のように三人称の主体にならないという人称制限があると述べている。

- (12) (a) 私は嬉しい。
- (b) 嬉しいですか。
- (c) \*彼は嬉しい。

- (13) (a) 私は寂しい。
- (b) 寂しいですか。

---

16 大曾 美恵子 (2001) 「感情を表す動詞・形容詞に関する一考察」、『言語文化論集』22 巻 2 号 pp21-30、名古屋大学大学院国際言語文化研究科

(c) \*彼女は寂しい。

しかし、感情・感覚形容詞だけではなく、「思う」、「困る」のような動詞にも以下の例のように主体の制限があると指摘している。

(14) (a) オーストラリアは暮らしやすい所だと思う。

(b) \*彼は オーストラリアは暮らしやすい所だと思う。

(15) (a) 子供がちっともいうことを聞いてくれないので困る。

(b) \*彼女は 子供がちっともいうことを聞いてくれないので困る。

この他「いらいらする」、「はらはらする」、「ひやひやする」、「わくわくする」のような擬態語や「腹が立つ」、「胸が痛む」、「胸が躍る」のような感情を表す動詞句にも同じ制限があると述べている。

(16) (a) 彼の煮え切らない態度にはいらいらする。

(b) \*彼女は 彼の煮え切らない態度にはいらいらする。

(17) (a) (劇場で幕の開くのを待ちながら) なんだかわくわくする。

(b) (上記と同じ状況で) \*花子は なんだかわくわくする。

(18) (a) 電車の中で騒がしい子供たちを見ると腹が立つ。

(b) \*電車の中で騒がしい子供たちを見ると 父は 腹が立つ。

(19) (a) 地震の被害にニュースには胸が痛む。

(b) \*母は 地震の被害にニュースには胸が痛む。

(20) (a) 祭りのたいこの音を聞くと胸が躍る。

(b) \*父は 祭りのたいこの音を聞くと胸が躍る。

### 2.3.2 第三者の感情の表現

前節のような感情主自身の感情を第三者の感情として表す場合、大曾は「一がる」、「一む」／「一する」、「一ている」、「他動詞」という四つの表現形式があると述べている。

#### 2.3.2.1 「一がる」

形容詞の感情表現を第三者が表す時、以下の例文のように接尾辞「一がる」を加えて表すと述べている。

- (21) 母は弟から便りが無いのを寂しがっている。
- (22) 兄はアメリカでの生活をなつかしがっている。
- (23) 俊介は陽子に会えなかったのを残念がっている。

#### 2.3.2.2 「一む」／「一する」

しかし、すべての感情形容詞に「一がる」を付加できるわけではないので、「一がる」が付加できるかどうかによって、以下のように二つのタイプに分けている。

(A) 憎い	憎む	*憎がる
楽しい	楽しむ	*楽しがる
心配な	心配する	*心配がる
ねたましい	ねたむ	*ねたましがる
(B) 悲しい	悲しむ	悲しがる
なつかしい	なつかしむ	なつかしがる
うらやましい	うらやむ	うらやましがる
苦しい	苦しむ	苦しがる

(大曾 (2001) p23)

「一がる」と共起しない(A)グループは第三者が感情を表す時、「一む」あるいは「一する」(「楽しむ」、「心配する」)を使うと述べている。また、「一む」と「一がる」両方とも

共起出来る(B)グループは、以下の例文のように、「一がる」が感情表出の描写に使われているのに対し、「一む」は事物の性状規定、つまり感情的品定めに使われているとしている。

(24) 最近の学生があまり本を読まないのは {悲しむべき / \*悲しがるべき} ことだ。

(25) ふる里の町を歩いていたら、幼馴染みが {なつかしがつて / \*なつかしんで} 声をかけてきた。

(26) 昔はやった歌を {なつかしむ / \*なつかしがる} 集いが開かれた。

(27) 花子は私のフィアンセを見て {うらやましがった / \*うらやんだ}。

### 2.3.2.3 「一ている」

「思う」、「困る」、「いらいらする」、「はらはらする」のような感情動詞の場合、第三者の感情表現は以下のように「一ている」を使う必要があるとしている。

(28) 彼は 私がうそをついたと思っている。

(29) 彼女は 仕事がなく、困っている。

(30) 太郎は 終わりそうにない会議にいらいらしている。

(31) 花子は 子供が間違えるんじゃないかとほらはらしている。

### 2.3.2.4 他動詞

「腹が立つ」、「胸が痛む」のような自動詞を持つ動詞句の場合、第三者の感情表現は以下のように対応する他動詞を使うと述べている。

(32) 電車の中で騒ぐ子供たちを見ると、父は腹を立てる。

(33) 太郎は引き取り手のないペットの話に胸を痛めている。

## 2.4 馬場 (2001) <sup>17</sup>

---

17 馬場 典子 (2001) 「怒りの直接表出表現「ハラガタツ、アタマニクル、ムカツク」の意味分析」『日本語教育論集 世界の日本語教育 第11号』 pp195-207、国際交流基金

馬場は「ハラガタツ／アタマニクル／ムカツク」を分析することにより、感情動詞のテンス・アスペクトに関する問題点について述べている。

(34) 私はハラガタッテイル／アタマニキテイル／ムカツイテイル。

(35) ハラガタツ！／アタマニクル！／ムカツク！

(36) 私は花子の態度にハラガタツ／アタマニクル／ムカツク。

(37) 太郎は\*ハラガタッテイル／アタマニキテイル／ムカツイテイル。

(馬場 (2001) p196)

主語が一人称の時、(35)、(36) のように基本形で感情を表し、あるいは(34) のようにテイル形で自分自身の感情を客観的に報告することが可能であるとしている。しかし、(37) のような三人称 の主語をテイル形で表す時、[表 1] のように許容度が違うと馬場は指摘している。馬場はこの問題を説明するために、神尾 (1990) <sup>18</sup> の「なわばり理論」を援用している。

感情主の人称 \ 各語	ハラガタッテイル	アタマニキテイル	ムカツイテイル
1 人称	○	○	○
3 人称	×	△	△

[表 1] 各語句のテイル形の容認度

(馬場 (2001) p199)

馬場は神尾の「なわばり理論」の説明の一部を引用して次のように述べている。

日本語文では、話し手の領域にある情報に関しては「直接形」、聞き手の領域ある情報に関しては「間接形」が用いられるとしている。「なわばり」という語を用いれば、自分のなわばり内のことは直接形で表現可能であり、なわばり以外のことは間接形を用いないと言えないということである。

18 神尾 昭雄 (1990) 『情報のなわばり理論』 pp4-142



また、柳沢 (1994) <sup>19</sup>の「報告性」の概念を引用し、以下のようにテイル形を定義している。

テイル形を使用することとは、報告者が観察の結果、「(頭の中で処理された情報を) 事態の成立が確実なもの」として報告することである。

馬場は「テイル形」が「報告者によって認知された確信度の高い情報」を表すものとして神尾のなわばり理論の「直接形」に属させ、それ以外の「ようだ／みたいだ／らしい」といったモダリティは「確信度が強くない情報」を表すものとして「間接形」に属させている。

つまり「ハラガタッテイル」という感情主の感情が報告者 (第三者) のなわばりの「外」にあり、報告者はその感情への確信度が低いので、間接形 (ようだ／みたいだ／らしい) を用いないと報告できない。一方、「アタマニキテイル、ムカツイテイル」という感情主の感情が報告者のなわばりの「内」にあるので、捉えることが出来、テイル形をある程度使えと主張している。

## 2.5 まとめ

従来の先行研究において、一人称には形容詞を使い、三人称には動詞を使うという共通認識があるが、本章の倉持は「腹が立つ」、「腹を立てる」、加藤は「楽しむ」、大曾は「思う」、「困る」、「いらいらする」、「はらはらする」、「ひやひやする」、「わくわくする」、「胸が痛む」や「胸が躍る」といった感情動詞 (句) でも 一人称 が使えと指摘している。

一人称で使える感情動詞 (句) : 「思う」、「困る」、「いらいらする」、「はらはらする」、  
「ひやひやする」、「わくわくする」、「胸が痛む」、「胸  
が躍る」

---

19 柳沢 浩哉 (1994) 「テイル形の非アスペクト的意味—テイル形の報告性」『森野宗明教授退官記念論集 言語・文学・国語教育』pp165-178、三省堂

一人称、三人称でも使える感情動詞（句）：「腹が立つ」、「腹を立てる」、「楽しむ」

また、「テイル形」、「タ形」などのアスペクト、および「ようだ／みたいだ／らしい」といったモダリティを付加することによって主語を 三人称 に変更することが可能なので、人称によって感情表現の言葉を区別することは不適切であると思われる。さらに「腹が立つ」のような三人称主語の時「テイル形」に合わない例もあるので、学習者に感情を表す言葉を教える時、「テイル形」、「タ形」と「ようだ／みたいだ／らしい」の併用は避けるべきだと考える。

もう一つ注目すべきことは、倉持と加藤は感情動詞（句）の中で、性質は動詞より形容詞に近い言葉を発見した（「腹が立つ」、「楽しむ」）。さらに加藤は「楽しむ」と「楽しい」、大曾は「一む」動詞と「一がる」という接尾辞は、同じ人称で表されても、その感情表現のニュアンスは異なると指摘している。しかし、その感情表現の差異について分析した先行研究はまだ存在しない。したがって、感情の表現形式による全体的、系統的な研究をすれば、日本語学習者にとってより分かりやすい教案を立てることができるものと思われる。

## 第三章

### 感情表現の表現形式

## 第三章 感情表現の表現形式

### 3.1 感情表現の特徴

感情表現を分類する前に、まず感情表現の特徴を検討しておく。寺村（1982）は感情動詞を補語の取り方によって二つのタイプに分け、その特徴を以下のように二つの種類に分類している。

ニ格を取る動詞：感情が表情や身体の動きとなって外面に現れる（中略）一時的に生起し、次の瞬間には、あるいはしばらくして、もとの（通常の）状態に戻る。

ヲ格を取る動詞：より純粹に心の感情の状態を描くものである。（中略）これらは大きく動詞のグループと形容詞、名容詞<sup>20</sup>のグループに分けられる。

（寺村（1982） p142）

寺村（1982）以降の研究は、主にこの補語による分類方法に反論しているが、感情動詞の特徴について反論している研究は、ほとんど見られない。換言すれば、この寺村（1982）の感情の特徴に関する見解はほぼ認められたものと考えられる。本研究では新たな分類方法を立てる前に寺村の提出したこの感情動詞（一部は感情形容詞などを含める）の特徴を分析する必要があると考える。

寺村の感情動詞の分類の特徴を分析すれば、表現形式によって以下のように二つの種類に分けられている：

- 感情の表現形式：（１）感情を表情または動作で表すもの  
（２）話し手自身の気持ちを直接に表出するもの

感情の表現形式を見ると、（１）は外面的に観察することができるものであり、（２）は内在的で感情主体のみが知り得るものであるといった特徴がある。

---

20 寺村（1982）の造語である。寺村は形容動詞（ナ形容詞）を改めて「名詞的形容詞」、略して「名容詞」と名付ける。

次に神尾（1990）<sup>21</sup>の「なわばり理論」について見ることにする。

確定的な断言の形を取る文形を〈直接形〉と呼び、(中略)直接形は主述語の言い切り、もしくはそれに文体的助動詞「です・ます・ございます」などが付加された形である。

(神尾 (1990) p16)

断言を避けた不確定な文形を〈間接形〉と呼ぶ。(中略)間接形は(中略)推測、伝聞、主観的判断などを表す要素を文末に持つのが特徴である。

(神尾 (1990) p16)

神尾は自分の領域(なわばり)の内にある情報は直接形で表現可能であり、それ以外の情報は間接形を用いなければならないと述べている。感情の表現形式の二つのタイプは神尾の「直接形」と「間接形」に極めて類似しているように思われる。そこで、「直接感情表現」と「間接感情表現」の二つのタイプを取り上げ、以下のように定義して新たな分類方法を立てることにする。

- ① 「直接感情表現」：内在的、感情主のみが直接知り得る感情の表現
- ② 「間接感情表現」：外在的、表情または動作などで表わされる感情の表現

さらに、この「直接感情表現」と「間接感情表現」の両方になり得る感情表現を「直接・間接同形感情表現」と呼ぶことにする。

- ③ 「直接・間接同形感情表現」：「直接感情」も「間接感情」も表せる感情表現

以上の分類の仕方は感情動詞の特徴を基にしたものである。

なお、寺村はヲ格を取る感情動詞の特徴はその感情動詞に対応する感情形容詞にもある(悲しむ、悲しい)と指摘している。換言すれば、感情形容詞や動詞句などもこの方法で

---

21 神尾 昭雄 (1990)『情報のなわ張り理論—言語の機能的分析』大修館書店

分類することが可能であるかもしれない。この「直接感情表現」、「間接感情表現」、「直接・間接同形感情表現」という分類は感情動詞、感情形容詞をはじめ、すべての感情を表す品詞をその中に含めることができ、さらに「直接感情表現」と「間接感情表現」とは人称ではなく、感情表現の「内在性」と「外在性」で分類しているので、従来の多くの先行研究が避けてきた文学作品の例文をも分析することが可能である。

### 3.2 直接感情表現とその下位分類

#### 3.2.1 直接感情表現

- (1) 腕力だけは落ちていないのに、心臓はもう年寄りの心臓なんだ。そう思うと 悲しかった。この心臓、いったい、あと何年もってくれるのかしら。

(小池 真理子『完全犯罪はお静かに』講談社) (少納言)

- (2) 私は時代劇が 好き です。おばあちゃん子だった為小さい頃からよく時代劇を見ていました。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

- (3) 今やっとお互いに、自分にとって一番大事な人が相手であることを確認しあえたわけですが、私としては、長い間忘れていた彼への想いが蘇ってしまい、胸が 苦しい です。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

上の例に現われる感情表現は話者の直接感情を表している。直接感情表現のもっとも顕著な特徴はその感情が感情主自身のみが知り得るものであるということである。つまり感情主がその感情を言葉や表情、動作などで外部に表出しなければ、感情主以外の観察者はその感情そのものを直接観察することが出来ない。またその感情主は必ずしも一人称とは限らず、三人称であることも可能である。しかし、その場合は以下の例のように小説、物語の地の文となる。

(4) 「やはり…」 伍子胥は、長葛で鄭の追っ手の急襲を受けた時、子産の死を予測したことを思い出した。それが、現実のものとなったのだ。彼は、悲しかった。

(伴野 朗『伍子胥』徳間書店) (少納言)

(5) 「涼子ちゃんも幸二さんのようにある日突然…そう思ったら、俺、いても立ってもいられなくなって…」 「おにいちゃん…」 涼子 は雅行の言葉が 嬉しかった。そして同時に罪悪感も…。

(影山 二階堂『白鷺の鳴く頃に』ハーヴェスト出版;星雲社(発売)) (少納言)

小説や物語の筆者は「神の視点<sup>22</sup>」を持ち、登場人物の内面に入り、その思いや感情などを直接知ることが可能であるので、第三者の直接感情表現を観察できる。検証のために

(1) の主語を省略している例文をもう一度見てみよう。

(1a) (私は) そう思うと 悲しかった。

(1b) 太郎はそう思うと 悲しかった。

(1a) は話し手が自分の感情状態を直接的に述べるものである。しかし、第三者はこの感情が言語あるいは動作で外部に表出されなければ、知ることができない。これが直接感情表現である。(1b) の感情主は三人称で表されているが、(1a) と同様に直接感情を表している。このように直接感情を表すことには人称の制限がないが、三人称のこの直接感情表現の表現方法は小説や物語などの地の文でしか行われられないということに注意すべきであろう。

### 3.2.2 直接感情表現の下位分類

感情形容詞はすべて直接感情表現に属し、次の例のような内在的であり、感情主のみが直接知り得る感情表現である。この感情は感情主が何らかの形で外部に表出しなければ、

---

22 「作者は高みから説明と描写をし論評を加えた。いわゆる「神の視点」、「全知的視点」と言われるもので、作者によって俯瞰的に語られる。」(青木 陽子 (2014) 「小説における視点の問題」『民主文学五月号』p88、日本民主主義文学会)

他者は知ることが出来ない性質のものである。

(6) 「あら、ワタシの名前、覚えてくださったのね。ありがとう。嬉しいわ」

(上原 瑛『黒の葬列』新風舎)(少納言)

(7) 本当に悲しかったし、悔しかったですよ。誰も僕の言うことなんて信用して  
してくれないわけですから。

(村上 春樹『レキシントンの幽霊』文芸春秋)(少納言)

(8) 悔しいというよりも、憎い。加害者を、私は生涯許さないだろう。許せないだ  
ろう。生きている限り、恨み続けるだろうー。

(森山 ふじ子『二十二歳永遠に』文芸社)(少納言)

しかし、感情形容詞であっても純粋に感情そのものを表すとは限らない。次の例を見て  
みよう。

(9) こういう過去の物すごく厳しい痛い経験というものに対して、日本人が非常に  
鈍感になってしまっているという部分があると思うんですけども

(松岡満壽男君「国会会議録」)(少納言)

(10) 子供ができれば、ある程度大きくなると皆で集まったりとかもできないし  
ね。女って悲しいですね・・・・・・・・。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(11) しかし、佐川事件で金丸が失脚し、浜田にも疑惑がかかって、今後は苦しい対  
応を迫られそうだ。

(本澤 二郎『裏から見た自民党派閥』エール出版社)(少納言)

(9) ～ (11) の感情表現は感情そのものを表すというより、感情そのものを基準として  
ある物事を評価、判断するものである。(9) の「痛い」はどこかが痛いということではな





(13)、(14) の感情主の感情は動作や表情などによって外部から観察可能である。(12) の人々の浮かれる気持ちは明確な動作では表わされていないが、文脈からすると、それが部屋にいる人々の様子から分かる。

また、三人称で直接感情を表すことが可能なように、一人称で間接感情を表すことも可能である。換言すれば、直接感情表現、間接感情表現には人称の制限は存在しないということである。

(15) 私は 驚いて 声を立てようとしたけれども、咽喉が塞がって何も云う事は出来なかった。 [内田＝東京]

(『感情表現辞典』 p384)

(16) 僕は異様に据った母の眼に 怯えて 声も出せずに、ただ何度もうなずいた。 [吉田＝豊原]

(『感情表現辞典』 p236)

(17) お姉さんと結婚するときまって、わたしはとても 悦んで、兄さん兄さんと付き纏っていました。 [福永＝廃市]

(『感情表現辞典』 pp75-76)

上の例 (15) ～ (17) のように、一人称感情主の間接感情を表す時、自分自身を客観的に述べていることが分かる。このような表現方法は一人称の小説の中で多用されているが、日常会話でも自分を客観視して話す時にはあり得るかもしれない。

### 3.3.2 間接感情表現の下位分類

間接感情表現に属すものは感情形容詞（感覚形容詞も含む）の動詞化とその接尾辞「一がる」である。まず次の「一がる」の例から見てみよう。

(18) 悲痛な声をあげて、日美子は、扶代子を抱き起こそうとした。しかし、苦しがる 扶代子は、軀をピクンピクンと震わせ、地面をころげた。

(齋藤 栄『天城高原殺人迷路』日本文芸社)(少納言)

- (19) ところが、いざ父親がいなくなって最初に 悲しがったのは長女である。「パパがいなくて寂しい」と言い、毎晩電話をしては、「寂しいから、早く帰ってきて」と訴えた。

(神庭 靖子『今どきのママ&キッズ』星和書店)(少納言)

感情形容詞の活用形の「一がる」はもっとも典型的な間接感情表現である。感情主は明確な動作あるいは行為などで外部に感情を表出し、他者はそれを外部から観察することが可能である。(例えば、例(18)の扶代子はピクンピクンと震えて地面を転げる。例(19)の長女は毎晩父親に電話をかける)

一方、感情形容詞の動詞化(「一む」動詞など)はある対象に対する、あるいは、原因から生じる感情的反応である。この反応は様子や姿勢、むせび泣くような泣き声などの動作性の弱い反応で、次のように表される。

- (20) 突然一立ちどまって後ろの壁石を捕まえた一何にもないところから音が聞こえて来た。死ぬほど 悲しんでいる女の泣き声だった。大声ではなかったが、悲嘆の極みから流れ出るといった感じだった。

(テア・フォン・ハルボウ(著)/前川 道介(訳)『メトロポリス』東京創元社)(少納言)

- (21) 広告代理店を経営する男性と大学生の息子。二人は悠々とクルージングを 楽しんでいる様子だったが、実は接待だった。

(「高知新聞」高知新聞社)(少納言)

- (22) 長くつらいと病生活の中でも、勇気を持って治療を受け、どんなときにも希望を持ちつづけ、やさしい笑顔をまわりの人に与えていました。病気に 苦しむ佳世子さんは痛みをこらえながらも、周囲の人々を励ましていました。

(猪股 清喜『六年二組倉屋佳世子』文芸社)(少納言)

例(20)は感情主の声で感情を表している。例(21)はクルージングという行為そのものに幸福感、満足感を感じることであり、第三者はその様子を客観的に観察することが可

能である。例(22)は明確な描写はないが、感情主(佳代子)は病気(原因)に対して「苦しい」という感情が生じ、それがあがる反応を引き起こすことが多く、第三者から観察可能である。

感情形容詞の動詞化、即ち「-む」動詞は接尾辞「-がる」よりも動作性が弱いですが、他の動詞と結び付いて、複合動詞になると、次の例(23)のように動作性が強くなることもある。

- (23) 悪党たちの策略によってアン・キャセリックとすり替えられ死んだとされているローラ・フェアリーが、自分の墓のそばで **嘆き悲しむ** 恋人ハートライトの前に姿を現わすときも、彼女の顔を隠しているヴェールは白だという印象を与える。

(北條 文緒『<衣裳>で読むイギリス小説』ミネルヴァ書房)(少納言)

さらに、今回の研究対象の一つである「痛む」は独特の性質を有している。「痛む」は「を」格も「に」格も取らないので、志向性はなく、他の感情形容詞の動詞化または接尾辞「-がる」のようにある対象、原因に向かって生じた感情的な動作、反応ではない。「痛む」は直接感情表現である「痛い」とは異なり、感覚から生じてくる生理的な反応である。ただ、それは本人のみが知り得るものであるため、次の例のように感情表現としては極めて直接感情表現に近いものと思われる。

- (24) ただ、ときどき、ひどく頭が **痛んだ**。「頭を打ったせいよ。」と、ママがおしえてくれた。頭にけがをしたんだということは、すぐにわかった。

(しらと あつこ(著)/山本 悦子(著)『幽霊屋敷のなぞを追え!』偕成社)(少納言)

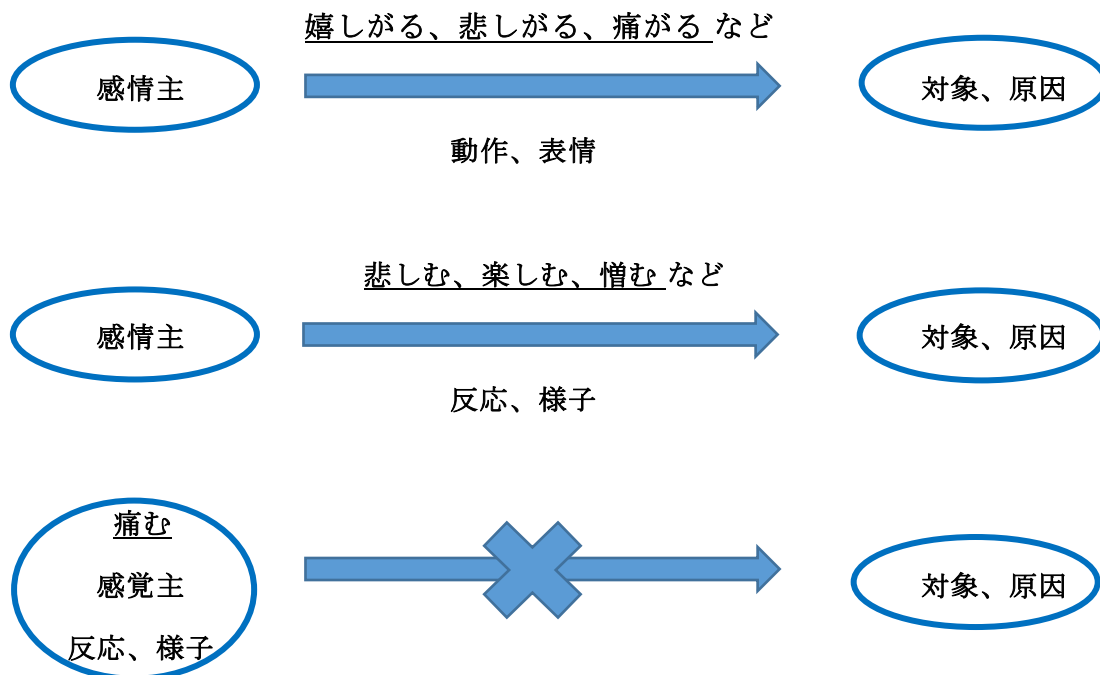
- (25) やっと起き上がり、歩いてみたが、ズキンズキン **痛む**。ゲタ監督が飛ぶようにしてやってきて、ぼくのその足首を指で軽く押したりして様子を見、きっぱりいった。「こりゃダメだ。捻挫だな」

(田中館 哲彦『アタック!フューチャーズ』汐文社)(少納言)

「痛む」は本人しか知り得ない生理的な反応であるので、感情表現としては直接感情表

現に極めて近いが、それ自体反応であるため、外部に表出し観察することが可能かもしれないが、そのような用例は見つけることができなかった。

感情形容詞の動詞化と接尾辞「-がる」、「痛む」にはそれぞれの特徴があり、図にすれば次のようになる。



〔図1〕 接尾辞「がる」、感情形容詞の動詞化、「痛む」との差異

この三者を区分するため、本研究では間接感情表現を細分化して「純粹間接感情表現」と「間接反応間接感情表現」と「直接反応間接感情表現」といった新たな下位分類を設けた。

- {


**純粹間接感情表現**：明確な表情または動作などで表わされる感情表現  
(嬉しがる、悲しがる、痛がる)

**間接反応間接感情表現**：ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応  
(悲しむ、楽しむ、憎む)

**直接反応間接感情表現**：本人しか知り得ない生理的な反応 (痛む)

### 3.4 直接・間接同形感情表現

既に言及したが、直接感情または間接感情を表す感情表現のほかに、直接感情と間接感

情のその両者を表わせる感情表現が存在する。まず以下の例を見てみよう。

- (26) 私は時代劇が 好き です。おばあちゃん子だった為小さい頃からよく時代劇を見ていました。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

- (27) うちの子どもはピーマンを育てて、それまで 嫌い だった ピーマンを食べれるようになりました。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

例(26)の「好き」は直接感情を、そして例(27)の「嫌い」は間接感情を表わしている。また、「直接・間接同形感情表現」の感情表現も「直接感情表現」または「間接感情表現」の感情表現と同様、人称に制限されない。以下はその例である。

- (28) 人の尊厳を踏みにじる過酷な凌辱行為を受けたというのに、驚くべきことに、心の底から恵次を 恨んでいる犠牲者 は一人もいない。調べることができた範囲では、被害者全員が同じ想いを共有しているらしかった。

(三田村 半月『股人タクシー』ハーヴェスト出版;星雲社(発売))(少納言)

- (29) 彼女 が僕のことを 愛して くれて 僕 も彼女が 好き なら付き合います。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo!)(少納言)

### 3.5 まとめ

本章は表現形式による分類を検討して改めて定義し、さらに感情形容詞の属性的な表現を区分するために「純粋直接感情表現」と「属性直接感情表現」を分け、感情形容詞の動詞化と形態的には同じであるが特殊な特徴を持つ「痛む」という感情動詞を区別するために、「間接反応間接感情表現」と「直接反応間接感情表現」といった新たな下位分類を考案して以下のように学習者にとって分かりやすい形に整えた。

「直接感情表現」：内在的、感情主のみが直接知り得る感情の表現

「純粹直接感情表現」：純粹に感情そのものを表す感情表現

「屬性直接感情表現」：感情を基準としてある物事を評価、判断する表現

「直接・間接同形感情表現」：「直接感情」も「間接感情」も表せる感情表現

「間接感情表現」：外在的、表情または動作などで表わされる感情の表現

「純粹間接感情表現」：明確な表情または動作などで表わされる感情表現

「間接反応間接感情表現」：ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的  
反応

「直接反応間接感情表現」：本人しか知り得ない生理的な反応

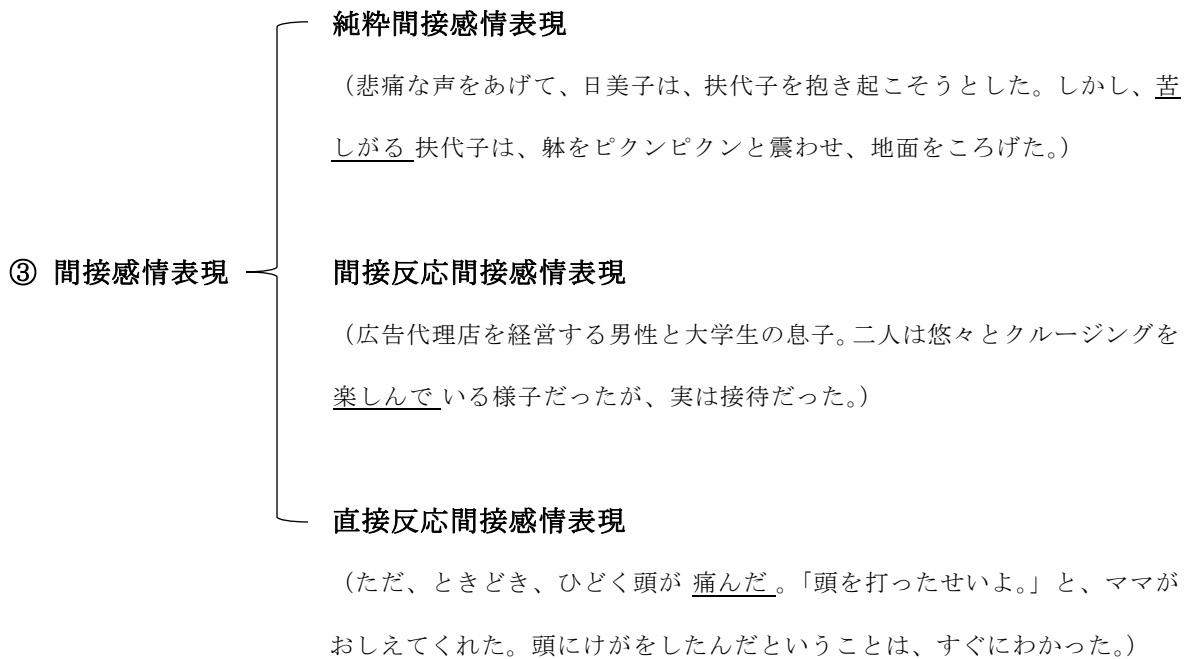
① 直接感情表現 —— 純粹直接感情表現

(本当に 悲しかった し、悔しかったですよ。誰も僕の言うことなんて信用してくれないわけですから。)

└───▶ 属性直接感情表現

(子供ができたら、ある程度大きくなしないと皆で集まったりとかもできな いしね。女って 悲しい ですね…。)

② 直接・間接同形感情表現 (彼女 が僕のことを 愛して くれて僕も彼女が 好き なら付き合います。)



[図 2] 表現形式による感情表現の分類方法



## 第四章

### 感情表現の生起性と恒常性

## 第四章 感情表現の生起性と恒常性

### 4.1 感情表現のAspectに関する先行研究

前章では感情表現の表現形式による分類を立てたが、もう一つ感情表現の表現形式に大きく影響する要素として感情表現の生起性と恒常性の問題がある。生起性とは、その感情が生じている時にだけ存在する感情の特性を表す。恒常性とは、その感情が生じているか、生じていないかに関わらず常に存在すると考えられる感情の特性であるが、その特性から傾向、あるいは性向とでもいうべき性質がある。この感情表現の生起性と恒常性は表現形式に大きく影響するが、感情の発生はしばし明確に観察されることがあるが、その終息をはっきりさせることは困難であるので、明確な（時間の）長さで分類することは不適切であると考えられる。

感情表現の生起性と恒常性に関わる先行研究は、ほとんど動詞のAspectの研究の中で一部の動詞（感情動詞）だけを取り上げ、行われている。森山（1983）、小泉（1989）では感情・感覚動詞の時間的な特徴を提示していることをはじめとし、吉永（2004）では感覚動詞の断続的な持続性と状態性の相違を提出し、さらに関口（2014）では心理動詞の完了、完遂について研究を行っている。

#### 4.1.1 森山（1983）<sup>23</sup>

森山は動詞のAspectチュアル（スル・テイル両形が意味的な対立）な素性を調べるため、動詞と期間成分（～間、暫く、等）あるいは、特定の動詞（続ける、始める、終わる）が共起することの有無により、動詞の素性（持続性、過程性、終結性など）を判断している。

勉強し続ける （○）→持続性あり

目撃し続ける （×）→持続性なし

時間が過ぎ始める （×）→過程性なし

学校から家まで歩き終わる （○）→終結性あり

---

23 森山 卓郎（1983）「動詞のAspectチュアルな素性について」『待兼山論叢』pp1-22、大阪大学大学院文学研究科

この中で、森山は感覚、心理状態、態度などを表す動詞（愛する、願う、怒る、懂れる、心配する、喜ぶ、悲しむ、疑う、うぬぼれる、頼る、嫌う、痛がる、痛む、怠ける、しょげる、いばる、甘える）は、動きの全体量ということでは設定され得ず、動きの終結点はないと言う。言い換えれば、明確な動きの全体量がある動詞（建てる、作る、読む、書く、歌うなど）の場合には、ある量的な限度に到達した時に、終結するということがある。

家を建てる → 家が完成した → 家を建て終わる （動きの全体量は「家」）  
学校から家まで歩く → 家に到着した → 学校から家まで歩き終わる  
（動きの全体量は「学校から家までの距離」）

しかし、感覚、心理状態、態度などを表す動詞は動きの全体量を設定できないので、明確な終結点を持つことが出来ないと述べている。

#### 4.1.2 小泉（1989）<sup>24</sup>

小泉はテイル形の意味について以下の五つに分けている。

- (a) 動きの最中
- (b) 心の状態の持続
- (c) 結果の残存
- (d) 経験・完了
- (e) 単純状態 （小泉（1989）ppxxvii-xxix）

この中で、(b)の心の状態の持続とは以下のようなものである。

- ① 父は娘の合格をととても喜んでいる
- ② 彼は進学すべきかどうか悩んでいる

（小泉（1989）ppxxviii）

---

24 小泉 保・本田 凡治・塚本 秀樹・船城 道雄・仁田 義雄（1989）『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店

小泉は、この種類のタイプは物理的な動作・動きではなく、心的な動作であり、(a)動きの最中と違って 動きの始まりと終わりが定かでないと述べている。言い換えれば、心の動作である「喜ぶ」と「悩む」という動詞は始まりと終わりが定かでないという特徴があるということである。

#### 4.1.3 吉永 (2004) <sup>25</sup>

吉永は感覚自動詞（見える、聞こえる、痛む、痺れる、飢える、渴くなど）が殆ど一人称しか許容しないという点、また、物理世界ではなく心理世界に属するという点では形容詞と類似しているが、以下のような時間と空間とに関わることができるという点で形容詞（または心理動詞、状態動詞）と大きく異なると指摘している。

風向きによって校内放送が ところどころ で聞こえる。（空間要素）

昨日の登山のせいで脚が ところどころ 痛む。（空間要素）

三時間も正座していたのでまだ脚が ところどころ 痺れている。（空間要素）

（吉永（2004）p32）

時々 晴れた日なんかここから富士山が見える。（時間要素）

かぜをひいていて 時々 こめかみがずきずきする。（時間要素）

歯茎が炎症を起こしていて 時々 疼く。（時間要素）

（吉永（2004）p33）

特に感覚自動詞は「時々」との共起により、異なる時間に生じたある感覚を 断続的に体感できる という点で、明らかに時間の推移と無関係である「状态的」な形容詞、あるいは心理動詞や状態動詞とは異なると述べている。また、吉永は、感覚動詞は形容詞のように、ただ主観的に身体的状態を表すだけではなく、時間と空間との関わりによって現場性を明確に持っているという点で動詞本来の性質は形容詞と大きく異なると結論づけている。

---

25 吉永 尚（2004）「感覚動詞の非状態性について」『そのだ語文』pp29-40、園田学園日本語日本文学懇話会

#### 4.1.4 関口 (2014) <sup>26</sup>

関口は心理状態を絶対時間で判断することは極めて困難だが、「開始」、「継続」、「終了」など、それぞれの局面動詞を心理動詞に結び付けることによって、そこに「時間」が存在することが証明されると考えている。この考えに基づき、「完了」、「完遂」を表す後項動詞の「終える、終わる」「あがる」「きる」「ぬく」「とおす」「はたす」「つくす」を以下のよ様に心理動詞と結び付けて検証している。

\*痛み終わる、\*痛み終える、\*痛みあがる、\*痛みはたす、\*痛みはてる → 共起しない  
?痛みきる、?痛みぬく

\*憎み終わる、\*憎み終える、\*憎みあがる、\*憎みはたす → 共起しない  
憎みきる、憎みぬく、憎みとおす、?憎みつくす → 共起する

\*愛し終わる、\*愛し終える、\*愛しあがる、\*愛しはたす → 共起しない  
愛しきる、愛しぬく、愛しとおす、愛しつくす → 共起する

\*恐れ終わる、\*恐れ終える、\*恐れはたす、\*恐れとおす、\*恐れつくす → 共起しない  
恐れあがる、恐れぬく、恐れきる → 共起する

(関口 (2014) pp21-23)

この中の感情・感覚・知覚動詞は一般の完了・完遂の後項動詞と共起しないが、「極度の程度 (きる、ぬく)」<sup>27</sup>、あるいは「貫通+タ形 (きた、ぬいた、とおした、つくした)」を用いて完了・完遂を表すことが可能であるとし、感情動詞を「継続の感情動詞」と「短期継続の感情動詞」とに分け、以下のように分類している。しかし、区分する基準については説明していない。

継続の感情動詞：悩む、憎む、心配する、尊敬する、悔やむ、愛する

短期継続の感情動詞：あきれ、恐れる

---

26 関口 美緒 (2014) 「完了・完遂の局面動詞との結合関係から分析した「心理動詞のアスペクト」」『言語と交流』  
pp14-30、凡人社

27 関口 (2014) による

#### 4.1.5 まとめ

森山（1983）、および小泉（1989）は心の動きである「愛する」、「怒る」、「喜ぶ」「悲しむ」などの感情動詞には明確な終わりが存在しないと述べている。また、関口（2014）は「終わる」、「つくす」、「あがる」、「きる」などの局面動詞と「悩む」、「憎む」、「愛する」、「恐れる」などの感情・感覚動詞が共起するという限られた状況では、感情・感覚動詞は完了・完遂が表せるとしているが、言い換えれば、感情・感覚動詞には一般的に終わりが存在しないということであろう。もし感情・感覚動詞に終わりが存在しないとすれば、心の動きの絶対時間を測ることは不可能に近いと言えるであろう。

また、吉永（2004）は感覚動詞に「ところどころ」、「時々」のような空間的、時間的要素を加えてみると、「見える」、「聞こえる」、「痺れる」のような感覚動詞に断続的な持続性という特徴が生じると指摘している。この特徴は感覚動詞のみが有しているのか、あるいは、他の感情表現にも適用可能であるかを検証する必要があるだろう。

## 4.2 感情の生起性と恒常性

### 4.2.1 蔡（2015）、蔡（2017）における分類方法

蔡はかつて「感情を表す表現体系に関する考察」（2015）で感情表現を表現形式と持続時間によって以下のように分類したことがある。

#### 感情の表現形式による分類：

「直接感情表現」：内在的、感情主のみが直接知り得る感情の表現

（例：嬉しい、苦しい、欲しい）

「間接感情表現」：外在的、表情または動作などで表わされる感情の表現

（例：泣く、怯える、狼狽える）

「直接・間接同形感情表現」：「直接感情」も「間接感情」も表せる感情表現

（例：好き、嫌い、安心する）

#### 感情の持続時間による分類：

「瞬間的感情」：一瞬またはしばらくして消え去る感情

(例：驚く、怒る、悲しい、苦しい、痛い)

「恒常的感情」：一定の時間を継続、維持する感情

(例：恨む、好き、嫌い、痛む)

しかし、森山（1983）、小泉（1989）、関口（2014）にある心の動きの絶対時間を測ることは極めて困難であるという指摘から、心の動きと強く関わる感情表現を持続時間の長さで分類することは不適切であると考えられるようになった。次に、「瞬間的感情」と「恒常的感情」について検証し、その定義に関して再考することにする。

#### 4.2.2 瞬間的感情と恒常性感情に関する再考

蔡（2015）、蔡（2017）で定義した「瞬間的感情」とは、一瞬、または、しばらくして消え去る感情（感覚も含む）である。しかし、同じ感情表現でも以下のように持続時間が瞬間ではなく、長時間におよぶものが存在することが分かった。

- (1) ビルマの雨は降るのではなく、空から水が流れ落ちてくる。雨に打たれると 痛い。雨の中に立っていると、息苦しくなる。(瞬間)

(岡田 和裕『四人部隊』光人社) (少納言)

- (2) こうしたものは三日や四日じゃ治らないんですね。もう九カ月あまりになりますから、ほとんどよくなりましたけども、何カ月も痛かったですよ。(長時間)

(安野 光雅『空想書房』平凡社) (少納言)

- (3) 食堂で一人ぼっちで御飯を食べるなんて、この寮に来て、初めてだ。すごく 悲しくなるけど、時間ギリギリだから、暗くなってしまうほど余裕がなかったのはよかったかもしれない。(短時間)

(水島 忍『生徒会室も恋のうち』プランタン出版;フランス書院(発売)) (少納言)

- (4) 昨日の夜何故か 悲しかった です。。今日になってもまだ 悲しい です。最初は理由なかったんですがどんどん色々な悲しかった事とか思い出します@ (長時間)

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

例 (1) の「痛い」は雨に打たれた瞬間だけ持続しているが、例 (2) の「痛い」は、何か月もその感覚が続いているということが分かる。また、例 (3) の「悲しい」は、感情主が御飯を食べている間だけ感じるのに対し、例 (4) の感情主の「悲しい」という気持ちは、昨日の夜から今日までずっと続いている。したがって、持続時間の長さで測るというかつての筆者の瞬間的感情の定義は不適切であったと思う。

しかし、恒常的感情のように長い時間にわたって感情を表すことができても、瞬間的感情に属す言葉と恒常的感情に属す言葉には明確な差異が存在するように思われる。以下の例を見てみよう。

- (5) 折れていた骨も、ねむっているあいだにつながったらしく、どこも痛くはなかった。ただ、ときどき、ひどく頭が 痛んだ。

(しらと あつこ(著)/ 山本 悦子(著)『幽霊屋敷のなぞを追え!』偕成社) (少納言)

- (6) 歯茎が炎症をおこしていて時々 疼く。

(吉永 尚「感覚動詞の非状態性について」、『そのだ語文』p33、園田大学日本語日本文学懇話会)

例 (1) と例 (2) の「痛い」は発生から止むまでの痛みの感覚を表す。言い換えれば、この痛覚が生じる間だけ「痛い」を使って表すことができる。それに対して例 (5)、例 (6) は「ときどき」が付いて断続的に生じる痛覚を「痛む」、「疼く」で表し、痛覚が生じない間をも含めて表すことができる。次ページの図 3 と図 4 は両者の差異を表したものであり、「生起性感情」と「恒常性感情」と新たに名付けた。



(1) 「雨に打たれると 痛い」

生じない                  生じる                  生じない



[図3] 生起性感情：生起している間だけ存在する感情

(5) ときどき、ひどく頭が 痛んだ

生じる                  生じる                  生じる



生じない                  生じない

[図4] 恒常性感情：生じているか、生じていないかに関わりなく常に存在する感情

また、「苦しむ」、「好き」、「嫌い」のような感情表現は、時間要素を含む言葉（時々、たまに）と共起しないが、感情の生じる期間と、生じていない期間を含めて表すことが出来る。まず以下の恒常性感情の動詞と形容詞の例を見てみよう。

(7) 長くつらいと病生活の中でも、勇気を持って治療を受け、どんなときにも希望を持ちつづけ、やさしい笑顔をまわりの人に与えていました。病気に 苦しむ 佳世子さんは痛みをこらえながらも、周囲の人々を励ましていました。

（猪股 清喜『六年二組倉屋佳世子』文芸社）（少納言）

(8) 私は時代劇が 好き です。おばあちゃん子だった為小さい頃からよく時代劇を見ていました。

（「Yahoo!知恵袋」Yahoo）（少納言）

(9) 「そうさ、まったくアメリカンさ。…俺もアメリカの企業文化が 嫌い だといいながら、よく二十五年以上も働いたもんだよ」

（黒木 亮『トップ・レフト』角川書店）（少納言）

例(7)の佳世子は長い闘病生活の中で苦しんでいるが、笑顔を与え、人々を励ますといった苦しむ以外の行為・反応もしている。言い換えれば、恒常性感情の感情表現は、連続的あるいは、持続的に続くわけではなく、その期間には、その感情が生起していない時間も含まれている可能性がある。

例(8)、例(9)の「好き」、「嫌い」は形容詞であるが、嗜好、傾向を表すため、生起する時にのみ感情が生じ、その気持ちが常に持続するものではなく、その気持ちが生起していない時間も含んでいるであろう。したがって、生じているか、生じていないかに関わりなく常時使える感情表現、即ち、恒常性感情に属すものと言えよう。

ここでは筆者がかつて主張した持続時間による分類を修正し、以下のように改めて定義することにする。

~~瞬間的感情：一瞬またはしばらくして消え去る感情~~

→ 生起性感情：生起している間だけ存在する感情

~~恒常的感情：一定の時間を継続、維持する感情~~

→ 恒常性感情：生じているか、生じていないかに関わりなく常に存在する感情

#### 4.3 表現形式による各分類の生起性と恒常性

前節は感情を「生起性感情」と「恒常性感情」に分けている。本節ではさらに前章が提出した表現形式による分類がどのような特徴を持っているかについて検証する。

##### 4.3.1 「直接感情表現」の生起性と恒常性

「悲しい」、「悔しい」、「苦しい」のような直接感情表現は、「純粹直接感情表現」と「属性直接感情表現」という二つの下位分類に属す。これらは、その言葉の使い方によって「純粹直接感情表現」にもなるし、「属性直接感情表現」ともなる。まず、以下の例(10)と例(11)を見てみよう。

(10) 本当に 悲しかった し、悔しかった ですよ。誰も僕の言うことなんて信用してくれないわけですから。

(村上 春樹『レキシントンの幽霊』文芸春秋) (少納言)

(11) 子供ができたら、ある程度大きくなると皆で集まったりとかもできないしね。女って 悲しい ですね・・・・・・・・。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

例 (10) の「悲しい」、「悔しい」は感情主が周囲の人間から信用されないというマイナスの感情から生じてくる「純粹直接感情表現」である。感情主は「信用されない」という刺激で悲しさや悔しさの感情が生じ、やがてある程度の時間を経て消えていったということである。言い換えれば、この感情はただその時にだけ生起し、消えていくという特徴がある「生起性感情」であると言える。

これに対して例 (11) の「悲しい」は、社会において束縛されている子供のいる女性の現状を「悲しい」と思うものである。このような社会的な問題が存在しているかぎり、感情主は何度でもその対象に対して「悲しい」という思いを繰り返すだろう。このような物事の評価、判断は、ある時に生じてくる一時的な感情ではなく、ある対象に対する恒常的な感情、即ち「恒常性感情」であり、対象に属性化しているような感情的特性がある。

直接感情表現の生起性と恒常性は以下のようなものである。

「純粹直接感情表現」：純粹に感情そのものを表す感情表現 (**生起性感情**)

「属性直接感情表現」：感情を基準としてある物事を評価、判断する表現 (**恒常性感情**)

#### 4.3.2 「間接感情表現」の生起性と恒常性

間接感情表現とその下位分類は直接感情表現と違い、分類によってそれぞれ異なる言葉が属している。典型的な間接感情表現の言葉（泣くなど）、あるいは「一がる」の接尾辞は内的な感情を言葉や動作で外部に表出するものなので、動作性が強くて観察しやすいので、ほとんど例 (12)、例 (13) のような外部から直接観察可能な「生起性感情」である。

(12) 絶えて久しい夫の姿を見ると、わっ！ と嬉泣きに 泣き ながら縋り付いた

[菊池＝極楽]

(『感情表現辞典』p123)

- (13) 悲痛な声をあげて、日美子は、扶代子を抱き起こそうとした。しかし、苦しがる扶代子は、軀をピクンピクンと震わせ、地面をころげた。

(斎藤 栄『天城高原殺人迷路』日本文芸社)(少納言)

「間接反応間接感情表現」は動作性の弱い反応または様子で表わされ、例(14)のように一回きりの「生起性感情」で表すことも可能であり、また、その様子を「長くつらいとう病生活」の間に、状態的なものとして例(15)のようにある期間内に何度も観察される「恒常性感情」とすることも可能である。

- (14) 広告代理店を経営する男性と大学生の息子。二人は悠々とクルージングを楽しんでいる様子だったが、実は接待だった。

(「高知新聞」高知新聞社)(少納言)

- (15) 長くつらいとう病生活の中でも、勇気を持って治療を受け、どんなときにも希望を持ちつづけ、やさしい笑顔をまわりの人に与えていました。病気に苦しむ佳世子さんは痛みをこらえながらも、周囲の人々を励ましていました。

(猪股 清喜『六年二組倉屋佳世子』文芸社)(少納言)

直接反応間接感情表現は表現形式として直接感情表現に近いが、例(16)、例(17)のような生起と消滅が断続的に生じる生理反応であるので、「恒常性感情」に属す。

- (16) 折れていた骨も、ねむっているあいだにつながったらしく、どこも痛くはなかった。ただ、ときどき、ひどく頭が痛んだ。

(しらと あつこ(著)/山本 悦子(著)『幽霊屋敷のなぞを追え!』偕成社)(少納言)

- (17) 歯茎が炎症をおこしていて時々疼く。

(吉永 尚「感覚動詞の非状態性について」、『そのだ語文』p33、園田大学日本語日本文学懇話会)

間接感情表現の性質は以下のようなものである。

「純粹間接感情表現」：「一がる」接尾辞など（**生起性感情**）

「泣く」、「苦しがる」など

「間接反応間接感情表現」：ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応

（**生起性感情または恒常性感情**）

「楽しむ」、「苦しむ」など

「直接反応間接感情表現」：本人しか知り得ない生理的な反応（**恒常性感情**）

「痛む」、「疼く」など

#### 4.3.3 「直接・間接同形感情表現」の生起性と恒常性

直接・間接同形感情表現は「好き」、「嫌い」のような感情主自身のみが知り得る気持ちを「直接感情表現」として使うことができる。その上、その感情が生じているか、生じていないかに拘わらずに、長時間にわたる感情主の傾向を表すため、第三者に関しても、その日常の言動、習慣などから「間接感情表現」のように使用可能である。

私はビールが好きです。 (直接感情表現)

彼はビールが好きです。 (間接感情表現)

この「好き」、「嫌い」は「直接・間接同形感情表現」であり、状態的な特性を有し、その感情が生じているか、生じていないかに拘わらず、長期間にわたって表すことができる。この性質は恒常性感情の特徴であり、逆に言えば、「恒常性感情」の特徴を有しているので、「直接・間接同形感情表現」ともなり得ると言える。

「直接・間接同形感情表現」：「直接感情」も「間接感情」も表せる感情表現（**恒常性感情**）

#### 4.4 まとめ

本章は、表現形式による感情表現の分類に大きく関わる要因の生起性と恒常性について検討し、以前行った時間の長さによって区別する方法を改め、新たに定義を行った。さらに生起性、恒常性と表現形式との関係を明らかにした。

各感情表現の分類と生起性と恒常性の性質との関係は以下のようなものである。

##### **生起性感情：生起している間だけ存在する感情**

「純粹直接感情表現」（「楽しい」、「悲しい」、「嬉しい」など）

「純粹間接感情表現」（「悲しがる」、「泣く」など）

##### **恒常性感情：生じているか、生じていないかに関わりなく常に存在する感情**

「屬性直接感情表現」（「悲しい」、「苦しい」など）

「直接反応間接感情表現」（「痛む」、「疼く」など）

「直接・間接同形感情表現」（「好き」、「嫌い」など）

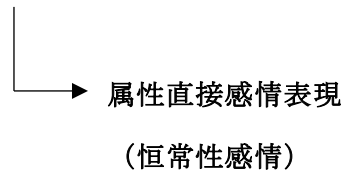
##### **生起性感情または恒常性感情**

「間接反応間接感情表現」（「楽しむ」、「苦しむ」など）

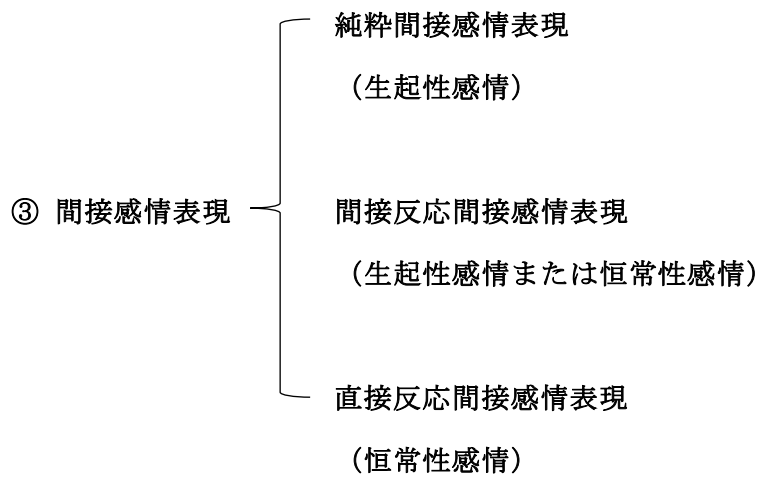
以上の各感情表現の分類と生起性と恒常性の性質との関係を次ページに図で示した。

① 直接感情表現 —— 純粹直接感情表現

(生起性感情)



② 直接・間接同形感情表現 (恒常性感情)



[図5] 表現形式による分類の生起性と恒常性

## 第五章

### 感情表現の各語句の分析



## 第五章 感情表現の各語句の分析

### 5.1 研究対象の選定

#### 5.1.1 辞典が収集した感情表現の語句

本章では、各分類に属す感情動詞、感情形容詞、擬情語や慣用句などを明らかにするために、研究対象とすべき語を選定することを目指した。そのため、『感情表現辞典』、および感情という分類を行っている『日本語の慣用表現辞典』、『例解慣用句辞典』、『日本語オノマトペ辞典』、『現代擬音語擬態語用法辞典』、『現代形容詞用法辞典』を選び、検討した。

##### 5.1.1.1 『感情表現辞典』(1993)<sup>28</sup>

『感情表現辞典』が収集している感情表現の語句は検討した辞典の中でもっとも多い。収集されている感情動詞の数は770個(その中で「する」動詞は290個、「とする」動詞は52個)、感情形容詞は265個(イ形容詞130個、ナ形容詞135個)、擬態語は145個、その他慣用句などがある。しかし、品詞による分類は存在せず、形容動詞、サ変動詞、「とする」動詞や連語などが混在しているため、研究対象とすべき語句を系統的に選定するには不向きであった。

『感情表現辞典』が収集している動詞、形容詞以外のもの

- ・四字熟語

例：依怙叢屐、意気軒昂

- ・形容動詞

例：耿耿、嬉々、欣欣然

- ・「する」動詞、「とする」動詞

例：忸怩

- ・連語、感動語

例：物足りない、遣り切れない、やれやれ

- ・副詞

例：図らずも

- ・動詞の活用形

---

28 中村 明 編 (1993) 『感情表現辞典』、東京堂出版

例：当てられる、搔き毟られる、悩まされる、煮られる、膨らませる

・複合動詞

例：萎え凋む、泣き咽ぶ

また、本書は辞典というよりも例文集といったものである。収集している語句について、ただ例文を記載するのみで、意味についての記述はない。その上、一部の語句には例文すらも欠けている。

以下は『感情表現辞典』の特徴である。

(一) 喜、怒、哀、怖、恥、好、厭、昂、安、驚という10種類の感情によって感情表現を分類している。

(二) 感情動詞：770語（中で「する」動詞290語、「とする」動詞52語）

感情形容詞：265語（イ形容詞130語、ナ形容詞135語）

擬態語、擬音語：145語

(三) 品詞による分類はなし

(四) 一部の語句の例文に欠ける

#### 5.1.1.2 他の感情表現に関する辞典

『現代形容詞用法辞典』（1991）<sup>29</sup>

キーワードによる索引あり。

『例解慣用句辞典』（1992）<sup>30</sup>

五つのテーマに分けている。（感覚・感情を表す慣用句（583個）、からだ・性格・態度を表す慣用句など）

---

29 飛田 良文・浅田 秀子（1991）『現代形容詞用法辞典』東京堂出版

30 井上 宗雄（1992）『例解慣用句辞典』創拓社

『現代擬音語擬態語用法辞典』(2002) <sup>31</sup>

1. キーワードによる索引があるので、ニュアンスで検索することが可能である。  
しかし、キーワードは意味ではなく、五十音順になっているため分類しにくい。
2. 収集されている擬音語、擬態語の数は『日本語オノマトペ辞典』の4分の1弱。

『日本語オノマトペ辞典』(2007) <sup>32</sup>

自然、人間、事物に分けた上で、さらに人間を4種類に分類している(動作・状態、感情・感覚(354語)、性格・性質、体格・姿)。

『日本語の慣用表現辞典』(2010) <sup>33</sup>

1. 慣用句を使用する場合や話題によって12グループに分けている(人生篇、勤労篇、生活篇、感情篇……)。
2. 類似の慣用句だけを説明している。

以下は各辞典の特徴を表で表わしたものである。

辞典	分類方法	収集感情表現
『感情表現辞典』	喜、怒、哀、怖、恥、好、厭、昂、安、驚	動詞、形容詞、擬態語や慣用句など
『現代形容詞用法辞典』	キーワードのみ	形容詞
『例解慣用句辞典』	<b>感情・感覚</b> <sup>34</sup> からだ・性格・態度 行為・動作・行動 状態・程度・価値 社会・文化・生活	慣用句

31 飛田 良文・浅田 秀子(2002)『現代擬音語擬態語用法辞典』東京堂出版

32 小野 正弘(2007)『日本語オノマトペ辞典』小学館

33 森田 良行(2010)『日本語の慣用表現辞典』東京堂出版

34 本研究に関係するものなので、太字とした。

『現代擬音語擬態語 用法辞典』	キーワードのみ	擬情語（擬態語）
『日本語オノマトペ 辞典』	自然（天気、温度、水・液体、火・土） 人間（動作・状態、 <b>感情・感覚</b> <sup>35</sup> 、性格・ 性質、体格・姿） 事物（動き・変化、形・状態、音・道具・ 金銭、程度）	擬情語（擬態語）
『日本語の慣用表現 辞典』	人生篇 勤労篇 生活篇 社会生活篇 社会的行為篇 人間行為篇 人間の状態篇 事柄の事態篇 人間関係篇 <b>感情篇</b> <sup>36</sup> 思考・判断篇 言語活動篇	慣用句

[表 2] 感情表現に関する各辞典の特徴

### 5.1.1.3 現在の感情表現に関する辞典の問題点

まず、感情動詞、感情形容詞に特化した辞典は、調べた限りでは、見つけることはできなかった。慣用句、擬音語・擬態語に特化した辞典はあることはあるが、意味で分類したものは少ない。そのため、各辞書を比較して研究対象を選定するためには、不適切である。

また、『感情表現辞典』が収集している感情動詞は 770 個、感情形容詞 265 個、擬態語、擬音語 145 個である。『例解慣用句辞典』が収集している感覚・感情を表す慣用句は 583 個、

35 本研究に関するものなので、太字とした。

36 本研究に関するものなので、太字とした。

『日本語オノマトペ辞典』が収集している感情・感覚の擬情語、擬態語は354個である。『現代擬音語擬態語用法辞典』と『現代形容詞用法辞典』が収集している語句は少ない。各辞書に載せられている語句は、述べ2000語以上となり、すべての語句を分析することは到底不可能であり、また、日本語教育にとって不要な語句も多く含まれている。さらに対象語彙を選択するための基準も立てられないため、次のような選定方法を取ることにした。

## 5.1.2 日本語教育のための基本語彙による選定

### 5.1.2.1 『日本語教育のための基本語彙調査』

感情表現に関する語句を選定するために、国立国語研究所の『日本語教育のための基本語彙調査』(1984)を用いることにした。この調査は「留学生等外国人の日本語学習者が、専門領域の研究または職業訓練に入る基礎としてはじめに学習すべき日本語の一般的・基本的な語彙について妥当な標準を得る」という目的で『分類語彙表』(国語研、1964)に基づき、『現代雑誌九十種の用語用字』(国語研、1962)の高使用率語と坂本一郎『教育基本語彙』(1958)を含めて『日本語教育のための基本語彙調査』が作成されたものである。

この中で、「日本語教育基本語彙 意味分類体語彙表」<sup>37</sup>では感情・感覚に関し以下の九つに分類し、重複する語を除いて計117語を収集している。

2.300 感覚・疲労 ・睡眠	感じる
	気付く
	かまう
	いたむ
	酔う
	狂う
	休める
	飽きる
	渴く
	疲れる
くたびれる	

37 国立国語研究所 (1984) 『日本語教育のための基本語彙調査』 国立国語研究所報告 21、p141、秀英出版

	眠る 寝る 覚める 覚ます
2.301 気分・情緒	味わい 驚き 驚かし まごつき あきれ 喜び 楽しみ 苦しみ 苦しめ 困り 恐れ こわがり おこり 悲しみ 悩み あせり あわて おちつき なぐさめ
2.302 対人感情	愛し 好み 好き かわいがり 親しみ あこがれ

	きれい いやがり 憎み 恨み 尊び あまえ 惜しみ
2.303 表情	笑い ほほえみ 泣き 鳴き ほえ 叫び 嘆き
3.301 驚き・楽しい・快い	びっくり 楽 気楽 のんき 悠々 のんびり 窮屈 ほっと 楽しい 嬉しい 快い 愉快 不愉快 面白い おかしい

	<p>つまらない</p> <p>ばからしい</p> <p>心強い</p> <p>心細い</p>
<p>3.301 苦しい・悲しい・こわい</p>	<p>苦しい</p> <p>辛い</p> <p>たまらない</p> <p>さびしい</p> <p>悲しい</p> <p>悩ましい</p> <p>面倒くさい</p> <p>こわい</p> <p>恐ろしい</p> <p>気味が悪い</p> <p>がっかり</p> <p>みじめ</p> <p>悲惨</p> <p>しみじみ</p>
<p>3.301 はずかしい・ほしい・くやしい・ありがたい</p>	<p>恥ずかしい</p> <p>きまり悪い</p> <p>欲しい</p> <p>望ましい</p> <p>待ち遠しい</p> <p>いらいら</p> <p>惜しい</p> <p>悔しい</p> <p>残念</p> <p>ありがたい</p> <p>もったいない</p>



	申し訳ない
3.302 好き・きら い・かわい い・にくら しい	好き 大好き きらい 大きらい いや 好ましい 望ましい 憎い なつかしい 恋しい うらやましい 親しい かわいい かわいらしい かわいそう 気の毒 憎らしい いやらしい 頼もしい 情けない ばかばかしい
3.303 しくしく・に ここにこ・ふ りぷり	にここにこ

[表3] 日本語教育基本語彙の感情・感覚に関する語句

本研究では、これらの117語を基にし、さらにこれらの中から感情・感覚との関わりが弱い語句、あるいは使用率が低い語句を除き、研究対象となるべき語句を選定することにした。

### 5.1.2.2 『現代雑誌九十種の用語用字』の使用率による選定

『現代雑誌九十種の用語用字』（1962）は新聞や一般の雑誌の語彙・用字の使用率を調査して「使用率順語彙表」を作成している。基本語彙の選定のためには、使用率が大きな選定要因となると思われるので、本研究では前節で取り上げた117語を「使用率順語彙表」を用いて以下のように並べ、表4の「日本語教育基本語彙で収集されている感情・感覚に関する使用率順語彙表」を作成した。

語彙	使用率‰	順位
感じる	0.456	260.5
好き	0.294	419.5
面白い	0.29	429
笑い	0.271	460
困り	0.237	537
欲しい	0.237	537
楽しい	0.212	612
驚き	0.208	624
いや	0.205	629.5
喜び	0.162	817.5
愛し	0.155	864
泣き	0.155	864
嬉しい	0.153	878.5
おかしい	0.137	972.5
さびしい	0.132	1020
憎い	0.128	1057
ありがたい	0.119	1147.5
悲しい	0.119	1147.5
おこり	0.116	1177

楽しみ	0.112	38
疲れる	0.107	
恐ろしい	0.105	
叫び	0.105	
おちつき	0.1	
悔しい	0.1	
苦しい	0.1	
こわい	0.098	
びっくり	0.094	
親しい	0.089	
かまう	0.082	
楽	0.08	
眠る	0.078	
あわて	0.075	
恐れ	0.073	
辛い	0.064	
悩み	0.064	
恥ずかしい	0.064	
気付く	0.062	
味わい	0.059	
残念	0.059	
かわいい	0.057	
気の毒	0.057	
覚める	0.055	
渴く	0.052	
好み	0.052	
酔う	0.052	

---

38 順位は 1207 位まで

苦しみ	0.05	
大好き	0.05	
なつかしい	0.05	
きらい	0.044	
惜しみ	0.041	
かわいそう	0.041	
親しみ	0.041	
惜しい	0.039	
なぐさめ	0.039	
あせり	0.037	
いたむ	0.037	
あきれ	0.032	
がっかり	0.032	
嘆き	0.032	
ほっと	0.032	
休める	0.032	
あこがれ	0.03	
好ましい	0.03	
愉快	0.03	
いやがり	0.027	
驚かし	0.027	
かわいがり	0.025	
かわいらしい	0.025	
しみじみ	0.025	
頼もしい	0.025	
にこにこ	0.025	
のんき	0.025	
気楽	0.023	
心細い	0.023	

のんびり	0.023	
いやらしい	0.021	
狂う	0.021	
覚ます	0.021	
ほえ	0.021	
飽きる	0.018	
恨み	0.018	
快い	0.018	
憎み	0.018	
望ましい	0.018	
ばかばかしい	0.018	
まごつき	0.018	
いらいら	0.016	
うらやましい	0.016	
悲しみ	0.016	
窮屈	0.016	
みじめ	0.016	
悠々	0.016	
あまえ	39	
きまり悪い		
気味が悪い		
くたびれる		
苦しめ		
恋しい		
心強い		
こわがり		
大きらい		

---

39 「あまえ」以降の言葉は『現代雑誌九十種の用語用字』では収集されていない

たまらない		
つまらない		
尊び		
情けない		
悩ましい		
憎らしい		
寝る		
ばからしい		
悲惨		
不愉快		
ほほえみ		
待ち遠しい		
面倒くさい		
申し訳ない		
もったいない		

〔表4〕 日本語教育基本語彙で収集されている感情・感覚に関する使用率順語彙表

感情・感覚に関する 117 語のうち、高使用率の 1200 位内に入るものはわずか 19 語にすぎない。また、24 語は『現代雑誌九十種の用語用字』では収集されていないので、使用率は不明である。

### 5.1.2.3 本研究の選定した研究対象

本研究では、『日本語教育のための基本語彙調査』（1984）が収集した感情・感覚に関する語句を『現代雑誌九十種の用語用字』（1962）の使用率順語彙表を用いて、使用率の高い順から選定した。また、「腹が立つ」のような、『現代雑誌九十種の用語用字』に含まれていないが、感情表現の研究において典型的、かつ重要な感情・感覚の語句を補足し、以下のように研究対象とすべき語句を選定した。次ページの表は選定した語句を表にしたものである。

愛する	呆れる	焦る	ありがたい*	慌てる
痛い*	嫌*	いらいらする	恨む	嬉しい*
おかしい*	怒る	惜しい*	恐れる	落ち着く
驚く	面白い*	がっかりする	悲しい*	かわいそう
感じる	嫌い	悔しい*	苦しい*	困る
怖い*	寂しい*	残念*	好き	楽しい*
辛い*	泣く	懐かしい*	悩む	憎い*
恥ずかしい*	腹が立つ	腹を立てる	びっくりする	欲しい*
喜ぶ	笑う			

\*形容詞を検討する時、対応する「一む」動詞、「一がる」接尾辞も一緒に分析する

〔表 5〕 本研究が選定した研究対象の語句一覧表

### 5.1.3 検索例の選定

本研究は感情表現の日常会話および雑誌、新聞や文学作品などの用例を検討して分析するため、以下のコーパスと辞典（例文集）を用いた。

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ:Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese）

文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「日本語コーパス」として、国立国語研究所によって作られた近現代書き言葉に関する書籍、雑誌、新聞などを対象とした 3500 万語からなるコーパス。

『名大会話コーパス』

科学研究費基盤研究(B)(2)「日本語学習辞書編纂に向けた電子化コーパス利用によるコロケーション研究」（平成 13 年度～15 年度 研究代表者 大曾美恵子）の一環として作成された、129 会話、合計約 100 時間の日本語母語話者同士の雑談を文字化したコーパス。

『感情表現辞典』（1993）中村 明 編、東京堂出版

## 5.2 感情表現の各語句の分析

### 5.2.1 「愛する」

#### 「愛する」

- ① 人や生き物にとっても好きだという気持ちをもつ。
- ② 異性（まれに、同性）を恋しく思う。焦がれる。慕う。
- ③ ある物事を価値あるものとして心から大切に思う。
- ④ あることが好きで、親しみや楽しみや喜びの気持ちをもつ。好む。愛好する。

（北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店）

#### 「愛する」

- ① （異性に対して）愛情をいだく。
- ② 好きで、いつもそれに親しむ。
- ③ かけがえの無いものと思って、大切にする。

（山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂）

「愛する」は品詞としては動詞に分類されるが、辞書では「恋しく思う」、「大切に思う」、「かけがえの無いものと思う」といった感情形容詞に近い特徴があり、必ずしも感情を外に表すものとは限らない。

- (1) 財産を不正に利用されていたとしてもブレイクとの結婚を決意したのはなぜか、打ち明けるつもりはなかった。彼を心から 愛しているから、すべてを差しだしても惜しくなかったなんて、口が裂けてもいまは言えない。

（ドナ・クレイトン（著）/ 宮崎 真紀（訳）『誘惑は禁止！』ハーレクイン）（少納言）

例（1）の感情主はその感情を打ち明けるつもりがなく、自分の中に思いを潜めるので、他人はその感情を観察することができない。その特徴は動詞よりも形容詞に近く、（純粹）直接感情表現として使うことができる。

一方、以下の例（2）、（3）は「母親は朔太郎を愛する」、「父は酒を愛する」という感情表現を外部から観察することができる。



(2) 母親は、沢山の子持ちになってしまったが、朔太郎を一番 愛して いた。小さい時からひ弱で神経質、学校も落第で、夫を怒らせ、失望させ、挙句の果は世間の笑いものの息子となった。だが、自分の老後を頼れるのは朔太郎でしかないと、信じていた。  
(萩原 葉子『朔太郎とおだまきの花』新潮社)(少納言)

(3) 父は七十三歳で癌のために鬼籍に入りましたが、いや、息子の私から見ても、よく酒を飲んでいたものです。こよなく酒を 愛して いたといっていいでしょう。  
(藤本 義一『掌の酒』たる出版)(少納言)

外部から観察できるのは単一の動作ではなく、何度も繰り返される動作、ずっと続いている習慣（朔太郎を可愛がる、よく酒を飲む）である。「愛」という感情が状態的なものなので、その愛着の気持ちは一旦消えても感情の対象（朔太郎、お酒）に会うとまたよみがえる。この長時間にわたって繰り返される日常の言動、習慣（朔太郎を可愛がる、よく酒を飲む）は第三者から観察され、その中に潜んでいる感情に気付くことが可能である。

「愛する」は、「恋しく思う」、「大切に思う」、「かけがえの無いものと思う」といった語句と同様に内的な思いを表す言葉なので、動作性が弱いものとして使われる。また、持続状態的なものであり、恒常性感情という特徴があるので、直接感情表現および間接感情表現として使うことが可能であり、「直接・間接同形感情表現」に属すものとして分類可能である。

「愛する」は直接感情表現、間接感情表現の例が共に見つかったが、例(4)、(5)のような外国語の文学作品から翻訳したもの、また、演劇、小説の中のセリフとして多用されている。例(6)のような実際の日常会話の例が少ないのは、日本人にとって「愛する」より、「好き」という表現の方が自然だからではないだろうか。

(4) 「ぼくだって父さんのことを 愛して るよ」とアレックスはいった。

(ジェイムズ・ウィンデル(著)/村山 寿美子(訳)『困った子供の育て方』講談社)(少納言)

(5) 「いろいろ打ち明けて下さって有難う。私は、はっきりいって、良介さんを 愛して いるわ。でも、陽子さんをおしのけて結婚したいとは思っていませんでした。

(6) F045 : そっか。

私、大学入った先輩にファザコンとかいう。

F160 : 言われた？

F045 : レッテルをはられた。

F160 : 何で？

F045 : わかんない。

自分でもよくわかんない。

ファザコンらしいよ。

F160 : うそー。

いいよ、それ、愛されてるんだよ、お父さんに。

(そうかもね) うん。

(データ 6 7)(名大コーパス)

また、「直接感情表現」は一般的に感情形容詞、あるいは感情形容動詞で表されるが、「愛する」は数少ない感情動詞の直接感情表現の一つである。しかし、「愛する」には、その動詞的な要素が残っているため、「属性直接感情表現」としては使われない。

「愛する」は内的な思いを表し、「直接感情表現」として使うことができる。その上「恒常性感情」という特徴から「間接感情表現」ともなり得るので、分類としては「直接・間接同形感情表現」に属することにする。しかし、動詞的な要素が残っているため、「属性直接感情表現」としては使われない。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粹直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粹間接感情表現	
愛する						○

### 5.2.2 「呆れる」

#### 「呆れる」

[自下一] 物事の異常さや言動の非常識さなどに驚いてとまどいを感じる。あっけにとられる。

## 「呆れる」

[自下一] 日常の経験や常識などからは予想できないような言動に接するなどして、そのようなことがあり得るのかと驚きとともに理解しがたいことだといった感をいだく。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「呆れる」は予想あるいは理解できない物事に接して驚き、とまどいを感じる感情表現であるので、「驚き」の特徴を有している。まず、呆れるは「驚き」のように短時間で発生して消える感情表現なので、発生した直後の「タ形」の例が多い。

(7) これは冗談ですけど、小生が貴君の立場だったら、身障手帳など見せずに、殴られて聞こえなくなったってことにして、莫大な損害賠償や慰謝料を要求できるともかぎらないんですからね！イヤこれは一寸すぎました。失礼でした…ハハハ」警察にもいろんな型の間人があるものだとその軽佻な饒舌に、僕は 呆れた。

(大久保 紀次『可能性に挑んだ聴覚障害者』文理閣)(少納言)

(8) 「小娘だと思って馬鹿にするなよ。こう見えてもあたしはこれから清水生まれの次郎長さんて怖ァい人ンところに嫁に行く途中なんだ。この荷物は嫁入り道具だい、ちょっとでも手を触れると喰いつくぞ」「ひゃあ、ありゃア嫁入り道具かい」と男たちはさすがに 呆れて 手を引っこめた。

(阿佐田 哲也『次郎長放浪記』角川書店)(少納言)

(9) 「片山！ お前は学校に何しにきてるんだ！」って怒鳴られたんですよ。ボクは、「ゴルフをやりてきてます！」と正直に答えちゃったんです。さすがに先生は 呆れていました。

(片山 晋呉『主役』祥伝社)(少納言)

例(7)～(9)のように、「呆れる」は感情主の驚愕または呆気を表し、その反応が存在するため、表情や動作などで第三者が観察することが可能である。「ル形」も感情を表す例

があるが、感情主は自分自身の感情を客観的に観察する時（例（10）、例（11））、あるいは「ほど」、「くらい」と結び付けて物事の程度を表す（例（12）、例（13））。

- (10) どんだけいけないものがあるのかと自分でも 呆れる ^ \_ ^ ; とりあえず・・・  
ってのもあって、さすがにもう今年は捨てました。

（「Yahoo!ブログ」Yahoo）（少納言）

- (11) クラブの女性にデートを申し込むだけなのに、硬くなるとはどういうことなのか。相手はまだ東京に出てきて一ヵ月しか経たない女である。秋葉は自分に 呆れる が、その若いところが、かえって気になるのかもしれない。

（渡辺 淳一『化身』集英社）（少納言）

- (12) コバンザメを食べてみたい。しかしそれはどうていかなうこととは思えなかった。あきれほど 多数の魚が並ぶ、県魚連の市場でさえ、今やコバンザメの姿は見られなかったから。

（盛口 満『骨の学校』木魂社）（少納言）

- (13) 最近、母が韓流ブームにのりまくってます。家の者が 呆れる位 に・・・その為、韓国の方のHPも見がります。

（「Yahoo!知恵袋」Yahoo）（少納言）

また、感情主の表情を強調して以下のように「呆れた顔」で表す例もよくある。

- (14) 「君たち、一緒に暮らしてるの？」島谷が訊いた。「この間までは」島谷は 呆れた顔 で笑った。「高校生が同棲ねえ。世の中、そこまできてるんだ」女将がつぶやいた。

（藤田 宜永『愛さずにはいられない』集英社）（少納言）

- (15) 「最近、植物、食ってないよな」それを聞いた友人は あきれた顔 をして、「おい。それを言うなら、野菜食ってないと言うんだ」と言い返し、ナオヒデは変人扱いされたというのだ。

「呆れる」は明確な動作で感情を表すものではないが、その感情の反応として、表情や態度に表れるので、その表情や態度から第三者はその感情を観察することが可能である。従って、分類としては「純粹間接感情表現」に属すことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	屬性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
呆れる					○	

### 5.2.3 「焦る」、「慌てる」

「焦る」と「慌てる」は同じように落ち着きを失うことであるので、本節は一緒に分析する。

#### 「焦る」

[自五] ① 思い通りにならないことに気がせいて、いらいらする。落ち着きや冷静さを失う。急せく。

② [俗] ひどくあわてる。あわを食う。

[他五] はやる気持ちで名誉や手柄を手に入れようとする。急ぐ。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「慌てる」

[自下一] ① 予期しない出来事に出会って、落ち着きを失う。また、その解決を急いで取り乱す。周章狼狽しゅうしょうろうばいする。

② 《「一・てて」の形で、副詞的に》急いで。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「焦る」

[自五] [思うように事が運ばない時] 急がなければいけないと思うあまり、ふだんの落ち着きを失う。

「慌てる」

[自下一] ①突然の事に出あって、ふだんの落ち着きを失う。

②びっくりして急ぐ。

辞書の説明では「焦る」と「慌てる」は近似しているが、この二つの感情は程度の差がある。以下の例を見てみよう。

(16) F005 : で、(うん) 婿取らなきゃいけない。

(うん) そんな、普通ね、(うん) 普通に出会って、(うん、うん) 婿ってなったら、引かれるじゃん。

F004 : うーん。

そうだよねー。

F005 : だから、どう、どうしたらいいんだろうとか (うん) 言ってて。

(<笑い>) ちょっと紹介してとか、そういう事情を話して紹介してとかって (ふーん) あせってて。

(データ 5 2) (名大コーパス)

(17) かなりの確率で、撃沈されると考えた方がいい。それを避けるには、一秒でも早く潜航させるしかなかった。ところが気ばかり 焦って、思うように体が動かない。身につけた装具や軍衣が、突起に引っかかっていた。

(谷 甲州『ニューギニア攻防戦』中央公論新社) (少納言)

(18) アドレスの整理なぞしてて、そのまま貼り付けたら。。。配信不能のメール。ガ〜〜〜ン 慌てて 2回目を送ったけど、まともや配信不能。気持ちは 焦る けど、冷静にアドレス帳を見ると表示が変。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo) (少納言)

(19) 実際、曲がり角付近には何の標識もなく、あやうく行き過ぎそうになって、慌てて ウインカーを出した。

(内田 康夫『喪われた道』祥伝社)(少納言)

- (20) いろいろ式などの打ち合せをしていたとき、急にCさんが吐血しました。慌て  
て救急車を呼び、病院に担ぎこんだのですが、重い肝硬変にかかっている、吐  
血の原因は、何か静脈瘤の破裂ということで、それからずっと入院していら  
れるのです」

(和多田 峯一『ずるい老人たち』ミネルヴァ書房)(少納言)

例(16)の「焦る」は「だから、どう、どうしたらいいんだろうとか(うん)言っ  
て」という感情主の動作的な反応があるが、例(17)の「焦る」は「気ばかり 焦  
って、思うよ  
うに体が動かない」と動作的な反応がない。また、例(18)の「焦る」も「気持ちは 焦  
る  
けど、」と気持ちばかりで動作は伴わない例である。このことから、「焦る」は  
何らかの外的な反応がある場合もあるが、気持ちだけで動作が伴わない例も  
多い。しかし、例(19)の「慌てる」は「慌  
てて ウインカーを出した」、例(20)の「慌てる」は「慌  
てて 救急車  
を呼び、病院に担ぎこんだ」とあるように具体的な動作が伴うことが多い。  
辞書でも「焦る」について「気が急いで」、「急がなければいけないと思  
う」などと動作性が弱いように説明している。一方、「慌てる」は「取り乱  
す」のような明確な動作で示すことが多い。動作性が伴うような場合、「焦  
る」は「慌てる」と同様に「純粹間接感情表現」で表すことができるが、  
動作性の弱い場合、「焦る」は例(17)、例(18)のように「間接反応間接感  
情表現」で表すことが可能である。これは以下の例(21)、(22)でも同様  
である。

- (21) 会長は、一方では猜疑心をつのらせながら、一方では 焦  
っ  
ている様子だった。

(梁 石日『裏と表』幻冬舎)(少納言)

- (22) 考えていることはいいけれど、気持ちばかり 焦  
っ  
て失敗する人と、そうなら  
ない人の差は、頭が熱くなってしまうかどうかとっていいだろう。

(斎藤 茂太『「なぜか人に思われる人」の共通点』新講社)(少納言)

また、「焦る」という感情はすぐ消えることもあるが、「恒常性感情」のよ  
うに長時間にわたって繰り返し生じることもある。以下の例(23)のよ  
うに「先の見通しが立たない」という焦燥感を感じるたびに「焦る」と  
いう感情が湧いてくる。これは常に「焦る」とい

う感情が持続するわけではなく、時に生じ、時に消えるような感情であり、恒常性感情として考えることができる。

(23) 実は、ザル法とはいえ、急ピッチで男女雇用機会均等法ができたから、卒業していれば、多少状況はよくなっていたんでしょうけどね。でも、私も二十歳前で、とにかく大人になりたいと 焦って いる時期だったから、先の見通しが立たない状況には、耐えがたいものを感じてしまったのです。

(吉武 輝子(著)/ 宮子 あずさ(著)『縁あって母娘』労働旬報社(少納言)

「焦る」と「慌てる」は何らかの明確な動作、あるいは表情を伴うことが多く、第三者から観察可能な場合、「純粹間接感情表現」に属す。ただ、「焦る」は、動作性の幅が広く、微妙な反応または様子だけで表すこともできるので、分類としては、「間接反応間接感情表現」にも属することになる。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
焦る				○	○	
慌てる					○	

#### 5.2.4 「ありがたい (ありがたがる)」

「ありがたい」

[形] ① 感謝したくなる気持ちだ。

② 尊く、もったいない気持ちだ。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

「ありがたがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)



## 「ありがたい」

[形] [もと「めったに無い」の意]

- ① めったに受けることの出来ない恩恵・好意・配慮に接して、身の幸せをしみじみと感じる様子だ。
- ② かけがえの無い経験をして、心から良かったと思う気持だ。
- ③ 物事が自分にとって好都合に運ばれ、うれしい気持だ。
- ④ めったに無い啓示・加護を与えてくれ、自然に手を合わせたくなる気持だ。とうとい。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

## 「ありがたがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

「ありがたい(有難い)」は恩恵、好運などを受けた時に感じる、感謝、喜びの感情である。以下の「ありがたい」の例を見てみよう。

(24) F128 : ていうかさ、Dに電話するなら早くした方がいいよね。

Dも夜遅いと寝ちゃうし。

いや、でもさあ、毎朝毎朝早く起きるとほんとにさーあ、ほんとに土日、土日とかでさーあ、早く起きなく、8時まで寝れることがすごい。

7時まで寝れることってすごい喜びじゃない。

M023 : ありがたいね。ほんつとに。

(データ05)(名大コーパス)

(25) よく「入札前に自己紹介欄をよく読んでから」などと書いてる人がいますが、それはウザいと感じます。商品説明欄に書いておいていただけると私としては ありがたい です。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

(26) 蓮如 その井戸は、阿弥陀の井戸といわれる 有難い 井戸。仏縁あるかたが釣瓶を投ずれば、中よりアミダー、と不思議な声が響きます。

(五木 寛之『蓮如』中央公論社)(少納言)

(27) 現在残っているのは、表現主義的な特徴を持つ本館の廃墟と門柱、記念碑の残骸のみ。門はあっても壁は取り払われているので、本館の目の前まで近づくことができるのは、廃墟ウォッチャーにとっては ありがたい ところだ。

(野村 宏平『日本怪奇幻想紀行』同朋舎;角川書店(発売))(少納言)

「ありがたい」は例(24)、例(25)のように感情主しか知り得ない感情を表すことができるので、「純粹直接感情表現」に属す。また、例(26)の「ありがたい」は感情主の感情を表すことではなく、その井戸の持つ宗教的な尊さをいい、そのことを評価するために使われている。例(27)の「ありがたい」は門がないため、廃墟の本館まで近づくことができることを好都合だと評価することである。例(26)、(27)のように「ありがたい」という感謝の気持ちを基準として物事を評価、判断することができるので、「属性直接感情表現」として使うことも可能である。

次に「ありがたがる」の例を見てみることにする。

(28) 「このあいだ、新聞にのっただろ。そのせいか、あの像を ありがたがって、おがみにくる人がいるんだよ。はじめはいちいち出て行ったけれど、このごろじゃあ、ほっておくよ」

(山崎 玲子『もうひとつのピアノ』国土社)(少納言)

(29) 最近では、八百屋さんでも、野菜を新鮮に見せるためにわざと泥をつけると聞いたことがあります。またそれを ありがたがって、お客さんがよく買っていくとかー。

(村瀬 明道尼『ある小さな禅寺の心満ちる料理のはなし』青春出版社)(少納言)

例(28)の「ありがたがる」も、例(29)の「ありがたがる」も何らかの言葉や態度、動作などで明確に外部に表出されるものであって、第三者からも観察可能なので、「純粹間接感情表現」に属すと考えられる。

「ありがたい」は感情主しか知り得ない感謝、崇敬の感情を表すことができるので、「純粹直接感情表現」に属す。また、その感謝、崇敬の気持ちを基準として物事を評価、判断することもできるので、「属性直接感情表現」としても使うことができる。「ありがたがる」は感情主がこの気持ちを明確な動作で外部に表し、第三者はそれを観察することが可能なので、「純粹間接感情表現」に属すものとする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
ありがたい	○	○				
ありがたがる					○	

### 5.2.5 「痛い（痛む、痛がる）」

#### 「痛い」

- [形] ① 体に苦痛を感じる。
- ② 《「頭が―」「耳が―」の形で》精神的に苦痛を感じる。
- ③ 手ひどい打撃や被害などを受けたと感じる。
- ④ [俗] 無様で痛々しいさま。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「痛む」

- [自五] ① 【痛】 体に苦痛を感じる。
- ② 【痛・傷】 心に苦痛を感じる。
- ③ 【傷】 器物や建物などが損なわれる。また、野菜（特に、果物）に傷がつく。損傷する。

- ④ 【傷】 食べ物が腐る。
- ⑤ 【痛】 髪・肌・爪・筋肉など体の一部分が健康な状態を失う。
- ⑥ 【痛・傷】 神経などを病んで、精神の健康を失う。
- ⑦ 【痛】 〔俗〕 ラグビー・サッカーなどのスポーツで、選手同士が激しく接触して倒れ、動けない状態にある。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「痛がる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「痛い」

- [形] ① 打たれたり切られたり体内に故障があったりして、その部分に意識せずに行られない不快な刺激を感じて、つらく思う様子だ。
- ② それから受ける打撃がひどくて、本来の力が発揮出来ない(事態の順調な進展が望めない) 状態だ。
- ③ 弱点・急所を指摘されたりねらわれたりして、対処に苦しむ様子だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

### 「痛む」

- [自五] ① 痛いと感じる (状態が続く)。
- ② 打撃を受けた状態になる。
- ③ 何らかの原因により、その物の機能が損なわれる。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

### 「痛がる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「痛い」(および「痛む」、「痛がる」)は肉体の苦痛と心(精神)の苦痛の両方を表すこ

とができるので、感情・感覚表現でもなりうる語である。まず、以下の「痛い」の例を見てみよう。

(30) F128 : いらない？

M018 : ちょっと甘すぎる。＜笑い＞

ちよつとね、歯が **痛い** んだ。

F128 : うそー。

M018 : うん。

(データ04)(名大コーパス)

(31) 地味な仕事で、お給料もそんなに高くなさそうなのに、たくさんの費用がかかる手術費を稼ぐのは、さぞ大変だったことでしょう。そして、何よりも、心が **痛い** のは、自分の肉親、特に、母親が、彼女のことを認めていないということでした。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

(32) こういう過去の物すごく厳しい **痛い** 経験というものに対して、日本人が非常に鈍感になってしまっているという部分があると思うんですけども

(松岡満壽男君「国会会議録」)(少納言)

(33) 洗濯機8万円・冷蔵庫3万円・TV12万円・ノートパソコン6万円な感じですよ。あと、ベッドとこたつを買おうと思ってます。 **痛い** 出費です。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

「痛い」は例(30)、例(31)のように感情主(感覚主)しか知り得ない感情(感覚)を表すので、「純粹直接感情表現」に属す。また、「痛い」という感覚は客観的、共通的な感覚なので、例(32)、例(33)のように「痛い」を基準として過去の経験の厳しさまたは出費の多さを厳しい経験として評価することができる。言い換えれば、「属性直接感情表現」として使うこともできる。

次に「痛む」と「痛がる」の例を見てみよう。

(34) ただ、ときどき、ひどく頭が **痛んだ**。「頭を打ったせいよ。」と、ママがおしえてくれた。頭にけがをしたんだということは、すぐにわかった。

(しらと あつこ(著)/山本 悦子(著)『幽霊屋敷のなぞを追え!』偕成社) (少納言)

(35) やっと起き上がり、歩いてみたが、ズキンズキン **痛む**。ゲタ監督が飛ぶようにしてやってきて、ぼくのその足首を指で軽く押ししたりして様子を見、きっぱりいった。「こりゃダメだ。捻挫だな

(田中館 哲彦『アタック!フューチャーズ』汐文社) (少納言)

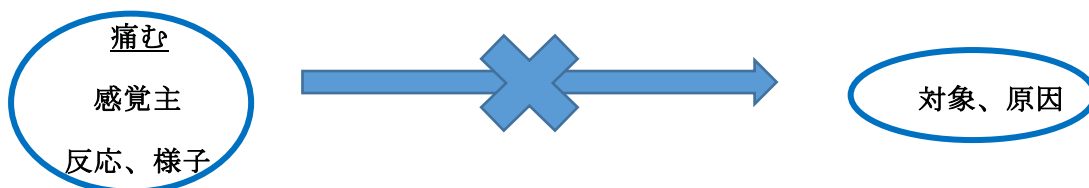
(36) 母は **痛がって**泣き叫び、私も涙が出てきて、ウジ虫がぼやけてくるのでした。マーちゃんも泣きながら、つぎつぎとはい出してくるウジ虫をけんめいにはさみとっていました。

(高柳 新『父の親指』新日本出版社) (少納言)

(37) そして 大声で助けを求めたり **痛がって**いる人は比較的、元気なので後回しにしてむしろ、声を出さずおとなしくしている人ほど 重症化している場合が多いので優先順位が早くなると言っていました。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

第三章(3.3.2 間接感情表現の下位分類)で説明した通り、「痛む」は「を」格も「に」格も取らないので、対象、原因に向かう志向性がない。感情主(感覚主)は例(34)、例(35)のように本人しか知り得ない痛みの反応が生じる。この反応は「直接感情表現」に極めて近いが、それ自体反応であるため、外部に表出し観察することが可能かもしれないが、そのような用例は見つけることができなかった。



一方、「痛がる」は例(36)の「泣き叫び」、例(37)の「大声で助けを求めたり」のような痛みから生じる明確な動作があって、第三者からも観察可能なので、「純粹間接感情表現」に属すと考えられる。

また、「痛む」は表現形式として「直接感情表現」に近いが、「痛む」は生理的反応なので、「直接感情表現」のような時間を経て消えていく気持ちではなく、以下の例(38)、例(39)のように断続的に生じてくる痛みの反応なので、「恒常性感情」に属すと考えられる。

(38) 折れていた骨も、ねむっているあいだにつながったらしく、どこも痛くはなかった。ただ、ときどき、ひどく頭が 痛んだ。

(しらと あつこ(著)/ 山本 悦子(著)『幽霊屋敷のなぞを追え!』偕成社(少納言)

(39) 時々、後ろを振り返ったりすると、後頭部の辺りがズキーンと 痛んで ものすごく痛いのですがなんなんでしょう。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

「痛い」、「痛む」、「痛がる」は「一む」動詞と接尾辞「一がる」を有する感情形容詞に表現形式としては似ているが、「痛む」には志向性がないという点で大きく異なる。その反応は感情主(感覚主)しか知り得ないものなので、他の「一む」動詞(「間接反応間接感情表現」)より、第三者から観察されにくい。この特徴を区別するため、「痛い」を「直接感情表現」とし、「痛がる」を「純粹間接感情表現」に属すものとするが、「痛む」は「直接反応間接感情表現」という分類に属すことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
痛い	○	○				
痛む			○			
痛がる					○	

## 5.2.6 「嫌<sup>い</sup>（嫌がる）」

### 「嫌」

[形動] ① 拒絶したい気持ちだ。また、これ以上続けたくない気持ちだ。

② 《「一な」の形で》不快な気持ちを起こさせる。歓迎できない。

[感] いやで拒絶したい気持ちを表す語。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「嫌がる」

[他五] いやだという様子を態度に表す。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「嫌」

それを受け入れる(続ける) ことに不快感を覚え、(出来れば) そうしなくて済むようにしたいと思う気持。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

### 「嫌がる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「嫌」を分析する前に、まず「嫌<sup>い</sup>」と「嫌<sup>い</sup>い」の異なることを明らかにする(「嫌い」の分析は5.2.21ですることにする)。

### 「嫌い」

[形動] その物事や人がいやで、それとかかわりたくない気持ちだ。

[名] ① 好ましくない気かかちな 傾向がある。

② …を区別しないで

[造語] 嫌っていること

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)



(40) にんじんは嫌いだ。

(40a) にんじんは嫌だ。

(40b) \*今日にはにんじんは嫌いだ。

(40c) 今日にはにんじんは嫌だ。

例(40)と例(40a)は同じくにんじんに対する嫌悪感を表している。しかし、例(40b)のように「今日は」という条件を付け加えれば、非文になる。対して例(40c)は違和感はあるが、以下のようにある理由を付け加えれば、許容度が落ちずに済むことになる。

(40d) 今日にはにんじんは嫌だ。さっきいっぱい食べたから。

言い換えれば、「嫌い」という感情は恒常的なものなので、時間的な限定条件を付ければ非文になる。「嫌」という感情はある物事・状況において生じる一時的な気持ちなので、そのような制限は存在しない。

次に「嫌」と「嫌がる」の例を見てみよう。

(41) F044 : 私ね、あの一、この春ごろね、あの一、ほら、ず、今まで1人で平気だったんだけどね、やっぱり今年になって、あらーこんな年まで生きちゃったなーって、<笑い>嫌だな一、早くお迎えきてくれないかなーと思ったとたんにわびしくなっちゃってね。

(データ30)(名大コーパス)

(42) 「家の者が行ってる。君はもう何もしなくていい」「…」黙り込んで俯いて、たぶん自分は今すごくふてくされた顔をしていると思った。こういうちゃんとした大人の男を前にすると自分のガキっぽさを思い知らされて 嫌だ。

(壁井 ユカコ『カスタム・チャイルド』メディアワークス;角川書店(発売))(少納言)

(43) F098：上の坊ちゃんまだ勉強楽しんでんの？

F011：うん。

(中略)

F098：1月とかってレポートの時期じゃないの。

だいじょうぶなの。

F011：そうそう、それで、すごく 嫌がってる、アメリカ行くの。<笑い>

(データ18)(名大コーパス)

(44) すぐそう思えたのは、幼児のころから、もしかして女の子ではないか…と感じるところがたくさんあったからだという。幼稚園の男の子の制服を 嫌がって 毎朝泣いていた。

(波多江 伸子『ネコ型のすきま』木星舎)(少納言)

例(41)、例(42)の「一人で生きているが嫌」、「ガキっぽさを思い知らされるが嫌」といった気持ちは感情主本人しか知り得ないものであり、例(41)のF044のように、本人が「嫌だなー」と言わなければ、他人からは観察できない。また、例(43)の「上の坊ちゃん」の「アメリカに行きたくない」という反応、例(44)の幼稚園の制服に対する「泣く」という子供の反応を通して、その感情を知ることになる。したがって、「嫌」は「直接感情表現」、「嫌がる」は「純粹間接感情表現」に属すと言える。

また、「嫌」が「直接感情表現」の下位分類「属性直接感情表現」に属すかどうかを検証してみることにする。

(45) 正直、許せないかも…ってか、許せても疑っちゃいますね。幻滅しちゃいます。エイズでもなんでも、とりあえず検査したほうがいいのでしょうかね…  
嫌な世の中ですね。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(46) 今日 嫌な 事件や事故の無い一日になりますように。今日も平和な一日になりますように。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

「嫌い」という心的傾向は感情主の個人的なものであり、客観的な基準として使うと許容度が落ちてくるが（「嫌い」の分析は5.2.19ですることにする）、「嫌」という感情は個人的な好悪より不快感という気持ちを表しているように思われる。不快感は人によって大きく変わる感情ではないので、例（45）の「嫌な世＝不快を引き起こすほどの世」と例（46）の「嫌な事件＝不快を引き起こすほどの事件」という認識は共通したものであると思われる。そのため、「嫌」は「属性直接感情表現」として使うことができる。

「嫌」は「嫌い」と同様に嫌悪を表すことができるが、「嫌」という感情は傾向ではなく、ある物事・状況において生じる「生起性感情」なので、「嫌い」のように「直接・間接同形感情表現」に属するものではなく、「直接感情表現」に属するものと考えられる。また、「嫌」という不快感、嫌悪感は基準として物事の評価、判断に使用できるので、「属性直接感情表現」として使うこともできる。また、「嫌がる」は言動や動作など何らかの外部に表出されてくる明確な動作があり、第三者から観察可能なので、「純粹間接感情表現」に属するものとする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粹直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粹間接感情表現	
嫌	○	○				
嫌がる					○	

### 5.2.7 「いらいらする」

#### 「いらいらする」

[副ト] ① 思い通りにならず、あせって感情が高ぶるさま。

② 皮膚や粘膜がちくちくと刺激を受けて不快なさま。

[名] 思い通りにならず、あせって感情が高ぶっている状態。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「いらいらする」

[事が思い通りに運ばないために] 神経が高ぶって、冷静さを失っている状態。

[副] ① 事が思い通りに運ばなくて、今にも痲癩(カンシヤク)を起こしそうな精神状態にある様子。

② とげ状の物が皮膚にさわった時のような、不快な刺激を感じる様子。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

日本語の感情は主に動詞と形容詞によって表されるが、一部の擬態語や慣用句などでも感情を表すことが可能である。「いらいらする」は、そのような擬態語の一つである。まず、以下の例を見てみよう。

(47) 大半のゴルフ場ではコースのあちこちで いらいらし ながら打順を待つ人々が必ずいるのだ。

(野地 秩嘉『サービスの天才たち』新潮社) (少納言)

(48) 父親みたいな気分でおおどかに君を眺めてるよ。寛容と吸収だ。君の気持はよくわかります。昔の私にそっくりだ。ほんとにそういうことはあるよな」「タッ、キザな!…」学生は顔を真っ赤にし、いらいらして 叫んだ。

(開高 健『戦後短篇小説選』岩波書店) (少納言)

(49) (M025 が F015 に簡単マジック「爪楊枝が跳ねる」をやって見せたが、F015 は何で爪楊枝が跳ねるのか分からず、何度もネタばらしを M025 に求めている)

F015 : 何で? (ネタばらしを求めて)

M025 : うん、ま、だから、うん、パワーのコンディションがね。

(中略)

F015 : わからん。

何?

ネタばらしして?

M025 : いや、しない。

<笑い>だんだんいらいらしてきた。

<笑い>

F015：ネタばらし。

M012：めちゃ怖いわ。

F015：ネタばらし。

M012：いや、俺できてなかったん。

F015：ネタばらししてよ。

(データ25)(名大コーパス)

例(47)の感情主(待っている人々)の感情は、その様子、姿勢などから観察されるので、「間接反応間接感情表現」に属すと考えられる。また、例(48)の学生が真っ赤な顔で叫び、例(49)は、M025がやった爪楊枝の上に爪楊枝を乗せると、何もしないのにその爪楊枝が飛び跳ねる現象に対して、何で爪楊枝が飛び跳ねるのかF015が「ネタばらしして」と何度も執拗に迫る。しかし、M025は、それに答えず、わざと焦らす。F015はそれに対していらいらしてくる。M025は、そのF015の様子を見て、「<笑い>だんだん いらいらしてきた」と揶揄している。このように「いらいらする」という感情も第三者から観察可能なので、「純粹間接感情表現」にも属していると言えよう。また、「いらいらする」は以下の例のように感情主一人称で使われることもある。

(50) 私は月経3日目ぐらいが一番 いらいらします。何かよくわからない内側からくる不快感があって、普段は気にしないことで苛立ったり、ブルーになったりします。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(51) 四日続けての休みが明けた朝、離れを訪れてみると、洗面台が水漏れを起こして廊下まで水浸しになっていた。水道局に電話を掛けたり、修理業者を呼んだり、私も いらいらしていたのは事実だ。

(小川 洋子『博士の愛した数式』新潮社)(少納言)

(52) (うん) ほんでようやく電話が来て、悪いけど1時間遅れちゃうって言うのね。

(うん) ほんでまあ、うちだし、まあいいやと思って1時間待ってたのね。

それでも来ないわけ。

(うん) また電話が来て、あと1時間遅れるとか言って。

(うん) 何それって思って。

(うん) で、もう、彼女に会う前から、かなりあたしは いらいらして たのね。

(うん) ずいぶん失礼な人だなーと思って。

(データ94)(名大コーパス)

感情主が自分自身の感情を表す場合、感情形容詞などの「直接感情表現」が一般的によく使用されるが、日本語においては、怒りを表す感情形容詞が存在しないので、怒りを表すためには、数少ない日本語の直接感情表現(「腹が立つ」、「むかつく」)を使うか、あるいは自分自身を客観的に観察するような表現をするほかはない。

例えば、例(50)の感情主は感情を表すというより、いつもの経験によって自分の不快感がもっとも高まる様子を観察し表現している。例(51)と例(52)の感情主は自分自身の過去を回想し、それを客観的に観察している例である。

「いらいらする」は、感情主の怒りに至る直前の心的状態であり、その様子が外部に表れたり、他の動作性の弱い反応として生じることもある。その感情が高ぶり、より明確な言動となって表されることもあるので、「間接反応間接感情表現」と「純粹間接感情表現」の両方に属することにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
いらいらする				○	○	

### 5.2.8 「恨む」

#### 「恨む」

[他五] ① 【恨・怨】ひどい仕打ち(をした相手)に、怒りや憎しみや不満などの気持ちをもつ。恨みに思う。

② 【恨・憾】思い通りにならないことなどに不満や無念の思いを残す。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

## 「恨む」

- [他五] ① ひどい仕打ちをした人に対して機会があれば仕返しをしてやろうと思う気持ちを、いつまでも忘れずに持ち続ける。
- ② [望み通りにならなくて] 残念に思う。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「恨む」は品詞としては動詞だが、辞書では「恨みに思う」、「不満や無念の思いを残す」、「残念に思う」といった感情形容詞に近い特徴があり、必ずしも感情を外に表すとは限らない。

- (53) わしは、グアム島に置きざりにされたからって、天皇陛下は恨みませんよ。わしが 恨む のは、名前は言えねえが、あの人だけだわ。このたびの戦争は天皇陛下がやった、天皇陛下が責任者だというけど、それをやらした人があったからやったんでしょ。

(横井 庄一『「文芸春秋」にみる昭和史』文芸春秋) (少納言)

- (54) ウィンナーワルツの調べが聞こえてくると、どうしてもタコの形をしたウィンナーが輪になって踊っている光景を想像してしまう。「ウィーン風ソーセージ」のことを「ウィンナー」と最初に呼び始めた人を、心底 恨む。

(星野 博美『広告月報』朝日新聞社) (少納言)

「恨む」は対応する感情形容詞が存在しない(恨めしいでは意味がズレる)し、「恨み」という感情は「愛する」などと同様に愛憎を表す抽象的なものである。また、「恨む」は感情形容詞に近いものなので、動作性が弱くて感情形容詞のように「(純粹) 直接感情表現」として使うことができる。例えば、例(53)の感情主は「あの人」を恨むことと例(54)の感情主は「「ウィーン風ソーセージ」のことを「ウィンナー」と最初に呼び始めた人」を恨むことは感情主が自ら話さない限り、他人はその感情を直接観察することはできない。

その上、「恨む」という感情は持続時間が長く、辞書では「いつまでも忘れずに持ち続ける」となる。言い換えれば、長時間にわたる感情で、一旦消えても感情の対象を思い出す

たびにまたよみがえる。また、長い間に持ち続けている感情は以下の例のように日常の言動、習慣で第三者から観察されることになる。

- (55) 人の尊厳を踏みにじる過酷な凌辱行為を受けたというのに、驚くべきことに、心の底から恵次を 恨んで いる犠牲者は一人もいない。調べることができた範囲では、被害者全員が同じ想いを共有しているらしかった。

(三田村 半月『股人タクシー』ハーヴェスト出版;星雲社(発売))(少納言)

- (56) 「とにかく、おれの話は絶対に誰にも言わないでくれ。お前は特に、親分の蟻巣川さんの前に出ると突然黙り間になって、あることないこと喋りまくる。あのひとはおれのこと 恨んで るから、もし知れたらただじゃすまない」

(筒井 康隆『文学部唯野教授』岩波書店)(少納言)

- (57) 「蘇佩佩のダンスパーティーで可慧と知り合ってから、兄貴は半年以上も彼女を追いかけている、追えば追うほど惨めな事よ！あなたがどんな良からぬ事をたくらんでいるか知らない！私はただ、あなたが 恨んでいる 事を知っているだけだ！ 恨みの気持ちが透けている！

(瓊 瑤(著)/長谷川 幸生(訳)『恋恋神話』早稲田出版)(少納言)

例(55)は調査によって被害者の感情を知り、例(56)と例(57)は明言しないが、話者は現在ではなく、過去の何らかの日常的言動または習慣を通して感情主の「恨み」の感情を確かめることになる。

「恨む」は「恨みに思う」、「不満や無念の思いを残す」、「残念に思う」という感情形容詞的な特徴があるので、感情形容詞の代わりに使われ、「直接感情表現」として感情を表すことができることになる。また、感情の持続時間が長く、恒常性感情といった特徴もあるので、直接感情表現、間接感情表現としても使うことが出来、「直接・間接同形感情表現」に属することが分かる

また、「直接感情表現」は一般的に感情形容詞、あるいは感情形容動詞で表されるが、「恨む」は数少ない感情動詞の直接感情表現の一つである。しかし、「恨む」には、その動詞的な要素が残っているため、「属性直接感情表現」としては使われない。



「恨む」は感情形容詞に近いの特徴があり、対応する感情・感覚形容詞が存在しないので、感情形容詞の代わりに「直接感情表現」として使うことができる。その上「恒常性感情」という特徴から「間接感情表現」ともなり得るので、分類としては「直接・間接同形感情表現」に属すことにする。しかし、客観的な基準として「属性直接感情表現」で使うことができない。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粋直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粋間接感情表現	
恨む						○

### 5.2.9 「嬉しい (嬉しがる)」、「喜ぶ」

#### 「嬉しい」

- [形] ① 望み通りの状態が得られて、喜びを感じる。よろこばしい。
- ② 《否定的な内容の名詞を修飾して、修辭的に》当初の期待以上のよい成果が得られたことをいう。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「喜ぶ」

- [他五] ① 好ましい出来事に満足しうれしく思う。～に喜びを感じる。
- ② 好ましいこととしてうれしく思う。喜んで受け入れる。歓迎する。
- ③ [手紙やあいさつで使って]めでたいこととしてうれしく思う。祝福する。
- ④ 《「一・んで」の形で、副詞的に》喜びに心が浮き立つさま。また、依頼などをこころよく引き受けるさま。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「嬉しがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

## 「嬉しい」

[形] 自分の欲求が満足されたと感じて、その状態を積極的に受け入れようとする気持だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「喜ぶ」

[自五] よい事に出あって非常に満足し、うれしい(ありがたい) と思う。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「嬉しいがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「嬉しい」はその動詞化の「嬉しむ」と接尾辞「嬉しいがる」があるが、この「嬉しむ」は、かつては存在したが、既に死語になっている。これ対して「喜ぶ」は意味的には「嬉しい」に近く、辞書でも「喜ぶ」が「嬉しい」の動詞化であると見なしている<sup>40</sup>ので、本節でも一つにして分析することにする。まず、以下の「嬉しい」の例を見てみよう。

(58) F130 : 私、ほん、でも、修論、ほんと全然だったのね。

F153 : うん、て言ってたけど、(うん、だから) たぶん、最後にはこうなるって思ってた。

うーん。

F130 : いや、私、無理だと思ってたの、ほんとに。

F153 : 本当? 暗かったとか言ってたけど、でも私絶対うまくいくと思ってたのね。

<笑い>

---

40 『明鏡国語辞典第二版』と『新明解国語辞典第七版』は「悲しい」の反義語が「嬉しい」、「悲しむ」の反義語が「喜ぶ」であると註解している。

F130：いやでもこれは本当に先生のおかげなんですよ。

(中略)

F130：お恥ずかしい限りです。

(ううん) でもありがたい、やっぱり 嬉しかった。

(データ110)(名大コーパス)

(59) 最優秀賞、とれました！！！！！！やばいよ、やばいよ！ガチで 嬉しい よ！  
こんなに 嬉しかった の久しぶりかもだし、学校で泣くのも久しぶりだったよ！

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

(60) 実際、「半期ごとに贈ってくれる商品が魅力的なので持ち株を売るに売れない」という 嬉しい悲鳴 の投資家がたくさんいます。現在、こうした株主優待制度を取り入れている上場企業は800社近くあります

(杉村 富生『株式配当で“自分で年金”をつくる法』日本実業出版社)(少納言)

(61) 長野に引っ越したらもう遠くなった東京からそんなに仕事はこないかなと思っていたのですが、この本が読者に好評だったこともあって、私が予想していたのとはまったく違った事態になりました。嬉しい誤算 でした。東京から仕事の注文があいつぎました。

(山本 麗子『山の中の幸福なキッチン』講談社)(少納言)

「嬉しい」は例(58)、例(59)のように感情主しか知り得ない感情を表すので、「純粹直接感情表現」に属す。また、「嬉しい」は、例(60)、例(61)のように「属性直接感情表現」として使われ、否定的な内容の名詞(悲鳴、誤算)と結び付く時、物事の予想以上の良い状態、結果を強調することになる。

次に「喜ぶ」の例を見てみよう。

(62) 期せずして兵たちの歓声があがった。ヒル大佐の兵たちが、飛び上がって 喜ん  
で いるのだった。この喜び方は半端ではなかった。

(草薙 圭一郎『時空戦艦『大和』』コスミックインターナショナル)(少納言)

- (63) ビュッフェは、夏のはじめに来て、この店の寿司をいたく気に入って、色紙を描き残したという。それは、寿司の味もさることながら、主人が握る寿司の美しさに魅せられたのではないだろうか。 ビュッフェはどの握りも 喜んで 食べ、とくにガリが好きで、フランスまで空輸で送らせるよう注文したという。

(嵐山 光三郎『江戸前寿司一の店に行く』新講社)(少納言)

- (64) F023 : 城壁の上をやっぱ観光客なんだけどワンちゃん連れてきてる人たち結構多くて。

F107 : で、こう、そのワンちゃんと2人を、なに、お父さんとお母さんと歩いて、ワンちゃんに会ったんだ。

(中略)

F107 : そうしたらそのワンちゃんがなんか 喜んで、で、あたしの方に走ってきて、とびついてきちゃってさ。

別にあたしさあ、別にさっきまでただけなのにさあ、なんかすごーいなつかれちゃってね。

(データ01)(名大コーパス)

感情形容詞に対応する動詞は、ほとんどが「一む」動詞である。しかし、「喜ぶ」は、感情形容詞「嬉しい」に対応する動詞である。「一む」動詞は、ほとんどがある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応である(「間接反応間接感情表現」)。しかし、「喜ぶ」は、他の「一む」動詞と異なり、例(62)の「兵士は飛び上がるほど喜ぶ」、例(63)の「ビュッフェはどのお握りも喜んで食べる」、例(64)の「ワンちゃんがなんか 喜んで、で、あたしの方に走ってきて、とびついてきちゃってさ」のように、明確な動作を伴っており、第三者は、その明確な動作からその感情を観察可能である。

「嬉しい」に対する「嬉しがる」という表現は、「嬉しむ」ほどではないが、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』と『名大コーパス』を見ると、「喜ぶ」と「嬉しがる」の例文数は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』では **5847 : 75**、『名大コーパス』では **80 : 0**である。換言すれば、「嬉しい」の動詞化という役割は、現在「嬉しがる」ではなく、ほとんど「喜ぶ」によって占められている。そのため、「喜ぶ」の動作性は、他の「一む」動詞より

強くなり、典型的な間接感情表現となっている。

最後に以下の「嬉しいがる」という例文をあげ、「喜ぶ」に変換した結果を検証することにする。

(65) 初めて給料を貰った時、親の老眼鏡を買っただけで、いまだに 嬉しいがって います。あなたが幸せでいる事が、何よりも嬉しいはず。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

(65a) 初めて給料を貰った時、親の老眼鏡を買っただけで、いまだに 喜んで います。あなたが幸せでいる事が、何よりも嬉しいはず。

例(65)の親の「嬉しいがっている」言動を例(65a)の「喜んでいる」に変えても違和感を感じない。また、例(64)のワンちゃんの感情表現を変えてみると次のようになる。

(64a) (中略)

F107: そうしたらそのワンちゃんがなんか 嬉しいがっちゃって、で、あたしの方に走ってきて、とびついてきちゃってさ。

例(64)の「喜ぶ」を「嬉しいがる」に変えても例(65)のように違和感がないので、両者ともに「純粹間接感情表現」に属すことにする。

「嬉しい」は感情主しか知り得ない感情を表すので、「純粹直接感情表現」に属すものである。また、肯定的な内容だけではなく、否定的な内容の名詞(悲鳴、誤算)と結び付き、物事が予想以上の良い状態、結果になったことを強調することで「属性直接感情表現」として使うことができる。「喜ぶ」は感情形容詞の動詞化「一む」動詞と同様に見なされるものであるが、「嬉しい」に対する「嬉しいがる」の使用率の低下によって、動作性が強くなり、「嬉しいがる」と同様に「純粹間接感情表現」に属すことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
嬉しい	○	○				
喜ぶ					○	
嬉しがる					○	

### 5.2.10 「おかしい (おかしがる)」

#### 「おかしい」

[形] ① 滑稽こっけいで笑い出したくなる気持ちである。

② 通常の様子ではないさま。異常だ。

③ 何か好ましくないことをしそうなさま。あやしい。

④ 疑問を抱かせるさま。不審だ。いぶかしい。

⑤ 《「一・くって」の形で》まじめにとりくむ気にもなれない。ばかばかしい。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「おかしがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「おかしい」

[形] ① その場にふさわしくない言動などに接して、思わず笑いたくなるような気持だ。

② 正常な機能が失われたり予想外の展開を見せたりして、納得できない(何らかの対応が必要だと思われる) 状態だ。

③ 論理的に考えて(社会通念に照らして) 正しいものとは認められない状態だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「おかしがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「おかしい」は元々感情形容詞と属性形容詞の両方の性格を有している言葉である。しかし、「属性直接感情表現」は感情を基準としてある物事を評価、判断する表現であり、言い換えれば、感情の特徴で物事の性質を表すものである。「おかしい」は「属性直接感情表現」に属すかどうかを検討するために、その感情形容詞の部分の特徴を明らかにしておく必要があると思う。まずは以下の例を見てみることにする。

(66) 「四番目のまちがいはおれを見くびったことだよ。拳銃の扱いを知らないと言ったら、本気にしやがった。おれは おかしくて 腹のなかがよじれそうだったぜ」

(船戸 与一『伝説なき地』双葉社)(少納言)

(67) 暴力団とおんなじで、放つといたらおとなしくしてるのに、それを暴力団はこの町から出てけとか、このマンションから出てけって騒ぐから、怒って暴れだしやがる。放つといたほうがいいんだよ」順哉は、その今井の言い方が おかしく くて 笑った。

(宮本 輝『睡蓮の長いまどろみ』文藝春秋)(少納言)

(68) 今年の天候は明らかに おかしい ですよ。ゲリラのように大雨が降って、すぐに大洪水。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

(69) 「犯人としては、行動が、おかしい ですよ。身元を知らせたいのなら、最初から、死体の傍に、それを証明するようなものを、置いておけば、いいんです。運転免許証とか、CDカードとかをです」

(西村 京太郎『鳥取・出雲殺人ルート』講談社)(少納言)

(70) メッセンジャーの会話歴を残してる私は、おかしいでしょうか？メールでさえ削除する人が多いんですね。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

例(66)、例(67)の例は、感情主が相手の言動に滑稽またはその場にふさわしくないとこころを感じて笑いたくなるという気持ちを表している。例(68)、例(69)は、話者が天候の異常または犯人のあやしい行動に対する評価と考えられ、感情まで表しているとは思われない。例(70)の話者は、一見自分自身がおかしいと伝えようとしているようだが、実は、話者ではなく、「会話歴を残す」という行為の異常さを伝えようとしていると思われる。これらの「おかしい」の用例の中で、本当に感情を表していると思われる例は、例(66)と例(67)だけである。

言い換えれば、「おかしい」は「滑稽こっけいで笑い出したくなる」という感情を基準として物事を評価、判断するとすれば、「属性直接感情表現」に属することになるであろう。また、次の例を見てみよう。

(71) この「おはぎと大福」は、まるで我が家のふぐらどもと私を見ているようなのであります (\* $\geq m \leq$ ) = 3 実際に経験するとかなりキツイことでも～客観的に見ると 可笑しい ものなのねゞ (@>▽<@) ノ

(「Yahoo!ブログ」Yahoo) (少納言)

例(71)の「おはぎと大福」という二匹の猫との生活を描写しているコミックスに対して、話者はおかしいと評価している。この例の「おかしい」は異常、不審ではなく、「滑稽こっけいで笑い出したくなる」という感情を基準としている。そのため、この場合の「おかしい」は「属性直接感情表現」に属することになる。

最後に、「おかしがる」の例を見てみよう。

(72) 「ただ家内は貯蓄心が強い。どこそこへ行く、金はあるのか、金なら心配せんでもいいと、やれやれ妻のお陰やと…」 こういう調子がえんえんと続くものですから、生徒さんは おかしがって いつも大笑いになります。

(中西 政山『四柱推命教室は本日も大賑わい』中央通信社;星雲社(発売)) (少納言)



(73) 顔が低いばかりでなく背が低いので、むやみに高い帽子と高い下駄をはくことや、それを車夫が おかしがつて 書生に話すことや、書生が、なるほど君の観察は機敏だと感心することや、一いちいち数えきれない。

(夏目 漱石『吾輩は猫である』偕成社)(少納言)

例(72)は生徒たちの大笑いという反応からその感情を観察する「純粹間接感情表現」である。例(73)も形式としては同じであり、感情主の車夫はその対象となる人物が顔が低いばかりでなく背が低いのにに対して、やたらに高い帽子と高い下駄をはいているというアンバランスな姿が滑稽であると書生に話していることである。

「おかしい」は感情主しか知り得ない感情を表すことができるので、「純粹直接感情表現」に属す。また、「滑稽こっけいで笑い出したくなる」という感情の特徴を基準として物事を評価、判断することができるので、「属性直接感情表現」として使うことができる。また、「おかしがる」は感情主がこの気持ちを明確な動作や言動にまで表し、それは第三者から観察することが可能なので、「純粹間接感情表現」に属すものとする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粹直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粹間接感情表現	
おかしい	○	○				
おかしがる					○	

### 5.2.1.1 「怒る」

#### 「怒る」

[自五] 不快・不満の気持ちを外に表す。腹を立てる。立腹する。怒いかる。

[他五] よくない言動をしたとして、相手を責めとがめる。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「怒る」

[自他五] ① がまん出来なくて、不快な気持ちが言動に表われた状態になる。

② 目下の者などのやり方が悪いと言って、強い言葉でしかる。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

喜怒哀楽などの感情の中で、「怒」は感情形容詞が存在しない感情である。代わりに「焦る」、「いらいらする」、「怒る」、「腹が立つ」や「腹を立てる」などの動詞または慣用句がある。辞書では「怒る」の感情表現は明確な言動があつて外に表すことである。まず、検証のために以下の例文を見てみよう。

(74) たとえば犬が 怒っている とき、声も「ワンワン！」と 怒っています。それだけではなく、目も 怒っている、耳も立っている、尻尾まで体の毛が全部逆立っている

(西江 雅之『「ことば」の課外授業』洋泉社) (少納言)

(75) 彼は振り返り、「やあ、近藤先生」と言いながら近づいてきた。そして一メートルほどの距離に来るといきなり、「外科が 怒っているぞ」と切り出した。「外科のスタッフ会議が開かれて、学部長が近藤の譴責をしてくれ、と全員一致で要求してきた」

(近藤 誠『大学病院が患者を死なせるとき』講談社) (少納言)

(76) 花輪さんちの奥さんが、朝、なにげに玄関から出たところで青大将を踏みつけ、怒った 大蛇にグルグル巻きにされてしまったのだ。

(山崎 マキコ『東京 19 歳の物語』G.B.) (少納言)

例 (74) の話者は経験上で観察した犬の怒る表情と動作（声、目つき、耳や全身の毛が逆立ち）について述べている。例 (75) の外科の医者たち（感情主）は近藤の譴責を要求することで怒りを表し、例 (76) の大蛇は奥さんをグルグル巻くことで怒りを表すことにするので、「純粹間接感情表現」に属すと言えよう。

次に感情主自身が「怒る」を使う例文を見てみよう。

(77) 「奥さん、納得されてましたか？」「いや。納得していない。怒ってる」それが当然だろう。ようやく自分にも理解可能な反応が出てきて匡緒はホッとした。

(西澤 保彦『神麻嗣子の超能力事件簿』講談社) (少納言)

(78) 「まだ怒ってるんだ？」 「怒ってないよ。つき合ってたときは楽しかったし」 だ  
から。後悔してない。つき合ったことも、別れたことも。信之くん。わたしね。  
ようやく、ここまでこれたのよ。

(青山 えりか『好きから始まる冬物語』講談社)(少納言)

(79) 「叔父さん、お客さまの前でもうこれ以上、云いはったら、ほんとに 怒りますよ」 千里は遠慮のない云い方で、叔父の話を遮った。

(山崎 豊子『不毛地帯』新潮社)(少納言)

(80) 「あの、ほんと…邪魔なら帰りますけど」「やめてよ、そんなんじゃないって言  
ってるでしょ。怒るよ」「じゃあ、祐美さんとはなんでもないんですね？俺、彼  
女を諦めなくてもいいんですね？」

浅野 美和子『笑顔の法則』竹書房)(少納言)

怒りの感情を表す感情形容詞は存在しないので、感情主は自分の怒りを表す時、数少ない直接感情表現（「腹が立つ」、「むかつく」）を使うか、あるいは自分自身を客観的に観察することになる。例（77）と例（78）の感情主は相手の質問、および言動に対して自分の感情を客観的な状態的なもの（テイル形）と見なして答えを返している。

また、例（79）と例（80）の話者は感情を表すというよりも、相手の行動を阻止するために警告するということである。話者が「怒りますよ／怒るよ」と発話する時には、まだその感情はまだ起こっていないので、感情表現ではないことが分かる。

「怒る」は、感情主がこの気持ちを明確な動作にまで表し、第三者から観察することが可能であり、また、感情主は自分自身を客観的に観察することが可能なので、「純粹間接感情表現」に属すものと言える。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
怒る					○	

## 5.2.12 「惜しい（惜しむ、惜しがる）」

### 「惜しい」

[形] ① ものや人、機会などが失われるのを残念に思うさま。

② もう少しで期待通りにならなかったことを悔やんで、残念に思うさま。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「惜しむ」

[他五] ものや人・機会などが失われるのを残念に思う。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「惜しがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「惜しい」

[形] ① [かけがえが無いので]

むだに失いたくない感じだ。

② [まだ余り使ってなかったりほかにもっと使い道が有ると思うので]

そのままほうっておくに忍びない感じだ。

③ [才能・能力が有るのに、報いられないでいるので]

機会を見つけて なんとかし(てやり)たい感じだ。

④ [もう少し続けたいと思うのに]

そこで打ち切らねばならず、残念だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

### 「惜しむ」

[他五] 十分に出さないで済ませようと思う。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「惜しがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「惜しい」は物事や人が失われ、または中止されることに対して残念と感じるか、あるいは喪失感を感じることである。まず、以下の「惜しい」の例を見てみよう。

- (81) F125：高校のたん、そのときの担任がたまたま化学の先生でさー、(うん) マツダがちょうど何か、あの、水素爆発させて造る、動く車を造っている途中でそういう、倒産じゃないけど(あー) 吸収合併されちゃったもので、あれどうなったのかねーって。

F060：惜しい。

F125：そう、惜しい、心配とか言ってたけど、でも結構まだ続いているらしいね、その研究も。  
(データ19)(名大コーパス)

- (82) 三田邸は二万数千坪もあって、高台であるし、現今では松方侯爵その他が分割して東京でもよい邸地といわれているのだが、それを僅に三千何百円とかで人手に渡してしまわれたのは実に 惜しい。

(内藤 鳴雪『鳴雪自叙伝』岩波書店)(少納言)

例(81)のF060とF125は水素燃料車の開発中止の可能性に対して残念な気持ちが湧き、また、例(82)の感情主は数万坪の宅邸が破格の値段で売られたことに対して残念に感じている。この二つの例の「惜しい」という感情はF060、F125のように自ら表さなければ他人から観察できないので、「純粹直接感情表現」に属す。また、以下の例のように「属性直接感情表現」として使うこともできる。

- (83)「航続距離範囲内に近づくまで待ってもらおう。一陸上の捜査員にしておくのは、惜しい男だ、あんたは」「あなたも、海においておくには 惜しい人物です。決断力があります」

(西村 寿行『犬笛』徳間書店)(少納言)

(84) 「この保存といふことは、えらいことで、たった一つでも残ったのは、わたしどもの苦心の結果です故に…さあお値段のところは」

「百両では」

「いやいや」

「三百両でおゆづり下され」

「いやいや」

「では五百両」

「いや、この一つのみかん、千両でも 惜しい が、御病人とあればやむを得ない」

(中里 恒子『日常茶飯』日本経済新聞社)(少納言)

例(83)の二人は相手の能力に対して今の職業的では勿体ないと思い、「惜しい」と思うほどであると評価することである。また、例(84)のみかんの持ち主はのみかんが千両以上の価値があると評価する。「惜しい」という感情は物事の喪失に対するものなので、例(83)、例(84)のように「属性直接感情表現」として使われることがある。

次に「惜しむ」と「惜しがる」の例を見てみよう。

(85) 「今まで寝てた人に言われたくありません」「うう…」口答えする時間も 惜しんで、瞳子は慌てて着替え始める。

(三雲 岳斗『ランブルフィッシュ』角川書店)(少納言)

(86) 聡四郎は見張りの手下の懐を探る時間も 惜しんだ。腰を据えて太刀を真っ向から斬り落とした。

(上田 秀人『破斬』光文社)(少納言)

辞書では、「惜しむ」を「残念に思う」、「十分に出さないで済ませようと思う」という動作性が弱い言葉として説明している。しかし、例(85)、例(86)の「惜しむ」は動作性が明らかに強い。例(85)の瞳子の慌てることと例(86)の聡四郎が斬り落とす行動は明確な言動があるので間接感情表現に属す。感情形容詞に対応する「一む」動詞は、ほとんど「間接反応間接感情表現」であるが、「惜しむ」は他の「一む」と異なっている。その理由の一つは以下に示すような慣用句の影響である。

## 「寸暇を惜しんで～」

「寸暇」はわずかの暇。ほんのしばらくの空き時間さえも惜しいと思いながら、何かをするのが「寸暇を惜しんで」。

(森田良行『日本語の慣用表現辞典』東京堂)

「惜しむ」は「寸暇（時間）を惜しんで」という慣用句があり、その慣用句は残念や喪失感による反応より忙しさを強調するので、必ず多忙な行動が付いている。従って、「惜しむ」を使う時、何らかの動作または行動で表す傾向になることである。

また、「惜しむ」に対する接尾辞「惜しがる」は、現在ほとんど使われることが少なくなっている。『現代日本語書き言葉均衡コーパス』と『名大コーパス』を見ると、「惜しむ」と「惜しがる」の例文数は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』では **712 : 7**、『名大コーパス』では **4 : 0**である。これは、「惜しむ」の動作性が他の「一む」動詞よりも強いため、「惜しがる」の役割をほとんど「惜しむ」が占めているからではないだろうか。

最後に、「惜しがる」の例は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』と『名大コーパス』を合わせてもわずか七例しかないが、この感情表現について検証することにする。

- (87) 奈津は一昨年、小学高等科第四級を首席で卒業した。しかし、それきり学校をやめてしまった。父は **惜しがって** 進学を勧めたが、母が強く反対した。

(出久根 達郎『オール讀物』文藝春秋)(少納言)

- (88) もなく隣近収穫したものは、惜しげもなく隣近所へも配った。あるときはざぶざぶと湯水のように使う人だが、ないときも **惜しがらず**、少しでも人に分け与える親切なところもある人だった。

(称原 雅子『姉妹の盃』文芸社)(少納言)

例(87)、例(88)の「惜しがる」の感情主は明確な言動（「進学を勧める」、「収穫を分け与える」）が観察されるので、「純粹間接感情表現」に属することにする。

「惜しい」は残念さと喪失感を表す「直接感情表現」であり、その喪失を惜しむほどの価値があるとして「属性直接感情表現」を使うことができる。「惜しむ」は慣用句の影響および「惜しがる」が使われなくなることで動作性が強くなり、「惜しがる」と同様に「純粹

間接感情表現」に属することになる。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
惜しい	○	○				
惜しむ					○	
惜しがる					○	

### 5.2.13 「恐れる」

#### 「恐れる」

[他下一] ① 怖いと感じる。恐怖心をもつ。こわがる。

② よくないことが起こるのではないかと心配する。危惧きぐする。危ぶむ。

③ すぐれたものに対して威圧されたような気持ちをもつ。畏敬いけいの念をもつ。おそれ多いと感じる。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「恐れる」

[他下一] 「恐ろしい」という状態にいる(思う)。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「恐れる」は品詞としては動詞であるが、辞書では「こわがる」、「心配する」、「思う」などといった様々な動作性の異なる特徴で説明している。その感情表現の動作性を検証するため、以下の例を見てみよう。

(89) 小さい頃からずっと喘息なので、慣れっこですが、辛いものは辛いです。いつも発作を 恐れて 生活するのは、空しくなるときさえあります。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)



(90) 貧しい医者の子で、母も姉も結核で病死し、自分も十三歳で吐血した体験を持つムンクは、生涯にわたって病いと死を 恐れ、その不安と恐怖を画面に表現することになる。

(井村 君江『サロメ図像学』あんず堂)(少納言)

例(89)の感情主はずっと喘息の発作に恐怖を感じ、例(90)のムンクも生涯病と死に対して恐怖を感じている。彼らの抱いている感情は時間が経てば消えていく「生起性感情」ではなく、感情の原因または対象(喘息、病、死)を思い出すたびによみがえる「恒常性感情」であると考えられる。

また、「発作を恐れ」と「死を恐れ」という感情は感情主しか知り得ない「直接感情表現」であるが、例(90)のムンクの病と死に対する恐怖心は日常の言動または習慣で観察されるもので、「間接感情表現」として使うこともできる。

私は死を恐れる。 (直接感情表現)

ムンクは死を恐れる。 (間接感情表現)

「恐れる」は直接感情表現、間接感情表現としても使うことが出来、「直接・間接同形感情表現」に属することが分かる。しかし、同じ「直接・間接同形感情表現」であっても、「恐れる」は一つ異なる点がある。次の例を見てみることにする。

(91)「殴ったのはアイツなんだろう？」 「…おれ…」 ようやくつぶやきを漏らし、友義は未来を顧みる。だがやはり続く言葉はなく、戸惑うような視線がウロつくばかりになった。なにをそれほど恐れているのか、未来にはわからなかった。自分の 恐れている ものがなんなのか振り返れば、兄の恐れはすぐに知れる

(五百香 ノエル『太陽と月のカタチ』心交社)(少納言)

(92) 家の中でいっしょに暮らしていた犬なので、私は犬を亡くす日が来ることを非常に 恐れていた。自分を保てる自信がなかったからだ。

(伏本 和代『文芸誌「そして」にかかわった作家たち』そして企画;冬花社(発売))(少納言)

(93) ヴィシユヌの手から投げ出されたように。最高の悪魔が殺された時、シャクラは 恐れて 湖に逃げ込もうとして走った。彼は恐怖にかられたので、自分の手から金剛杵を放ったことも、ヴリトラを殺したことも覚えていなかったのである。

(原著者不明/ 上村 勝彦(訳)『マハーバーラタ』筑摩書房)(少納言)

(94) すると、毛利方は、門司城陥落によって北九州の親毛利勢力が孤立するのを 恐れて、すぐさま反撃に出、隆景の武将乃美宗勝の活躍によって再奪回に成功した。

(山内 謙『瀬戸内の海賊』講談社)(少納言)

(95) 傷ついた兵士を救出することで、さらに自軍に負傷者を出すことを 恐れた 政府軍側は、その負傷兵を見捨てた。

(宇田 有三『過酷な世界の天使たち』同朋舎;角川書店(発売))(少納言)

例(91)、例(92)の感情表現は、例(89)と同じく「直接感情表現」であるが、例(93)～例(95)の感情表現は明らかに日常の言動または習慣として観察される(直接・間接同形感情表現という分類の)「間接感情表現」ではないことが分かる。何故なら、「恐れる」は「直接・間接同形感情表現」という状態的な特徴のほか、また例(93)のような異なる性質を有している。

例(93)の感情主はずっとその恐怖心を抱くことではなく、突然、あることに対して恐怖心を感じ、逃げ出すことである。従って、例(93)の感情表現は外在的、表情または動作などで表わされる「間接感情表現」の一種とも考えられるが、その使い方を調べる限り、一部の翻訳文にしか出てこないのも、「純粹間接感情表現」に属さないことにする。

また、例(94)、例(95)の感情主の感情は恐怖心ではなく、危ない事態が生ずる可能性に対する心配または危惧である。感情主(毛利方、政府軍)の行動は感情を表すというより、一般的な陳述であると分かる。そのため、例(94)、例(95)のような例は感情表現ではないことにする。

また、「直接感情表現」は一般的に感情形容詞、あるいは感情形容動詞で表されるが、「恐れる」は数少ない感情動詞の直接感情表現の一つである。しかし、「恐れる」には、その動

詞的な要素が残っているため、「属性直接感情表現」としては使われない。

「恐れる」は恐怖心を持つという意味で「直接・間接同形感情表現」に属すことにする。しかし、「怖がる」のように使われる感情表現はごく一部の翻訳文にしか存在しないし、心配、危惧として使う表現は感情を表すというより、一般的な陳述であるため除外することにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粋直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粋間接感情表現	
恐れる						○

#### 5.2.14 「落ち着く」

##### 「落ち着く」

- [自五] ① 気持ちが静まる。
- ② 変化していたものが安定する。
- ③ いくつかの動きを経て一つの所に収まる。
- ④ 《「一・いた」の形で、体言を修飾して》色や形が派手でない。穏やかだ。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

##### 「落ち着く」

- [自五] ① 出入・変化・移動・動揺・混乱・無秩序などが おさまり、望ましい状態になる(が保たれる)。
- ② 揺れ動いていた議論・相談などがまとまり、ある結論に達する。
- ③ 環境の変化や外界の雑音や他人の栄達(批評)などに心を動かされず、マイペースを保つ。
- ④ けばけばしいところが無かったりして、周囲との違和感が無い状態だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「落ち着く」は感情表現の他、物事の収束、論議の結論や色の雰囲気などに使われることがある。まず、以下の例を見てみよう。

(96) 私の場合は夫婦喧嘩の後や子育てで悩んでイライラして1人きりになりたい時  
も自分の部屋で1人になって1時間ほど過ごす落ち着くので、自分の部屋が  
あってよかったと思っています。 (「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

(97) 湖岸はアベックのほかに、家族連れ、地元の学生のグループ、観光客で賑わっ  
ていた。喧騒の中に身を置くと、心が落ち着く。この世に自分が存在してい  
ると、再確認できる。

(新堂 冬樹『闇の貴族』講談社) (少納言)

(98) 早紀も酒を注いでもらいながら、「友だちと遊んでいても、自宅から監視されて  
いるような気がして落ち着かないんじゃない？」

(西澤 保彦『夏の夜会』光文社) (少納言)

例(96)、例(97)の感情主(感覚主)は一見「落ち着く」になる原因または対象は存在  
しないが、例(96)の1人で1時間過ごすことと例(97)の喧騒の環境に身を置くことと  
いった行動はいずれも「落ち着く」という気持ちになる原因である。また、例(98)の感  
情主は自宅から監視されているという気がするという原因があるので、落ち着かない状態  
になる。「落ち着く」は感情表現として使う時に「を」格も「に」格も取らないが、何らか  
の感情の原因また対象となるものが存在していることが分かる。

また、「落ち着く」という気持ちは揺れ動いていた情緒が収まることなので、動作性が弱  
いが、反応、様子または声などで観察することが以下の例(99)、例(100)のように可能  
である。

(99) 情報部長が杯を手にしたまま、警護室長をにらみつける。「警護室長！情報部の  
苦勞を知っているか？」「ほう」警護室長はいたって落ち着いている様子だっ  
た。

(中村 祐介『大統領の理髪師』ソニー・マガジズ) (少納言)

(100) 「あの元気なお嬢さんだね」と言った。中年と思える男の声だった。やけに落

ち着いている。何か、薄笑いを浮かべながら話しているような声だった。

(喜多嶋 隆『恋はフェニックス』光文社)(少納言)

また、「落ち着く」は感情表現として直接感情表現に属さないが、以下の例のように「落ち着いた」という形で物事を評価することができるので、「属性直接感情表現」に属すことにする。

(101) エントランスの両脇に象の木彫りがあったりして、入口から雰囲気満点。落ち着いた照明といい、内装にふんだんに使われている木彫りの装飾といい、アジア風の中でもちょっとした高級感ある雰囲気です。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

(102) 幸子と高子は御土産を受け取り、それぞれの包みを開けた。高級ブランドのワンピースが入っている。幸子には 落ち着いた 若草色、高子には黒色の同じワンピースだ。

(竹山 正子『逆転の序曲』文芸社)(少納言)

「落ち着く」は静まった心の状態を表す感情表現なので、他の「間接反応間接感情表現」より観察しにくい。また、「直接感情表現」ではないが、「落ち着いた」という形で「属性直接感情表現」も表すことができる。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粋直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粋間接感情表現	
落ち着く		○		○		

### 5.2.15 「驚く」

「驚く」

[自五] 予想しなかったことに出会って心の平穩を失う。びっくりする。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

## 「驚く」

- [自五] ① 意外な事を見聞きして、心が強く動揺する。また、その結果平静を失ったりどう判断すべきかとまどったりする。
- ② すばらしい事物に接し、高揚した気分になる。
- ③ 事態の異常なことを察知して、とっさに対応しようとする。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「驚く」は予想外の状況または物事に出会って平静な状態を失うことである。その反応を以下の例のように観察することができる。

- (103) 剣持夫婦と一緒に、彼らの部屋でお菓子をほおぼっていた美雪も、驚いてのどを詰まらせそうになる。「ごほごほ…ほ、ほんとなの、はじめちゃん!？」

(天樹 征丸『金田一少年の事件簿』講談社)(少納言)

- (104) 奥方は中禅寺に会釈した後、二人の僧侶や僕の姿を見て少少驚いた様子だったが、中禅寺が何か云うと、笑い乍ら手を振って、とんでもない、と云うようなことを云った。

(京極 夏彦『百器徒然袋-雨』講談社)(少納言)

- (105) 「あ、夢だ、夢だ、夢を見ちまった」米友は身体へ火がついたほどに驚いて、蒲団からはね起きました。実際我々は、夢を見つけているから、そんなに驚かないけれども

(安岡 章太郎『果てもない道中記』講談社)(少納言)

- (106) 水ぎわに突きでた大木の上で、ゴリラが一頭、朝日を浴びているではありませんか。ふいに現われた生き物に驚いて、ゴリラはあっというまに近くの茂みのなかに逃げこんでしまいました。

(柴田 都志子『動物研究者ダイアン・フォッシー』理論社)(少納言)

例 (103) の美雪は驚いてのどが詰まりそうな様子になり、例 (104) の奥方は明確な動

作で表すことがないが、様子または何らかの弱い反応でその感情が観察される例である。例(103)と例(104)の「驚く」は動作性が弱い反応または様子で感情を表すことなので、ともに「間接反応間接感情表現」に属することにする。

また、例(105)の米友がはね起きることと、例(106)のゴリラが逃げ込むことは感情主への刺激が大きすぎて、その心の動揺が反応だけではなく動作まで引き起こすことになった例で、「純粹間接感情表現」に属す。

次に感情主自身が「驚く」を使う例文を見てみよう。

(107) F132 : 戻った飛行機は、はね、あの、あの一、成田に戻るでしょう。

あなた、世にもなんっていうの、あの、世界にまれなる24時間営業じゃない成田空港は(うん)税関からなにか全部クローズしてたわけ、真夜中。

それで開けないんですよ。

あたし\*\*\*驚いちゃった。

(データ36)(名大コーパス)

(108)「ああ、ここにひぐらしの声が聞こえる」と感じたり、椎の樹や雑木林の情景が浮かんできたりして、自分でも驚いた。

(児玉 幸子(著)/児玉 邦夫(著)『ファミリーピアノのすすめ』講談社)(少納言)

例(107)は感情主(F132)が過去の経験を思い出し、その時の出来事(税関がクローズしてた)に対する感情表現を第三者として観察する例である。例(108)の感情主は音楽を聞いている自分自身の感情およびその反応を客観的に伝えている。「驚き」の感情を表す感情形容詞または直接感情表現は存在しないので、感情主は自分の驚愕を表す時、自分自身を客観的に観察するようにする。また、「驚き」は持続時間が短いので、よく「タ形」が使われる。

また、「驚く」は動揺、驚愕だけではなく、以下の例のように感心することを表すことも可能である。

(109) 数人の男と女たちの交わりの中で、リュウはリリー(女)と一番気が合い、リ

りー運転の車で飛行場に行き、離陸直前の飛行機の凄さに驚く。

(阪井 敏郎『芥川賞の若者の深層心理』文芸社)(少納言)

「驚く」はある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応である。しかし、その感情の強さによって、弱い反応だけではなく、明確な動作、または行動にまで発展することがある。そのため、分類としては「純粹間接感情表現」と「間接反応間接感情表現」の両方に属すことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
驚く				○	○	

### 5.2.16 「面白い(面白がる)」

#### 「面白い」

- [形] ① 気持ちを引きつけて、飽きさせないさま。楽しい。  
 ② 普段の様子と違って、ことさら滑稽こっけいにするさま。おかしい。  
 ③ 一般的な見解や自然な予測とは違った形で、興味を引くさま。  
 ④ 《しばしば否定表現を伴って》満足できる。望ましい状態だ。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「面白がる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「面白い」

- [形] ① 何かに心が惹(ヒ)かれ、続けて(進んで)してみたり見たり聞いたりしたい様子だ。  
 ② 普通とは変わったところが有り、続けて(進んで)味わったりつきあったりしてもっと内容を知りたい感じだ。  
 ③ こっけいな事やうれしい事が有って、笑いが止まらない状態だ。



## 「面白がる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「面白い」は感情主が何かに心が惹かれ、興味深い、あるいは楽しいの気持ちが湧いてくるというものである。「何かに惹かれる」という特徴があるので、物事を評価することにも使われることが多い。まず以下の例を見てみよう。

(110) 「今日は窓があいてるな。カーテンの色がきれいだ」とか、「枯葉がずいぶん溜まっている。明日になったらきれいに掃いているかしら」とか、行き帰りに観察するだけでも文学的で 面白い。

(松永 伍一『金の人生銀の人生』祥伝社) (少納言)

(111) F032 : 帰りだけは飛行機。

F098 : あ、飛行機の切符買ったのか。

(中略)

F032 : 払えと、1等もしかにも個室のさー、<笑い>ちゃんとさ、召使いつきの、すごかった、トイレまでくっついてさ、

F098 : すっごい。

F032 : もうびっくりしちゃってさ、

F098 : すっごい おもしろい。

(データ09)(名大コーパス)

(112) やがて露湖子が霧山を口説き落とし、一対一でポーカーをはじめた。霧山の前ではカードテーブルはそれほど大きいものではなく、背中を丸めてプレイする彼の様子は周囲には 面白い 光景だったが、魔夜美はそれに見とれているヒマはなかった。

(水城 正太郎『ハーフダラーを探して』富士見書房) (少納言)

(113) つまり、人間を長く続けてきた、年輪の価値が発揮される可能性がある 面白い 時期が、中高年期であるといっようだろう。

(高橋 恵子『生涯発達の心理学』岩波書店)(少納言)

例(110)の「行き帰りに観察する」と例(111)の飛行機の1等個室の豪華さに対して引き起こされる「面白い」という気持ちは感情主しか知り得ないものなので、「純粹直接感情表現」に属す。また、例(112)と例(113)の「面白い」は感情主自身の感情ではなく、物事(光景、時期)の属性として使われているため、「属性直接感情表現」に属す。

次に「面白がる」の例を見てみよう。

(114) その旅先で、いろんな事件にぶつかって…。それをなんとか解決し。その話をわたしから聞いて、おもしろがって小説に書き直しているのが、クラブの先輩である風見潤さん。

(風見 潤『卒業旅行幽霊事件』講談社)(少納言)

(115) だから、バイクの暴走族にとってみれば、恰好の見せ場なのである。学校の前をバンバン通ると、生徒がみんな 面白がって窓から覗くので、まるで観客席から見物されているようでもある。

(大島 謙『高校を変えたい!』草思社)(少納言)

「面白がる」は、例(114)の「小説を書き直す」、例(115)の「窓から覗く」のように心に惹かれ、具体的な動作を伴うことが多く、第三者からも観察可能なので、「純粹間接感情表現」に属すと考えられる。

「面白い」は感情主が「何かに惹かれる」という特徴があるので、「純粹直接感情表現」として使うことができ、物事の属性としても使うことが可能である。そのため、「属性直接感情表現」に属すことにする。また、「面白がる」は感情主が「心に惹かれる」という気持ちを動作にまで表し、第三者から観察することが可能なので、「純粹間接感情表現」に属すものとする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	屬性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
面白い	○	○				
面白がる					○	

### 5.2.17 「がっかりする」

#### 「がっかりする」

[副] 失望・落胆し、元気をなくすさま。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「がっかりする」

[副] 失望したりひどく疲れたりして、それまでの気持の張りが一気にゆるんで、何をする元気も無くなる様子。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「がっかりする」は感情主の失望、無気力な一面を表すものである。その感情表現は気が喪失する様子であるので、動作性が非常に弱いことが分かる。以下の例を見てみよう。

(116) アリバイはあるわ。個人の家じゃなくて、ホテルは交換台を通るから電話のトリックはできないわ」キャサリンも がっかりした 様子だった。「十二歳の冬子さんが犯人だとは考えにくいですね。

(山村 美紗『京都茶道家元殺人事件』光文社) (少納言)

(117) 日曜日の人混はきつといい訳をして、二人だけで行かせた。そしてその一時間後、「第三日曜は定休日です」という札のかかったアラスカの前で、その場に棒立ちになるほど がっかりして いた。

(富士本 由紀『殺人買います』講談社) (少納言)

例（116）のキャサリンは外見の様子からその感情を気付かれる。また、例（117）の二人はその場の様子から、がっかりしていることが観察される。この二つの例のように様子または反応からその気持ちに気付くことがあるが、確実に観察されるとは限らず、「ようだ」、「だろう」や「みたい」といったモダリティを用いて例（118）と例（119）のように推測する例が多いと思われる。

（118）女房に逃げられた男と再婚する女性がいるわけじゃないか。仕事をもっている女性ならなおさらだ。「お母さん、悪いけど、条件悪すぎて、わたしの友達にはすすめられない話だわ」麻子のこの言葉に、母は少し がっかりしたようだった。

（松原 惇子『OL 定年物語』PHP 研究所）（少納言）

（119）受話器の奥から、耳になじんだ男の声が流れてきた。及川研一の声だった。「なんだ…あなただったのか」「がっかりしたみたい じゃないか」「別に…そんなわけじゃないけど」

（小林 久三『義経の首』光風社出版）（少納言）

最後に、感情主自身は「がっかりする」の例を見てみよう。

（120）F057：私、豊川悦司の声を聞いたときに、がっかりしちゃった。

F001：がっかり？

何で？

F057：何か、え、何か。

F001：別にどこといって欠点のない声じゃない、あれ？

F057：本当？

何か。

F093：豊川悦司ってあんまり好きじゃない、でも、私、もともと。

F057：せりふを言ってるときはさ、いいんだけど、インタビューとかに出てくると、それで一、みたいに言ってる、すごく がっかり しちゃった。

(121) 農協会館で講演をしたが、はじまってみると私は内心 がっかりした。いつも数千名が出席してくれる講演会を見慣れている私は、たった二百名ほどの来場者に拍子抜けがしたのである。

(石井 普雄『最後の超念力』ダイナミックセラーズ) (少納言)

例 (120) の感情主 (F057) は自分自身を客観的に観察し、「がっかりした」という反応とその原因を思い出す。また例 (121) の感情主は自分の感情表現を心の動きのように述べているが、それは反応または様子で観察することができるので、「直接感情表現」ではないと分かる。

「がっかりする」はある物事に対して失望し、無気力な状態に陥ることである。その感情表現の様子または状態は観察することができるので、「間接反応間接感情表現」に属すことにする。また、「がっかりする」は動作性が弱いので、「ようだ」や「だろう」などの推量表現が多く見られることになる。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粋直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粋間接感情 表現	
がっかりす る				○		

### 5.2.18 「悲しい (悲しむ、悲しがる)」

#### 「悲しい」

[形] ① 心がひどく痛んで泣きたくなるような思いがする。また、そのように思わせるさま。

② 情けなくて残念な思いだ。また、そのように思わせるさま。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「悲しむ」

[他五] 悲しいと感じる。悲しく思う。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

## 「悲しがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

## 「悲しい」

- [形] ① 不幸に会った時など] 取り返しのつかない事どもを思い続けて泣きたくなる  
気持(絶望的な感じ)だ。
- ② 不幸な状況に置かれる第三者の気持に共感せずにはいられない様子だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「悲しむ」

[他五] 悲しいと感じる。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「悲しがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「悲しい」(および「悲しむ」、「悲しがる」)は喜怒哀楽の「哀」を表す代表的な感情表現である。まず以下の例を見てみよう。

- (122) 腕力だけは落ちていないのに、心臓はもう年寄りの心臓なんだ。そう思うと  
悲しかった。この心臓、いったい、あと何年もってくれるのかしら。

(小池 真理子『完全犯罪はお静かに』講談社)(少納言)

- (123) F123 : シナモン。

F093 : じゃ、私、紅茶のシフォン。

F123 : どうしようかな。

じゃあーあ、あっ、やっぱりこれでいい。

お願いします。

はい。

なんかこの前とかね、(うん) 3回選べてかなりうれしかったんだけど、今日は1個しか選べないから 悲しかった。

(データ49)(名大コーパス)

(124) 子供ができたら、ある程度大きくなしないと皆で集まったりとかもできないしね。女って 悲しい ですね・・・・・・・・。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(125) 女のコには男のコのように体の外にださなければならないものはなく、あるとすればそれは毎月の生理だから、男のコのように毎日毎日自分の性欲にせめられてはならない。男のコはなんだか 悲しい 生き物のような気がする。

(赤羽 建美『男のコの気持ち』ポプラ社)(少納言)

例(122)の感情主は自分の心臓の衰えを思うと悲しくなり、例(123)の感情主(F123)はケーキを1個しか選べないことについて悲しいと思う。両者の「悲しい」という思いは本人しか知り得ないものなので、「直接感情表現」に属す。

また、例(124)の「悲しい」は話者の気持ちというより、子供の責任を負われる女性の境遇、あるいは立場が悲しいほど惨めだと評価し、例(125)の話者も、毎日毎日性欲にせめられてはならない男のコについて「悲しい」と評価することである。「悲しい」は「哀」という感情を表すとともに、その感情を引き起こす対象・原因の残酷さ(不幸、絶望など)を示すという意味もあるので、例(124)と例(125)のように「悲しい」を基準として物事を評価、判断することができる(「属性直接感情表現」)。

次に「悲しむ」と「悲しがる」の例を見てみよう。

(126) いままでの態度では、よっぽど一呂志のほうが母親の死を 悲しんで いる様子だったが、妙なもので、こうやって口に出して二由樹にいさめられると、長男としての悲しみ方が、まだ不足しているかのような印象を周囲の人間に与えた。

(吉村 達也『花咲村の惨劇』徳間書店)(少納言)

(127) 和宮は立つと右肩を落して、よろよろとよろけながら居間に入り、崩れて、再び泣いた。フキは、どうして和宮がこんなに 嘆き悲しむ のか、事の次第がまるで呑みこめていないから訳が分からないのだけれども、出来ることがあればなんでもして宮をお慰めしたいと思い

(有吉 佐和子『和宮様御留』講談社)(少納言)

(128) 特に、入寺直後に家に置いて来た愛犬の死を知り、家内は自分のすべてを投影して、孤独を癒さんと可愛がっていましたので、号泣するほど 悲しんだ のですが、この事件を通して、夫婦でとことん語り合い、通じ合えたことによって彼女の硬い殻が初めてはじけました。

(十時 壽徳『善き師、よき友』海鳥社)(少納言)

「悲しむ」は例(126)のように感情主が感情による反応、様子を表し、それを観察することができる「間接反応間接感情表現」である。しかし、感情を強調するため、「悲しむ」は「泣く」、「嘆く」と結び付いて、その動作性が強くなるので、例(127)、例(128)のような明確な動作として観察できる「純粹間接感情表現」になることもある。

(129) お別れの食事会を、最後の日の夜にやった。すき焼きだったのに、シゲさんはあまり食べなかった。Hは 悲しがり ながら、シゲさんの分の肉を食べてしまった。

(妹尾 河童『少年H』講談社)(少納言)

(130) 長女は、幼稚園の頃からの友達で、毎日連れだって学校へ通っていたMちゃんと別れることを 悲しがり、限られた期日の中で、Mちゃんと遊べる日はなるべく遊ぶようにしていた。

(神庭 靖子『今どきのママ&キッズ』星和書店)(少納言)

例(129)と例(130)の感情主は悲しみを表す行動が異なる(「他人の分の肉を食べてしまう」、「なるべく一緒に遊ぶ」)が、外部からよく観察できるので、「純粹間接感情表現」



に属す。

「悲しい」は感情主の心の悲しさを表す「直接感情表現」である。その感情を基準として物事の酷さを評価し、「属性直接感情表現」として使うことができる。また、「悲しむ」は感情による反応で表す「間接反応間接感情表現」であるが、一部の表現は「嘆き」と結ばれ、動作性が強くなるので、「悲しがる」のような「純粋間接感情表現」で表すことがある。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粋直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粋間接感情 表現	
悲しい	○	○				
悲しむ				○	○	
悲しがる					○	

### 5.2.19 「かわいそう」

「かわいそう」

[形動] 相手の不幸な状態に同情する気持ちだ。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

「かわいそう」

弱い立場や逆境に在る者に対して、出来るなら何とか救ってやりたいと思う様子。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「かわいそう」は不幸または逆境にある人に対し、同情という憐れみの感情である。まず、以下の例を見てみよう。

(131) F129 : 考えられない。

だから、ね、あの一、ほかの国でも体操で金メダル取ればさ、ね、一生、結構いい生活ができるとかね、あの一、大事に扱うけど、日本の、金メダル取ったってほんとにあんなコマーシャルに出て、トイレのコマーシ

ヤルなんかやってんじゃ かわいそう ださー。

あー、やだやだと思っちゃう。

(データ29)(名大コーパス)

- (132) 被害者は法廷で、発言したくても何も言えない。だから、被害者の代理人として頑張った。トロイに対する死刑判決から三年たって、最終的にトロイを 可哀相 だと思っている。それでも自分は、『正義が勝った』と思っている」

(佐木 隆三『少年犯罪の風景』東京書籍)(少納言)

- (133) 28才専業主婦ですうちの子は2歳です。3歳までは一諸に居たいと思いまだ通わせていません。そのことに関しての不安はありませんが、ただお友達がなくて かわいそう だなと思います。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

例(131)の感情主は日本選手が金メダルまで取ったのにトイレのコマーシャルなどに出なければならないことがかわいそうだと思う。また例(132)の話者は死刑囚に対する憐憫の感情、例(133)の主婦は自分の子が三歳まで友達を持っていないことに同情している。その気持ちは彼ら本人だけが知り得るものなので、感情表現としては「直接感情表現」に属す。

以下の例を見てみよう。

- (134)「今とは違ってあの頃はまだ、結婚もしてない娘のお腹が大きくなるなんていうのは、とんでもないことやったんです。だから父親の幸平さんが、無理をして島の外に片づけたんです。…今から考えたら 可哀想な 話ですけど。

(小野 不由美『黒祠の島』祥伝社)(少納言)

- (135) 可哀想な 恋愛に悩む「私」に最も同情しているのは他でもない「私」自身です。積み重なって行く悲劇に酔っているととっても過言ではありません。可哀想な 恋愛が結構楽しいのです。

(真田 尚美『Nana 的恋愛成長マニュアル』フットワーク出版)(少納言)

例(134)の話者は結婚もしてない娘が妊娠しているという境遇を評価することであり、

また、例（135）の「私」は恋愛を「かわいそうなもの」と評価し、さらに「楽しい」と思うようになる。「かわいそう」は対象の不幸や逆境などを憐れむ気持ちであるので、それを基準としてある物事が憐憫するほどの苦境にあるかどうかということの評価している。言い換えれば、「属性直接感情表現」として使うことが可能である。

「かわいそう」は感情主の同情、憐憫という気持ちを感情主だけ知り得る形で表す「(純粹)直接感情表現」である。また、その気持ちを引き起こす対象の不幸や逆境を評価し、「属性直接感情表現」として使うことができる。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
かわいそう	○	○				

## 5.2.20 「感じる」

### 「感じる」

[他上一] ① 感覚を通して知覚する。

② 刺激を受けてある感覚をもつ。

③ 物事に対してある感情や気持ちをもつ。

④ あるものに強く反応する。特に、心を深く動かす。

⑤ 病気に感染する。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「感じる」

[自他上一] ① 感覚器官を通して、暑さ・寒さ・痛さなどを知ったり善悪・美醜などを判断したりする。

② その場の情勢や相手の態度などから、何か抗しきれぬものを積極的に受け取る。

③ あることがきっかけになって、自分の行動を決定する何かを与えられる。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「感じる」は感覚や刺激を知覚すること、あるいは物事に対してある感情を持つことであり、感情表現、感覚表現ともになりうる語である。また、「感じる」は特定の感情・感覚を表すだけでなく、幅広い感情を表すことができるので、本研究の研究対象の中で、使用率順がもっとも高い語である。以下の例を見てみよう。

(136) 瞬間、昌浩の耳元で、笛のような音がした。時間を置いて、頬に紅い筋ができる。血が滴って、そこで初めて痛みを 感じた。

(結城 光流『異邦の影を探しだせ』角川書店)(少納言)

(137) たまたまなのか分からないのですが、飲むたび普段以上の胎動を 感じます。薬と胎動って何か関係があるのでしょうか？

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(138) F005 : コンピュータでできる人、コンピュータでおもしろがってできる人と、(うん) そうじゃない人がいると思うんですね。  
(うん) で、私は一、こと、お金のことなんで、コンピュータに入れと、入れるっていうことに不安を 感じる んですよねー。

(データ23)(名大コーパス)

(139) 水島一 陸軍徴兵検査規則の無機質な文章を見ると、人間の体を品物みたいに検査する発想法に恐ろしさを 感じます ね。

(久田 栄正(著)/水島 朝穂(著)『戦争とたたかう』日本評論社)(少納言)

例(136)、例(137)の感覚主は痛みと胎動といった感覚を感じ、また、例(138)、例(139)の感情主は不安と恐ろしさといった感情を感じることである。四つの例文の感情・感覚はいずれも感情主(感覚主)だけが知り得るものである。

動詞でありながら「直接感情表現」のように使うことができるのは、「直接反応間接感情表現」、「間接反応間接感情表現(感情主を客観的に観察する必要がある)」または「直接・

間接同形感情表現」である。しかし、「感じる」は持続時間においては一定の時間だけ生じる「生起性感情」であるので、「恒常性感情」の性質を持つ「直接・間接同形感情表現」に属することができないことが分かる。

また、「直接反応間接感情表現」は対象、原因に向かう志向性がないが、「感じる」は例(138)のコンピュータまたは例(139)の検査規則のような対象・原因があるので、「直接反応間接感情表現」にも属することができない。

「感じる」が「間接反応間接感情表現」に属すかどうかを検証するため、以下の例を見てみよう。

(140) 見回していた時にどこからともなく飛んできた。何羽もいるぞ！チャンス！カメラを構える動作も敏感に 感じて 逃げてしまう。そっとゆっくり静かに構え距離の遠さはささやかなズーム機能をいっぱいを使って接近。なんとかスズメと確認できる写真が撮れた。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

(141) 訳の分からない峻しい目と、抑えた声に籠もっている怒気を本能的に 感じた ハポの目から、ポタポタと大粒の涙が濃い黒眼の瞼の堰では支えきれずに頬を転がり零れる。

(若岡 直樹『聖コシャマイン』叢文社)(少納言)

前の例と異なり、例(140)と例(141)の感情主が「感じる」を表す時、話者は確実に「逃げる」と「涙が零れる」を観察することができる。何故なら、「感じる」は受けている感覚・感情を話者が「認知」という特徴がある。感情主は自分自身の感情・感覚を知覚・判断する時に起因に注目する傾向がある。また、第三者から感情主を観察する時、第三者はこの感情・感覚によって生じる反応または動作を観察することになる。外的に観察することが可能なので、「感じる」は「純粹間接感情表現」に属することになる。

「感じる」は感情主が自分自身を客観的に観察する時にその感情の起因に注目する傾向がある。また、第三者が観察する時に感情主の反応または動作を観察することが可能であり、「間接反応間接感情表現」と「純粹間接感情表現」に属すと考えられる。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
感じる				○	○	

### 5.2.21 「嫌い」、「好き」

「好き」、「嫌い」はペアのようなものなので、本節は一緒に分析する。

#### 「好き」

[形動] ① 物事や人が気に入って心が強く惹かれる思いだ。

② 物好きなさま。また、見さかいなく好んだり偏って愛したりするさま。

③ 好色なさま。

④ 特別の制限や抑制を受けないさま。気随気まま。自由。勝手。

[造語] ① 特にそれを好む人・性向

② それに好まれるような様子であること。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「嫌い」

[形動] その物事や人がいやで、それとかかわりたくない気持ちだ。

[名] ① 好ましくない気かかちな傾向がある。

② …を区別しないで

[造語] 嫌っていること

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「好き」

① 自分の感覚や感情に合うものとして心が引き付けられ、積極的に受け入れよう（接し続けよう）とする気持ちにさせられる様子だ。

② 他から束縛などを受けることなく、意の赴くままに行動する（ことが容認される）様子だ。

③ 物好きな様子。特に、好色な様子を指す。

「嫌い」

嫌うこと (様子)。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「好き」、「嫌い」は他の感情・感覚形容詞と同じく「直接感情表現」として使うことができる。感情主はある物事または人に対して心が引き付けられ (好き) / 嫌な気持ちを持ち (嫌い)、その感情が感情主自身の気持ちを、以下の例のように何らかの形で自ら表さなければ他者は観察できないはずだ。

(142) 私は時代劇が 好き です。おばあちゃん子だった為小さい頃からよく時代劇を見ていました。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

(143) 「そうさ、まったくアメリカンさ。…俺もアメリカの企業文化が 嫌い だといいながら、よく二十五年以上も働いたもんだよ」

(黒木 亮『トップ・レフト』角川書店) (少納言)

しかし、好き／嫌いは辞典の説明にある通り、「気持ちにさせられる 様子」、「嫌うこと (様子)」という外部から観察可能である。換言すれば、以下のような「間接感情表現」として使うことが可能である。

(144) うちの子どもはピーマンを育てて、それまで 嫌い だった ピーマンを食べれるようになりました。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

(145) 今に至るまでの全てが、今の彼女の「自信」となっているのが分かる。あんなに勉強 嫌い だった彼女が…。高校時代の彼女に今の彼女のことを話しても、絶対に信じないだろう。

(中野 美穂(著)/ 実著者不明/ 菅野 純(著)『不登校と向き合う』武蔵国際総合学園) (少納言)

この理由は、一般の感情・感覚形容詞はその気持ちが湧き、時間を経ては消えていく「生起性感情」だが、好き／嫌いは気持ちが消えても、その「傾向」が残っている。例（144）のピーマンの例と例（145）の勉強への好悪は一旦消えても再び会うと、感情主のその気持ちがまたよみがえる。感情が生じているか、生じていないかに拘わらずに、長時間にわたるといふ「恒常性感情」の性質を表すため、第三者に関しても、その日常の言動、習慣などから「間接感情表現」のように使用可能である。

私はビールが好きです。	(直接感情表現)
彼はビールが好きです。	(間接感情表現)
私はホラー映画が嫌いです。	(直接感情表現)
彼はホラー映画が嫌いです。	(間接感情表現)

「私はビールが好き」、「私はホラー映画が嫌い」という感情そのものは感情主が言わない限り、誰も知ることができないものであるが、もし感情主が常にビールを買い、何度もホラー映画鑑賞の誘いを断れば、他人はそれを観察し、「彼はビールが好きだ」、「彼はホラー映画が嫌いだ」という結論に至る。

また、好き／嫌いは「直接感情表現」の下位分類「属性直接感情表現」に属すかどうかを検証してみることにする。

悲しい事故です。	(属性直接感情表現)
? 嫌いな事故です。	(属性直接感情表現?)
楽しい歌です。	(属性直接感情表現)
? 好き／嫌いな歌です。	(属性直接感情表現?)

「属性直接感情表現」は感情を基準としてある物事を評価、判断する表現である。しかし、好き／嫌いという傾向は感情主の個人的なものなので、共通的な認識である基準として使うと許容度が著しく落ちてしまう。例えば、上の例の事故について、元々好き嫌いで言うべきことではない。しかし、「楽しい」は歌の雰囲気明るく楽しいと人々に思わせるので、「楽しい」を基準にすることができる。歌への好悪は客観的な基準ではなく、個人的



なものである。そのため、好き／嫌いは「属性直接感情表現」に属さないことにする。

「好き」、「嫌い」は「直接感情表現」でありながら、「恒常性感情」という特徴から「間接感情表現」ともなり得るので、分類としては「直接・間接同形感情表現」に属すことにする。しかし、客観的な基準として使うことができないので、「属性直接感情表現」には属さないことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粋直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粋間接感情表現	
好き						○
嫌い						○

### 5.2.22 「悔しい（悔やむ、悔しがる）」

#### 「悔しい」

[形] 敗北・失敗・屈辱などを経験して、腹立たしく思うさま。残念でたまらない。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「悔やむ」

[他五] ① 失敗したことや十分にできなかったことなどを後から残念に思う。後悔する。

② 人の死を惜しみ悲しむ。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「悔しがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「悔しい」

[形] 自分の受けた挫折(ザセツ)感・敗北感・屈辱感などを拭(ヌグ)い去ることが出来ず、なんとかして目的を果たしたい(相手を見返してやりたい)という気持をいだき続ける様子だ。

## 「悔やむ」

[他五] ① [失敗などをしてから] ああすれば(しなければ) よかったと、あとで残念に思う。後悔する。

② 人の死を惜しんで、慰めの言葉を言う。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「悔しがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「悔しい」および「悔やむ」、「悔しがる」は挫折感、敗北感、屈辱感など受ける特徴が同じが、辞書では「悔しい」の憤慨、見返しという気持ちに対して「悔やむ」は惜しむ、悲しむという点で「悔しい」とは異なることがある。本節では一括して分析することにするが、相違点についても検討する。まず以下の例を見てみよう。

(146) F046 : そう一、私も、そのなんかさ、(うん) なんか一、TOEICで一、六百何十点以上、なんだっけ、(うん) と、取ったら一、大丈夫、免除されるみたいなことが書いてあって一、(あ、そうなんだ、うん) で、私は知ら、なんかさ、TOEICを全然受けてなくて一。

F086 : あ、高校のときは私も受けたことなかった。

うん。

F046 : そうそうそう、それでき、あのときに受けたからさ一、(うん) だからもっと早ければ、あの、免除されたのにとか思ってて一。

F086 : そうだよ、F046、私、なんで受けてんだろ一とか思ったもん。

F046 : そう一、(うんうん) だからさ、あ一超悔しいとか思って。

(データ72)(名大コーパス)

(147) 多分その浮気相手だと思います。まだ別れてそんなにたっていないので、別れましたが、悔しいやら腹がたつやらで・・・私より不幸になって欲しいのに・・・

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

例(146)の感情主(F046)はTOEICで六百何十点以上取ってれば、授業が免除されたことを知らずに、間に合わずに悔しいと思う。例(147)の感情主は別れたばかりの浮気相手に対して不幸を望むほど悔しいと思っている。両者の「悔しい」という思いは本人しか知り得ないものなので、「直接感情表現」に属す。

(148) 1回戦でアテネ五輪3位のルペテイに完敗し、敗者復活戦も1回戦で敗れた。

「自分の力を出し切れず、悔しい結果になった」と目を赤くして言った。

(共同通信社(著)/時事通信社(著)『神戸新聞』神戸新聞社)(少納言)

(149) 史上9頭目の10億円ホースの仲間入りを果たした。昨年、馬インフルエンザ騒動で参戦できなかった夢舞台へ。悔しい敗戦の中にも、復活の手応えはつかんだ。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

また、例(148)の結果と例(149)の敗戦は一見その物事を判断、評価するようだが、どちらも客観的な判断というより主観的な気持ちである。「悔しい」は感情主の個人的な挫折感、屈辱感を強調するものなので、感情主に関わる物事(結果、敗戦)を評価する場合は、違和感はないが、以下の例のように客観的に物事(事故、判断など)を評価、判断する場合には違和感があるので、「属性直接感情表現」に属さないことにする。

残念な事故です。(属性直接感情表現)

?悔しい事故です。(属性直接感情表現?)

苦しい判断です。(属性直接感情表現)

?悔しい判断です。(属性直接感情表現?)

次に「悔やむ」と「悔しがる」の例を見てみよう。

(150) 後手は広い右翼へ逃げ出したいところで、1一玉型なら先手の攻めはいくらでも続きそうだ。ところが、局後に郷田は▲2六桂を悔やんだ。

(中村 智佳子(著)/ 毎日新聞社(著)/ 関 浩(著)『毎日新聞』毎日新聞社)(少納言)

- (151) ルリヤという著者の肝心の本のタイトルを聞き忘れていたことにも気づかなかった。自分の迂闊さをひどく 悔やんだ のは、電車が走りだしてまもなくのことだ。

(佐藤 正午『野性時代』角川書店)(少納言)

- (152) 「正直なところ、参っています。もう一週間早く手が打てれば防げたのではないかと思うと、悔やんでも悔やみきれない のです」と自分から手遅れになった経緯を説明した。

(小林 道雄『少年審判』講談社)(少納言)

「悔しい」は失敗、屈辱に対する後悔、憤慨の思いでありが、「悔やむ」は失敗の「後」で後悔することを強調するという特徴がある。従って、例(150)のように新聞で選手の反応または様子を「夕形」で報道することはよく見られることである。また、例(151)、例(152)の感情主のように過去の自分を客観的に観察することなので、「間接反応間接感情表現」に属すことにする。

- (153) F008 : んなのもう知ったこっちゃねーやって感じだけど、\*\*\*。

F115 : 知ったこっちゃねーやって、パンダに負けて、くえ、悔しがっとる。

F008 : 悔しい以前の問題だろ、ここまで来ると。

F115 : すげー楽しー。

F008 : むかつく。

F115 : すんごい 悔しがっとる。

(データ20)(名大コーパス)

- (154) 「執事どのに一番乗りをされたとあってはわが京極家末代までの恥、直ちに東寺を踏み潰さん！」本当は師直と同じように退屈しのぎにやってきたのだが、先を越されて 悔しがっているのだ。

(黒須 紀一郎『現世浄土』作品社)(少納言)

例（153）と例（154）の「悔しがる」は「悔やむ」より、「悔しい」の憤慨、見返したいという特徴がよく見てとれる。その行動または動作が外部からよく観察できるので、「純粹間接感情表現」に属すことにする。

「悔しい」は感情主の心の後悔を表す「直接感情表現」である。しかし、その感情は個人的な挫折、屈辱を強調するものであり、物事を評価、判断するものとするれば、違和感があるので、「属性直接感情表現」には属さないことにする。また、「悔やむ」は失敗、敗北に対する感情より、失敗した後の状態を強調する傾向があり、その反応または様子も観察可能なので、「間接反応間接感情表現」に属すことにする。「悔しがる」は行動または動作が外部からよく観察できるので、「純粹間接感情表現」に属すことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
悔しい	○					
悔やむ				○		
悔しがる					○	

### 5.2.23 「苦しい（苦しむ、苦しがる）」

#### 「苦しい」

- [形] ① 耐えがたいほど、肉体的につらく感じる。
- ② 耐えがたいほど、精神的につらく思うさま。
- ③ 物や金銭が不足して困った状態にあるさま。厳しい。
- ④ 立場や状況が困った状態にあるさま。厳しい。
- ⑤ 説明などに無理があって、つじつまが合わないさま。
- ⑥ 《「苦しゅうない」の形で》差し支えがない。構わない。
- ⑦ 《形容詞の語幹に付いて》その状態が原因で不快に感じる。
- ⑧ 《「聞く」「見る」「寝る」の連用形に付いて「ぐるしい」の形で》その行為を行うことを不快に感じる。…するのがいやだ。…しにくい。
- ⑨ 《主に身体部分を表す語に付いて「ぐるしい」の形で》その部分に苦しさを  
感じる。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「苦しむ」

- [自五] ① あることが原因となって肉体的・精神的に苦しい思いをする。苦痛を感じる。
- ② 《「理解に一」などの形で》うまく～できずに困惑する意で、相手の理不尽な言動を非難している。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「苦しがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「苦しい」

- [形] ① (生命の危機を感じられるほど) 肉体的・精神的に耐えがたい状態が続く様子だ。
- ② 事態の順調な進展を望むことが不可能だと感じられる状態だ。とくに、財政的に行き詰まった状態を指す。
- ③ 何かと無理があって、まともに受け入れることができない感じだ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

### 「苦しむ」

- [自五] ① 苦しいと思う (状態である)。
- ② たやすく、それをすることが出来ず、困る。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

### 「苦しがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「苦しい」(および「苦しむ」、「苦しがる」)は肉体と心(精神)の苦痛を共に表すこと

ができるので、感情・感覚表現にもなりうる語である。まず、以下の「苦しい」の例を見てみよう。

(155) F025 : あ、ほんと。

あ、晴れた日だったの、あの日は。

(中略)

いや、だってさ、夜から入院してさー。

(ああ、はいはい) ずっと 苦しかった からー、(ああ、そうかい) 天気  
なんか全然わからな

(データ 3 9)(名大コーパス)

(156) 今やっとお互いに、自分にとって一番大事な人が相手であることを確認しあえたわけですが、私としては、長い間忘れていた彼への想いが蘇ってしまい、胸が 苦しい です。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(157) しかし、佐川事件で金丸が失脚し、浜田にも疑惑がかかって、今後は 苦しい 対応を迫られそうだ。

(本澤 二郎『裏から見た自民党派閥』エール出版社)(少納言)

(158) 33歳主婦子供なしです。家計が 苦しい 為、仕事を探しています。地方の田舎だからか、できる仕事がありません。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

例(155)の感覚主は出産時の陣痛で苦しいと思い、例(156)の感情主は好きな人を思うと精神的に苦しいと思うことである。両者の「苦しい」という思いは本人しか知り得ないものなので、「直接感情表現」に属す。

また、「苦しい」は肉体と精神への重圧を強調する特徴があるので、その特徴を用いて物事の状態を評価または判断することができる。例えば、例(157)の「苦しい」は政治的な逆境について、将来の困難な状況を予測するものであり、例(158)の「苦しい」は金銭的

に困難な状況を評価するものである。言い換えれば、「属性直接感情表現」として使うことができる。

次に「苦しむ」と「苦しがる」の例を見てみることにする。

(159) 長くつらいと病生活の中でも、勇気を持って治療を受け、どんなときにも希望を持ちつづけ、やさしい笑顔をまわりの人に与えていました。病気に 苦しむ 佳世子さんは痛みをこらえながらも、周囲の人々を励ましていました。

(猪股 清喜『六年二組倉屋佳世子』文芸社)(少納言)

(160) そんな風だったから芥川賞の受賞以後も、小説の題材をさがすのに彼はいつも 苦しんで いた。一何かおもしろいこと、ないやろか。

(村松 剛『西欧との対決』新潮社)(少納言)

(161) 悲痛な声をあげて、日美子は、扶代子を抱き起こそうとした。しかし、苦しがる 扶代子は、軀をピクンピクンと震わせ、地面をころげた。

(斎藤 栄『天城高原殺人迷路』日本文芸社)(少納言)

(162) 名梨は左側臥位に寝かされ、口に内視鏡を挿入されると、苦しがつて すさまじい力でもがいた。夢野は馬乗りになって、名梨の両腕を押さえつけた。

(川辺 敦『私はナース』早川書房)(少納言)

「苦しい」感じる原因は感情主の内部の肉体、精神問題ばかりでなく、金銭不足や事業の不振など外部による問題もある。その原因によって使われる感情動詞も異ってくる。

例えば、例(159)の病気と例(160)の題材さがしは長い時間にわたる問題である。感情主はその問題が起こる(病気の発作、小説ネタの枯渇)たびに苦しんでいることになる。その耐え続けている状態は明確な動作として現れないが、様子または反応から観察可能なので、「間接反応間接感情表現」に属すことにする。

また、例(161)と例(162)の苦痛は瞬間的なものである。感情主のその苦しがる様子は明確な動作で表されるので、「純粋間接感情表現」に属すことにする。

「苦しい」は感情主が肉体または精神の苦痛を感じることを表す「直接感情表現」であ



る。その肉体と精神への重圧を基準として物事の状態の厳しさを評価する「属性直接感情表現」でもある。また、「苦しむ」は「恒常性感情」の性質があり、長時間にわたる苦しみによる様子または反応で表す「間接反応間接感情表現」である。「苦しがる」は「生起性感情」の苦痛から生じた動作、言動であり、「純粹間接感情表現」に属す。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粹直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粹間接感情表現	
苦しい	○	○				
苦しむ				○		
苦しがる					○	

#### 5.2.24 「困る」

##### 「困る」

- [自五] ① どう対処していいか分からなくて悩む。  
 ② 経済的に苦しくて悩む。  
 ③ 被害が及んで迷惑を感じる。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

##### 「困る」

- [自五] ① うまく処置出来なくて、何かに頼りたい気持になる。  
 ② 貧乏で生活に苦しむ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「困る」は苦境または対処できない状況において生じる感情である。まず、以下の例を見てみよう。

- (163) ショーケースの前で二十歳前後に見える女の子が、手話で店員と話している。  
 上手く伝えられずに 困って いる様子だ。

(ささき やすえ『桜横浜恋模様』新風舎)(少納言)

(164) 彼のそんなドギマギした様子が伝わってきて、すごくカワイイんです。あらためて見るとまだまだ顔立ちも幼くていかにも子どもって感じでした。「ねえ、ちょっとウチに来て休んでいかない？いま誰もいないから」と、その場で彼のことを誘ってみたんです。「えっ、でも…」「いいじゃない。お茶でも飲んでいてよ」私がギュッと手を握ると、それまで返事に 困っていた彼も、少し照れたようにうなずいてくれました。

(秋山 美香『痴漢白書』マドンナ社;二見書房(発売)) (少納言)

例(163)の女の子は意思疎通をうまくいかないので、その「困る」様子が表されている。また例(164)の感情主(彼)はドギマギしている様子から「困っている」感情が作者に気付かれる。二人の感情主は明確な動作で感情を表していないが、その反応または様子から観察可能であるので、「間接反応間接感情表現」に属することにする。

また、「困る」はよく以下のような感情主自身の状況を伝えようとする場合に使われる。

(165) ちょうどその時刻、僕は箱根のホテルの一室で、寝付けずに 困っていた。浅い酔いで体がだるく、妙に胸苦しかった。

(小西 良太郎『美空ひばり』有楽出版社) (少納言)

(166) 当然、失踪者を探すテクニックなど、まだ当時の私には皆無だったから、本当に 困ってしまった。

(岡崎 昂裕『個人情報現場』角川書店) (少納言)

(167) 生後50日のチワワについてですが、(中略)、どういう方法でしつけをすればいいのか 困っています。アドバイスがありましたらお願いします！

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

(168) 鏡がきれいにする方法を誰か教えてください！！すごく汚れが頑固で 困ってます。。。。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

例（165）の感情主は自分が箱根にいた時のことを思い出し、その時の様子を記憶の中で観察する。例（166）の感情主も過去の自分の能力不足に困っていたことを回想し、述べている。

例（167）と例（168）の感情主は犬のしつけと鏡をきれいにする方法について、「困る！」と訴えているが、感情を表すというより「困っている」ということを伝えて助けを求めている。感情表現としては例（165）と例（166）の感情主と同じく、自分自身を第三者のように客観的に観察するものである。

「困る」の感情主は感情が生じる原因を強調する特徴があり、第三者はその反応または様子から観察することができるので、「間接反応間接感情表現」に属することにする。感情主自身が訴える例が多く見られたが、感情を表すというより、その「困る」原因を強調して解決案を求めることである。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粋直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粋間接感情 表現	
困る				○		

### 5.2.25 「怖い（怖がる）」

#### 「怖い」

[形] ① 危害を加えられそうな感じで、身がすくむ思いがする。恐ろしい。おっかない。

② 不満足な結果や成り行きになりそうで、不安な気持ちである。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「怖がる」

[他五] 怖いという気持ちを態度に表す。びくびくする。おそろしがる。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「怖い」

[形] 【《強い】① 反撥(ハンパツ)する力が強くて、自分の思うようには扱えない様子だ。

② [北関東以北の方言] 疲れた状態だ。

【怖い】「恐ろしい」意の口頭語的表現。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「怖がる」

[自五] 怖いと思う(様子をする)。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「怖い」および接尾辞の「怖がる」は恐怖、不安を表す感情表現である。「怖い」に対応する「一む」動詞は存在しないが、意味的には「恐れる」に近いと思われる(「恐れる」について、本章の5.2.13で分析する)。まず、以下の例を見てみることにする。

(169) F023 : 絶対キャンセル出ると思うよ。

こんな。

だって飛行機に乗るとかさ、高層ビルに近づくなとかさあ、言ってんだよー。

ただの脅しにしたってさあ。

F128 : えー、やだなー。

ちょっとそれは乗れんかもしれん。

こわーい。

(データ02)(名大コーパス)

(170) 彼女は何度か首を振った。そして左手の指で右手の小指のリングをいじった。

「怖いんです、私」と彼女は囁くように言った。(中略)あのホテルには、つまりね、何かちょっとおかしいところがあるんです。

(村上 春樹『ダンス・ダンス・ダンス』講談社)(少納言)

(171) ところで地球温暖化が 怖い のは「マラリア媒介蚊であるハマダラカが日本国

土に侵入してくるからだ」と思っている人が多いと思うが、実はそれは間違いである。

(藤田 紘一郎『コレラが街にやってくる』朝日新聞社) (少納言)

(172) ゴッホの絵もゴーギャンの絵も、じっと見ていると 怖い ところがある。それに二人とも、人間として、それこそ「文部省推薦」の人物とはいいい難い…。

(柴辻 政彦(著)/ 米澤 有恒(著)『哲学する芸術』淡交社) (少納言)

例 (169) の感情主 (F128) は飛行機テロに対して怖いと思い、また例 (170) の彼女はホテルからおかしいな気配を感じて怖いと思うことになる。両者の「怖い」は本人しか知り得ないものなので、「直接感情表現」に属す。

また、「怖い」という感情を引き起こす対象・原因は例 (169) の具体的なテロ、あるいは例 (170) の心霊現象もあるので、「属性直接感情表現」として使う場合の具体的な脅威または抽象的な危機感の基準とすることができる。例えば、例 (171) は地球温暖化の危険性を評価することと、例 (172) はゴッホの絵とゴーギャンの絵に潜まれる恐怖を感じて評価する例である。

次に「怖がる」の例を見てみよう。

(173) 最初は悲鳴をあげて 怖がって いた由美香も、気味が悪いとぼやきつつ、やはり慣れてくるとほかのメンバーと一緒にあって、不自然なポーズで血に濡れ、隠すものもなく剥き出しになった遺体を眺めていた。

(五百香 ノエル『青い方程式』新書館) (少納言)

(174) 反抗期のためか、中々言うことを聞いてくれなくて日々苦慮しております。最近、狼やお化けにとっても 怖がって いるので、それらをダシに言うことを聞かせていることもあります。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

(175) 「どうも有難うございます。助かりましたわ。鮎子さんは、火を極端に 怖がって いましたから、火事の火を見てショックを受けたんだと思います」

(176) それに、悪いことに地元の人の半分以上が犬嫌いで、怖がっている。

(景山 民夫(著)/ C・W・ニコル(著)『C.W.ニコルの黒姫日記』講談社)(少納言)

例(173)の「怖がる」の感情主由美香は死体を見て悲鳴をあげるという動作がある。また例(174)の子供は狼やお化けに対する不安や恐怖を何らかの動作で示すので、「純粹間接感情表現」に属すことにする。しかし、例(175)の鮎子さんは火を極端に怖がることと、例(176)の半数の地元の人間が犬を怖がっているという事実は直接的な観察ばかりでなく、長い間の観察から知った習慣・傾向ということである。

本来、「怖い」は物事に対して気持ちが湧き、時間を経て消えていく「生起性感情」であるが、その気持ちが消えてもその「傾向」が残っている。また同じ物事に会えば、「怖い」という気持ちがまたよみがえってくることになる。「怖い」は以下の例のように感情が生じているか、生じていないかに拘わらずに、長時間にわたる感情主の傾向を表す「恒常性感情」として使うことができることである。

私はあの犬を見て怖いと思います。	(生起性感情)
私は犬が怖いです。	(恒常性感情)
彼は犬を見て怖がっています	(生起性感情)
彼は犬を怖がっています。	(恒常性感情)

「怖い」は感情主だけが直接知り得る感情を表す「直接感情表現」で「生起性感情」という性質を持っている。また、生じているかないかに拘わらない長時間にわたる感情主の傾向を表す「恒常性感情」という性質も有している。

「好き／嫌い」は「怖い」と同じように「直接感情表現」でありながら「恒常性感情」の性質を持っており、「間接感情表現」ともなり得るので、分類としては「直接・間接同形感情表現」に属することになる。しかし、外部から感情主の「怖い」という傾向を観察する場合、「怖がる」を使うしかない。このように、「怖い」および「怖がる」は、それぞれ「生起性感情」と「恒常性感情」の性質を有しており、「怖い」は「直接感情表現」、「怖がる」は「純粹間接感情表現」という分類に留まり、「直接・間接同形感情表現」に属さないことになる。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
怖い	○	○				
怖がる					○	

### 5.2.26 「寂しい（寂しがる）」

#### 「寂しい」

- [形] ① 人やものが少なくて、にぎわいを感じさせないさま。  
 ② 寄り添うものがあってほしいのに、それがなくて孤独な気持ちである。  
 ③ あるべきものがなくて、物足りない気持ちである。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「寂しむ」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「寂しがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「寂しい」

- [形] ① 自分と心の通いあうものが無くて、満足出来ない(心細さを感じる)状態だ。  
 ② 身近に人の気配を感じさせるものが無く、社会(の煩わしさ)から隔絶されたような状態だ。  
 ③ 有ればいいと思うものが無くて、満ち足りなく感じる様子だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

#### 「寂しむ」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「寂しがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「寂しい」および「寂しがる」は孤独感や心細さなどを表す感情表現である。「寂しむ」はかつて用いられていたようであるが、現在では和歌などを除いて用いられていないようなので、分析から除外することにする。まず以下の「寂しい」の例を見てみよう。

(177) 旅行気分を味わうために大槻さんは旅行記をよく読む。バックパッカーにあこがれ、海外への貧乏一人旅も敢行した。「でも実際にやってみたら、寂しいわ飛行機恐怖症になるわで、もう二度とやらないと思います。

(実著者不明『ダカーポ』マガジンハウス)(少納言)

(178) 「具合はどう？」

「…死ぬかも」

「天罰よ」

「ひどいな…。もとはと言えば、君に傘を渡して—」

「だから、来てあげたんじゃない」

「…ありがとう」

「ま、早く元気になりなさいよ。日本語を話せる相手がなくなったら、寂しいからね」

(吉岡 平『風邪ひきエスパー』朝日ソノラマ)(少納言)

(179) 一番下の階まで行きましたが、寂しい空間があるだけでした。日本であのタイプの大きい劇場に見慣れてるためか、ちょっと小ぶりに感じました。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(180) 皇帝が銃殺の庭にひき出され、娘たちがべつの場所に移送される別れの日の最後の一家団欒。そのときの匂い。寂しい食器の音。近づいてくる軍靴の響き。マリアの口から、しゃっくりの音が洩れはじめた。いつかと同じだ



(高橋 義夫『北緯 50 度に消ゆ』新潮社)(少納言)

(181) 工作中、口寂しいときに飴やチョコを食べていますが、太るしニキビが出来るので、止めようと思っています。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

例 (177) の感情主は一人旅を寂しいと思い、例 (178) の感情主は日本語が話せる相手がなくて寂しいと思う。両者の感情は本人だけが知り得るものなので、「直接感情表現」に属す。

「寂しい」は孤独、心細さや物足りなさといった気持ちを表すことであるので、それを基準として例 (179) のように劇場の内部を評価することや、例 (180) のように食器の音で食事の質と量の無さなどを示すことができる。あるいは例 (181) のように慣用句(口寂しい、懐が寂しい)として表すこともできる。即ち、「属性直接感情表現」として使うことができる。

次に「寂しがる」の例を見てみよう。

(182) 二ヶ月経った時、夫が呟いた。「朝御飯が三人でないのは、寂しい」 嫁の仕事であるから朝御飯をつくれとか、早く起きてもらわないと世間体が悪いというような、見栄を全く含まない(中略) 夫が 寂しがっているのは心で瞬時に理解した。

(坂下 まりあ『あたしは非定型精神病なのだよ』たま出版)(少納言)

(183) おかあさん役の私がまたふたり分の食事だけ並べると、「おかあさん、おとうさんの分を忘れちゃだめでしょ」と、おねえさん役の次女が鋭く指摘した。(中略) 私はこの時、次女もまた、父親がいなくなったことを 寂しがっていると悟り、転居しようと決心した。

(神庭 靖子『今どきのママ&キッズ』星和書店)(少納言)

例 (182) の夫は一緒に朝御飯を食べることを願うことで寂しさを表す。また例 (183) の次女はおまごとの時「おとうさん」役の不在を見とがめることで寂しさを示している。両者ともは明確な言動でその感情を表すことなので、「純粹間接感情表現」に属すことにす

る。また、娘が結婚する時に父親が寂しがるということは日本では例（184）のようによく見られるが、筆者は、台湾では全く見たことがない。

（184）娘の結婚を 寂しがる 父親が多い。確かにそうかもしれない。三郎が、寂しいと言ったことはない。だけど、三郎が寂しくないとは言いきれない。だけど、三郎が寂しくないとは言いきれない。

（しずく『ゆりが咲くとき』文芸社）（少納言）

「寂しい」は人、または物事に対する孤独感や物足りなさを表す感情表現なので、「純粹直接感情表現」または「属性直接感情表現」として使うことができる。「寂しがる」は行動または動作が外部からよく観察できるので、「純粹間接感情表現」に属することにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粹直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粹間接感情表現	
寂しい	○	○				
寂しむ						
寂しがる					○	

### 5.2.27 「残念（残念がる）」

#### 「残念」

[名・形動] ① 期待と食い違った結果や状態に落胆し、心残りに感じる事。

② 期待通りにいかなかった人に対し、その気持ちをくみ取って慰めるのに言うことば。

（北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店）

#### 「残念がる」

説明なし

（北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店）

## 「残念」

- ① [期待(希望) したように事が運ばなかったり長続きがしなかったりして]  
物足りない気持があとまで残る様子だ。
- ② [人に立ちおくれたり勝負事に負けたりせっかくの機会を失したりして]  
くやしく思う様子だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「残念がる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「残念」は落胆や心残りなどの気持ちである。他の類語(惜しい、悔しい)と比べれば、上手いかないというイメージが強いことである。まず、以下の例を見てみよう。

(185) F142 : でも、私、奈良なんて、もうずいぶん行ってないな。

F052 : 私も。

修学旅行以来だったかもしれない。

F142 : まだ京都はねー、行ったことあるけど。

F052 : うーん。

いやー、せっかく京都まで行ったのに、湯豆腐ぐらい食べたかったんだ  
けどさー、残念だった。

(データ 5 5)(名大コーパス)

(186) この時のアンコールのような、筆舌に尽し難い感動を味わうことは、残念ながら二度となかった。思うに、どんな名手の演奏を聞きに行っても、この日私が体験したような感動を味わえるのは、ごく稀なのではあるまいか。

(岡村 喬生『ヒゲのオタマジャクシ世界を泳ぐ』新潮社)(少納言)

(187) ところが、そんなとき、手っとり早く消費者金融とかで借りてしまう、そんな残念な風潮がいまの世の中にはある。

(丸山 晴美(著)/ 横田 濱夫(著)『明るい節約生活入門』角川書店)(少納言)

(188) なかなか新機軸で面白いと思いました。でも、肝心の協力プレイが『2人の中間地点にカメラが固定される』という珍妙な仕様の為、オンで非常に遊び難いのは 残念な 所かな？

(「Yahoo!ブログ」Yahoo) (少納言)

例(185)の感情主(F052)は京都に行ったのに名産物を食べられなかったことが心残りであり、例(186)の感情主は過去に聞いた演奏を再び味わえないことを残念に思っている。両者の気持ち(残念)は本人しか知り得ないものなので、「直接感情表現」に属す。

また、例(187)の風潮は話者によって作られたものではなく、「残念」は感情主の気持ちというより客観的な評価である。例(188)の「残念な所」は話者の気持ちより、ゲームのシステムについての欠陥を指摘していることなので、「属性直接感情表現」に属すことになる。

次に「残念がる」の例を見てみよう。

(189)「木守が申しますには『昨日は、日が暮れてしまうまではありました。ご褒美をいただこうと思っていましたのに』と、手を叩いて 残念がって いました」などと言いさわいでいると、内裏より中宮さまの仰せ言があった。

(谷川 良子『枕草子女房たちの世界』日本エディタースクール出版部) (少納言)

(190) 相手先の都合が悪くなり、今週の日曜日しかお互いの都合がつかないみたいなのだ。私は仕事ならしょうがないと、今週のドライブは渋々諦めた。しかし、私は口をすぼめて露骨に 残念がって みせた。

(華房 憬『私-柏木春菜』日本文学館) (少納言)

例(189)は、話者は感情主の動作(手を叩く)を観察し、その残念な気持ちを汲み取っている。また例(190)の感情主は、「口をすぼめる」という残念な気持ちを表す動作をわざと示している。二つの例の感情表現は動作で表されるので、外部から観察することができる「純粹間接感情表現」に属す。

「残念」は感情主の落胆や心残りなどの感情を表しながら同時に対象・原因になる物事を評価するような働きがあるので、属性的な特徴があり、「純粹直接感情表現」または「属

性直接感情表現」として使うことができる。また、「残念がる」は残念な気持ちを外部に行動または動作、言動などで表出することなので、外部からよく観察できる。したがって、「純粹間接感情表現」に属すことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
残念	○	○				
残念がる					○	

### 5.2.28 「楽しい (楽しむ、楽しがる)」

#### 「楽しい」

- [形] ① そのものの持つよさを味わい、明るく満ち足りた気持ちである。  
② 明るく満ち足りた気持ちを抱かせるさま。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「楽しむ」

- [他五] ① そのものの持つよさを味わって、明るく満ち足りた気持ちになる。  
② 満ち足りた気持ちになって、その感覚を味わう。  
③ その時期の生活がもたらす楽しみをよく味わって、浮き浮きとした愉快的な気持ちになる。エンジョイする。  
④ [古風な言い方で] 先のことに期待をかけて、心待ちにする。楽しみにする。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「楽しがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

## 「楽しい」

[形] 充足感が味わえるものとして、その状態を積極的に受け入れたい、出来ることからそれを持続したい気持だ

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「楽しむ」

[他五] ① その状況に身を置く(何かをする)ことによって、楽しいという気持をいだく。  
② 「(将来のことを) 楽しみにする」意のやや古風な言い方。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「楽しがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「楽しい」および「楽しむ」、「楽しがる」は愉快、満足や享受といった特徴をもっている感情表現である。しかし、「楽しがる」は既にほとんど使われなくなっているので、分析から除外することにする<sup>41</sup>。まず、以下の例を見てみよう。

(191) とりあえずは初心者の基本であるパーキングロット的な楽しみも大好きだけど、それだけじゃなくサーキット走行も 楽しくて しょうがない。もちろん、それが真剣勝負のレースならもっと 楽しい のだ。

(尾登 真介『ラジコンマガジン』八重洲出版)(少納言)

(192) スーイスーイと風をきって走るベチャ(三輪の人力車)は、庶民の足。ベチャ引きおじさんとの、乗る前の値段交渉が 楽しい。

(新井 容子『小さきものの祈り』情報センター出版局)(少納言)

---

41 本研究は調べた限りでは、「楽しがる」という例は一つのみ。

(193) F088 : バリはねー。

やっぱり大人の方が、楽しいかなー。

F152 : 楽しいよねー。

子どもは 楽しくない だろうなとか。

F088 : バロンダンスだのケチャック、ケチャックダンスだの。

F152 : 楽しかった けどー。

F088 : んで、子どもが快適にステイできるところって結構高いところ、ホテル  
しかなくてー、(うん) うん。

(データ17)(名大コーパス)

(194) ★親子DE うたっチャオ10月25日(土) 午前10時30分～11時子ども  
未来センター 就学前の親子が対象です。みんなで秋にちなんだ 楽しい 歌を  
歌おう！

(「広報あきた」秋田県秋田市)(少納言)

例(191)の感情主は自動車競技の練習が楽しくて、レースで実際に競技をすればもっと  
楽しいと思っている。例(192)の感情主は人力車に乗る前の値段交渉が楽しいと思ってい  
る。両者の感情は本人だけが知り得る感情なので、「直接感情表現」に属す。また、例(193)  
の話者たちは「大人が楽しい」と「子供が楽しくない」と言っているが、大人と子供の感  
情を観察しているのではなく、「楽しい」という気持ちを基準としてどちらがより「満足、  
享受できる」を評価することなのである。例(194)の「楽しい歌」も歌に対する感情では  
なく、その歌の持つ曲調の明るさを評価するものであり、「属性直接感情表現」にも属す。  
次に「楽しむ」の例を見てみることにする。

(195) 広告代理店を経営する男性と大学生の息子。二人は悠々とクルージングを 楽  
しんで いる様子だったが、実は接待だった。

(「高知新聞」高知新聞社)(少納言)

(196) それにしても、中央区といえば、銀座や日本橋を抱える日本の代表的な商業地  
だ。ふだん、明るい表情で買い物を 楽しんで いる人たちの様子を見ていると、

ここが地震の危険地帯であることなど、想像もつかない。

(川西 勝『東京大震災は明日起こる』中央公論新社)(少納言)

(197) オーケストラのメンバーはコンサートのない時には、自宅で小さなホームコンサートを開き、私たちはカーペットに座りながら、室内楽を 楽しんだ。

(田 英夫(著)/ 田口 正英(著)/ 相澤 益男(著)『週刊新潮』新潮社)(少納言)

(198) F098 : ほんとそう。

いや、そうよ。

ここに別に、最初っから来ようと思ってたわけじゃないし。

(ふーん) うん。

いろいろな偶然が重なって、(ふーん) 運が向いて、来て、で、結構 楽しんで ますっていう感じだから。

(データ 9 7)(名大コーパス)

例(195)の店の経営者と息子はクルージングという行為を時間に縛られることのない様子で享受しており、また例(196)の人々は明るい表情と様子から「楽しい」という感情が観察される。二つの例の感情主は明確な言動ではなく、感情による自然な反応または様子から、「間接反応間接感情表現」に属することが分かる。

また、感情主自身は「楽しむ」を使う時、自分を客観的に観察し、例(197)のように過去の出来事と感情を回想し、あるいは例(198)のように自分の感情を客観的に報告することである。

「楽しい」は感情主の愉快、享受や満足などの気持ちを表す感情である。その満ち足りた感情の特徴を基準にして物事を評価することができるので、「純粹直接感情表現」または「属性直接感情表現」として使うことができる。また、「楽しむ」は反応または様子であり、「間接反応間接感情表現」として使うことができる。



	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
楽しい	○	○				
楽しむ				○		
楽しがる						

### 5.2.29 「辛い（辛がる）」

#### 「辛い」

- [形] ① 精神的・肉体的に負担に思うさま。
- ② 故意に冷たく接するさま。
- ③ 《「づらい」の形で、動詞の連用形に付いて複合語を作る》その動作をすることが困難である意を表す。…（し）にくい。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「辛がる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「辛い」

- [形] ① その状況に身を置くことが苦痛に感じられて、出来ることなら自分としてはその状態から離れたい(そうしないで済ませたい) 感じだ。
- ② 「[動詞連用形+づらい]」の形で、接尾語的に  
(する方の側に) 何らかの障害があって、そうしたい(しよう) と思っても思うように事を運ぶことができない状態だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

#### 「辛がる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「辛い」および「辛がる」は肉体的または精神的な負荷を表すことができるので、感情や感覚表現になり得る言葉である。まず、以下の「辛い」の例を見てみよう。

(199) M022 : いや、僕も一、だから、つい先頃まで、で、予備校教えたり、大学で教えたりということを（あーはいはい）やってたんですね。  
で、やっぱり一その一組織に入るとね、(うん) 辛いんです、(は一ん)  
いろんな意味で窮屈。

(データ 28)(名大コーパス)

(200) ちなみに私の病院では、勤務時間内の仮眠はほとんど無いのでしんどいです。  
2 交代の長い勤務の中で仮眠が出来ないのは つらい ですね。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(201) いろんな疑心暗鬼が生じるのは、あるところ仕方ないことなのかもしれない。  
つらい 立場にある者同士の間が生じる軋轢は、悲しいことだが、それなりに理解できる。

(久世 光彦(著)/ 林 真理子(著)/ 永井 明(著)/ 藤井 達哉(著)『週刊朝日』朝日新聞社)(少納言)

(202) 県は、これを各市町村に伝えるが、毎回、国から手渡される資料はA四判で五百ページ近い。読むだけでは 理解しつらい ことも多い。

(実著者不明『介護保険の現場から』雲母書房)(少納言)

例(199)の感情主は職場の窮屈さが精神的な「辛い」という気持ちを感じさせることになり、例(200)の感覚主は長い勤務の中で仮眠できないことが肉体的に「辛い」という感覚を感じさせることである。両者の「辛い」は本人だけが知り得る感情表現なので、「直接感情表現」に属す。

また、「辛い」は対象・原因の負荷を強調する特徴があるので、例(201)のように客観的な基準として物事(立場)を評価することができ、あるいは動詞連用形と結び付けて例(202)のようにその動作(理解)を実行する難しさを示すことである。そのため、「属性直接感情表現」にも属すことである。

次に「辛がる」の例を見てみよう。

(203) ときどきテレビ週刊誌や婦人雑誌から、マンションでくつろぐあぐりの写真をとりにくるが、そういうときだけ、猫足の寝椅子にロングドレスを着て、コーヒーなど飲んでみせる。それを 辛がって 訴える男は、あぐりにはいないのである。

(田辺 聖子『ジョゼと虎と魚たち』角川書店)(少納言)

(204) 看病もたいへんですし、医療費も馬鹿になりません。愛犬の 辛がる 所を見るのはもっと辛いものです。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

例(203)の話者は、あぐりが写真撮影のために無理にやる動作などそのつらさを実際に言葉で訴えるべき男がいないと言っている。また、例(204)の犬は病気によって生じる苦痛を何らかの動作(あるいは反応、様子)を示している。それを話者が見て、さらに辛く感じるということである。「辛い」は対応する「一む」動詞が存在しないし、その感情自体は動的でも、激しいものでもなく、静的な苦痛の感情である。従って、「辛がる」は「一む」動詞の代わりに動作性が弱い反応または様子を表す可能性があるが、「辛がる」自体も現在ではほとんど使われず、筆者が調べた限りでは、わずか三例にすぎなかったので、「純粹間接感情表現」だけに属すことにする。

「辛い」は肉体的、また精神的な重圧を表す「純粹直接感情表現」であり、その特徴を基準として物事の負荷を評価する「属性直接感情表現」でもある。また、「辛がる」は行動または動作を外部に表すので、「純粹間接感情表現」に属すことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
辛い	○	○				
辛がる					○	

## 5.2.30 「泣く」

### 「泣く」

[自五] ① 悲しみなどの感情の高まりや肉体的苦痛のために、声を上げたり涙を流したりする。

② 《「…に一」の形で》

㊦ あることが原因となって、泣くような辛い体験をする。

㊧ 涙を流し心を揺さぶられる感動を味わう。

③ 無理を承知でやむなく引き受ける。泣く泣く承知する。

④ 名前と実際の隔たりが大きくて、その名で唱えるのがはばかれる。冒される。汚される。

[他五] 物事に感じ、(涙を流して) 嘆き悲しむ。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「泣く」

[自五] ① 悲しみ・苦しみを抑えることが出来ず(言葉にならないで)涙が出る。

② [赤ん坊・動物が] 言葉にならぬ声で訴える。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「泣く」はよく喜怒哀楽の「哀」の感情表現と見なされることが多いが、喜怒哀楽のすべての感情、また痛みなどの感覚の反応として涙を流すという動作を表している。以下の例を見てみよう。

(205) 「いたたたたっ」悲鳴を上げたのは、中学生の方だった。章司が、中学生の足に噛みついている。泣いても離さない。

(野島 伸司『あいくるしい』角川書店)(少納言)

(206) 今思えば、隣にお年寄りがいたのに何も出来ませんでしたし生きておばあさんと再会したときは 嬉しい 気持ち以上に、ごめんなさいって 泣いて しまいました・・・

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(207) 転んだちびは大泣き。泣き方が激しい割に、けがしてる風でもなかったから「びっくりした？」って聞くと「びっくりした」と言いながら 泣いてる。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

(208) 揺れる視界、赤い視界一男が、泣きながらなにかを叫んでいた。男の背後で、四人の女がなにかを叫んでいた。やはり、泣いていた。なぜ 泣いているのか、なにを叫んでいるのかわからない。

(新堂 冬樹『カリスマ』徳間書店)(少納言)

例(205)の感情主(中学生)は足に噛みつかれた痛みを感じて、泣いている。例(206)の感情主は「ごめんなさい」という相手に対する謝罪の気持ちから、例(207)の感情主は痛みか、あるいは「びっくりした」という驚きの感情から泣いている。このように「泣く」はある感情や感覚に対する明確な反応から生じた涙を流すという動作であるが、かならず感情や感覚に結びついているので、間接的に感情や感覚を表す「純粹間接感情表現」であると言えるだろう。また、例(208)のように感情の種類を示さない時は、ほとんど喜怒哀楽の「哀」という感情を表すことになる。

また、感情主自身の「泣く」の例を見てみよう。

(209) 先生は事実を確かめると、ジム達を教室に帰して、「ぼく」一人にし、「あなたは自分のしたことを嫌なことだと思ったと思っていますか」と静かに問いかける。「ぼく」はもう後悔いっぱい 泣いている。

(中村 弘行『教育学・私の方法』愛生社;星雲社(発売))(少納言)

(210) F029: ふーん、彼が行くときも 泣いちゃった?

F004: 行くときは一どうだっけ、

F029: 見送りしたの?

F004: いや、泣いてないねー。

<笑い>じゃー\*\*\*か。

だってさー、もうさー、(うん) わたしがフランスに行くときあったでしょ?

あのとときに泣いて、で、彼が遊びに来てくれて、帰る日に泣いて、で、2年目にわたしが出発するときにもまた泣いてって感じ、だからもう、そういうのさ一度もやってるから。

(データ 21)(名大コーパス)

例(209)の話者は「後悔いっぱい泣いている」というように自分自身を第三者のように客観的に観察し泣いている。例(210)も同様に相手(F029)の質問に対して過去の自分自身の泣いた経験を回想して客観的に述べている。

「泣く」は特定の感情ではなく、様々な感情や感覚を表すことができる。また、「泣く」は涙を流すという明確な動作で表される感情表現なので、「純粹間接感情表現」に属すことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同形感情表現
	純粹直接感情表現	属性直接感情表現	直接反応間接感情表現	間接反応間接感情表現	純粹間接感情表現	
泣く					○	

### 5.2.3.1 「懐かしい(懐かしむ、懐かしがる)」

#### 「懐かしい」

[形] ① 過去のことを思い出して、それに心が引かれる気持ちである。

② 久しぶりに会ったり見たりしたものに対して、過去を思い出して、うれしく思うさま。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「懐かしむ」

[他五] 過ぎ去った事柄を価値あるものとして心から慕う。なつかしく思う。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「懐かしがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

### 「懐かしい」

[形] 以前の事を思い出して、出来ることならもう一度会いたい(見たい) と思う気持だ。また、かつての友人・知人などに久しぶりに会ったり、思い出のある土地に再び行ってその当時に戻ったような気持をいただく様子だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

### 「懐かしむ」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

### 「懐かしがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「懐かしい」および「懐かしむ」、「懐かしがる」は過去の物事や思い出に引かれる気持ちである。まず以下の例を見てみよう。

(211) F094 : J 大の話はしてー、やだよ 3 浪してる J 大出の (うん) 指導教官なんて一みたいな話をしてー。

(中略)

F063 : 懐かしい ね、あのころが。

(懐かしい ね) 希望に満ちあふれてたよ、修士論文書くことに対して、あのときは。

(データ 1 2 8) (名大コーパス)

(212) 彼女は若い頃、単身ニューヨークへ留学していたのだが、ある日小津の『晩春』を観て、思わず泣いてしまったというのだ。何故泣いたのかと私が尋ねると、彼女は「懐かしかった」と静かに答えた。

(岡本 博『思想の体温』ゲイン) (少納言)

例(211)の感情主(F063)は修士課程に入ったばかりのころのことを思い出し、修士論文を書くことに対して希望に満ちあふれていたと回想し、心惹かれている。例(212)の彼女はニューヨークに留学していた時に、小津安二郎の作品を観て、日本のことを思い出し、懐かしさから泣いてしまったということである。両者の感情は本人しか知り得ないものなので、「直接感情表現」に属す。

次に、「懐かしい」は「直接感情表現」の下位分類「属性直接感情表現」に属すかどうかを検証してみる。

楽しい歌です。 (属性直接感情表現)

懐かしい歌です。 (属性直接感情表現)

「属性直接感情表現」は感情を基準としてある物事を評価、判断する表現である。「懐かしい」は感情主の個人的な思い出、過去の出来事に深く関わり、客観的な基準として使うことは不向きである。しかし、遠い昔のことを回想し、心惹かれるという特徴を基準にしている。評価の基準がある世代に共通したものであれば、「属性直接感情表現」として使うことができる。例えば、ある世代の若いころに流行した歌であれば、その歌はその世代の人たちにとって、その世代の共通基準として評価することができる。また、例(213)のようにすべての日本人にとっての精神的なふるさとである(奈良)であれば、「属性直接感情表現」として使うことができる。

(213) 初めは違和感を覚えた奈良の暮らしにも慣れ、「奈良は、懐かしい心のふるさと」と感じはじめた理恵さんにとって、廣瀬さんとの出会いは運命的とも言える。

(伊藤 弘毅『玄米発酵食品で赤ちゃんができた』地湧社)(少納言)

次に「懐かしむ」と「懐かしがる」の例を見てみよう。

(214) 「学生だった頃は、いつも文庫本の棚の前にいた気がするなあ…」と大槻ケンヂさんは昔を 懐かしんで 目を細める。

(実著者不明『ダカーポ』マガジンハウス)(少納言)



(215) 「伯爵夫人の召使いスザンナ、ベラのはまり役だったわね。ハインリッヒ…」  
遠い人を 懐かしむ 老婦人の声だった。

(春江 一也『ブラハの春』集英社) (少納言)

(216) 叔父さんとバーテンダーはやはり昔からの知り合いらしく、僕の知らない人の  
名前を口にしては 懐かしがって いる。

(永倉 萬治『人の気も知らないで』実業之日本社) (少納言)

(217) アナログ時代を 懐かしがって、購入する人が大半なようです。また、CDを  
聴かずにジャケットを飾っている人もいます。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

例 (214) の感情主は昔を懐かしんでわずかな反応 (目を細める) を外部に表すことになる。例 (215) の老婦人はその声から故人を懐かしむ気持ちが話者に知れる。両者は反応や声など動作性が弱いことで感情を表すので、「間接反応間接感情表現」に属す。また、例 (216) の感情主は「僕の知らない人の名前を口に」するという行為で、また例 (217) の感情主たちはCDを購入する行動で、その感情が外部に表出されるので、「純粹間接感情表現」に属すことになる。

「懐かしい」は過去に引かれて何かを慕う気持ちである。その感情は本来個人的なものである。客観的な基準として使うことには不向きであり、共通の世代の流行などの年代物にしか使えないという制限がある。そのため、「純粹直接感情表現」に属すことにするが、「属性直接感情表現」としては共通経験という制限がある。また、「懐かしむ」は反応または声などで観察可能なので、「間接反応間接感情表現」に属すことにする。「懐かしがる」は行動または動作、言動など外部に表出されるものなので、外から観察できるので、「純粹間接感情表現」に属すことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
懐かしい	○	○				
懐かしむ				○		
懐かしがる					○	

### 5.2.3.2 「悩む」

#### 「悩む」

[動五]

[自] ① 結論や解決策が見いだせなくて、あれこれと思い苦しむ。

② 体の不調や痛みを苦しむ。

③ 被害をこうむって苦しむ。

《動詞の連用形に付いて複合動詞を作る》その動作が思うようにはかどらなくて苦しむ。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「悩む」

[自五] ① 負担・苦痛などマイナスの状態をこらえ、克服しようとして、方法が見いだせないでいる。

② 仕事や生き方に関して、どうしたらよいか分からなくて、困る。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「悩む」は物事の負担・苦痛による苦しみ、解決案を思い迷うことである。辞書では「苦しむ」、「困る」という気持ちを表し、また「思う」という特徴を有している。以下の例を見てみよう。

(218) 自分の前に並んでいた主婦2人がやたらと天ぷらの前で **悩んで** いた。やっと決まったかと思ったら、「やっぱり肉うどんがいいわね」と二人とも取った天ぷら戻しやがった。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納)

言)

(219) 「いつならいいんだ？」 望は俯き、考え込む。左手の親指を噛むのは、本当に 悩んでいる 時の癖だ。

(東野 圭吾『週刊新潮』新潮社)(少納言)

例 (218) の主婦たちは明確な動作を表さないが、何らかの様子または反応から「悩む」という気持ちが話者に気付かれる。例 (219) の感情主(望)は悩んでいる時、心的反応で無意識に指を噛む反応が出てくるので、観察可能であり、「間接反応間接感情表現」に属す。

また、「悩む」は反応または様子で気付くことができるが、感情表現ではなく、以下の例のように一般論としてある物事を悩む人または団体を指すことがある。

(220) よく病気の老人について、この冬を越せたら大丈夫といますが、老人には冬の寒さが問題です。とくに高血圧に 悩む 人、血圧に問題のある人にとって、寒さは血圧を上げる恐ろしい敵。

(大槻 彰『ボケにならない本』日東書院)(少納言)

(221) ただ、非製造業ではBSE(牛海綿状脳症、狂牛病)や鳥インフルエンザなどの影響で、食料品・外食産業の一部で売上高が伸び 悩む 企業も見られた。

(共同通信社(著)/産業経済新聞社(著)「産経新聞」産業経済新聞社)(少納言)

例 (220) は特定の人々の悩む様子を観察することではなく、高血圧に悩む人々を指して論じることである。また例 (221) は狂牛病や鳥インフルエンザなどに影響されるすべての企業の苦境を述べている。

次に感情主自身が「悩む」を表す例を見てみよう。

(222) さきほど言ったように、私は当時、学生の党組織の一員でしたが、どこかおかしいと 悩んでいる ところへ、こういう批判がきた。

(不破 哲三『日本共産党綱領を読む』新日本出版社)(少納言)

(223) 私、吹奏楽に所属しています。実は、今 悩んで ます。私は、音楽が好きで、

皆と合奏したいから吹奏楽に入りました。しかし、最近 自分は本当は何がしたいのか本当に音楽が好きなのか分からなくなってきました。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

例(222)の感情主は過去の経験を回想して、自分の悩む様子を第三者のように観察する。また例(223)は自分が音楽への熱意について悩んでいると訴えるが、感情を表すより「悩んでいる」ことを伝えて助けを求めている。「悩む」は、感情表現としては例(222)と同様に自分自身を客観的に観察することである。

また、「悩む」は「末」、「挙句」と結び付けて、以下のように悩んだあとの行動を描写する慣用句がある。その行動は「悩む」より、その後のことを表すので、「悩む」そのものの感情表現ではないことが分かる。

(224) クリームチーズもみじ。春もみじ。どれにしようかと散々悩んだ 挙句。「全部買っちゃおうよ。半分コすればいいでしょうっ」と。4種全部味を見たよ。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo) (少納言)

(225) 右側は頂上までの直線コース、左側はなだらかなコースである。私たちはその分岐で悩んだ 末、直線コースを登ることにした。

(室田 とをり『ヤマネコ山にのぼる』文芸社) (少納言)

「悩む」はある物事に思い迷う様子を表す感情表現である。その感情は反応または様子から観察することができるので、「間接反応間接感情表現」に属することにする。しかし、他人の悩んでいる様子を観察する例より、一般論として同じ苦境に陥っている人または団体について述べている例、あるいは感情主がネット上で自分自身の問題を訴えて助けを求める例が多い。日本では人前で弱音をさらすことを憚り、一人で辛抱する傾向が強いのではなかろうか。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
悩む				○		

### 5.2.3.3 「憎い（憎む、憎がる）」

#### 「憎い」

- [形] ① 対象に敵意や反感をもち、その存在を許せないと思うほどに忌み嫌うさま。  
 ② [反語的に] ちょっと引け目に思うほど、好ましいさま。感心させられるさま。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「憎む」

- [他五] 人や物事を憎いと思う。憎悪 ぞうお する。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「憎がる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「憎い」

##### 【憎い】

- [形] 相手のとった自分（や自分に近い存在）に対する言動を何としても許すことが出来ず、機会があれば復讐したいという感情をいまく様子だ。

##### 【《難しい》】

〔「動詞連用形＋」の形で、接尾語的に〕 ⇄ 易(ヤス)い

- ① そうすることに抵抗感があって出来ない様子だ。  
 ② 仕組などの点から容易には実現出来ない状態だ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「憎む」

[他五] 憎（らし）いと思う。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

## 「憎がる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「憎い」および「憎む」、「憎がる」は人またはある物事に対して明確な憎悪の感情を持つ感情表現である。しかし、「憎がる」は既に使われなくなっているため、分析から除外することに<sup>42</sup>。以下の「憎い」の例を見てみよう。

(226) 花菜をこんなめにあわせた犯人が 憎い、憎い、憎い。どんな言葉にも表現できないほどの憎しみです。

(塚本 有紀『いつまでも花菜を抱きしめていたい』講談社)(少納言)

(227) 「娘をたぶらかしたあの男を、私は鉈で頭を叩き割ってやりたいほど 憎い」母がそう言ったという話を間に立ってくださった方から聞いて、これはもうわかってもらうのは無理かもしれないと思いました。

(吉永 みち子『母』婦人画報社)(少納言)

例 (226) の感情主は犯人に対して筆舌に尽くしがたい憎しみを持っている。例 (227) の母は娘をたぶらかした男を殺したいほど憎いと思う。両者の「憎い」は話者の感情を表し、自分で表さなければ、他人から観察できないので、「直接感情表現」に属す。

(228) 今日までを検証し、どっちの明日に向かうか迷っている様子が「人生ゲーム」を通して描かれている。「人生ゲーム」を持ち出すところが 憎い 演出だ。

(嘉門 達夫『口笛吹いて』文藝春秋)(少納言)

---

42 本研究は調べた限りでは、「憎がる」という例は存在しなかった。

(229) テーマは「気取らず、カジュアルに」で、お茶だけでもOKの使い勝手の良さも人気。3タイプある個室も、リラックスできる座敷席を用意するあたり 憎い 心遣い。

(大崎 千穂『CLASSY.』光文社)(少納言)

また、「憎い」の対象に対する強い感情は反語的に使って物事を評価することができる。例(228)は演出が憎いほど感心させられる、例(229)は店の配置と心遣いの利口さを大きく評価する。そのため、「憎い」は「属性直接感情表現」にも属すことにする。

次に「憎む」の例を見てみよう。

(230) 何故、寝返った？…サイに頼まれたのか？」野太いラザルスの声が室内に響いた。抑えているが声には憎悪がある。だがトライムは答えず、ただ薄く微笑していた。そこでマユリは思いきって、ラザルスに訊いてみることにした。「どうしてそんなにサイを 憎む の？息子じゃないなんて」

(冨木 忍『空みて歩こう』角川書店)(少納言)

(231) 「いろんなことさ。どこの誰で、なぜ真希さんを 憎んで いたのか、とか」

「憎んで た？そうなの？」

「そんな雰囲気だった。真希さんの遺体を観る眼つき、ただごとじゃなかったからね」(そういえば、たしかに怒ってるみたいな顔してたわね) 千鶴もあのときのことを思い出した。

(太田 忠司『紅の悲劇』祥伝社)(少納言)

例(230)の感情主(ラザルス)は抑えた声から自分の息子に対する憎悪の感情を気付かれている。また、例(231)の話者は遺体を見る時の眼差しから真希に対する憎しみの感情に気付く。このように「憎む」という感情表現は、感情主の様子や反応から、他者はそれを観察することができるので、「間接反応間接感情表現」に属すことにする。

また、感情主自身は「憎む」で自分の感情を表す時、以下の例のように自分を第三者のように観察することによって自分を表現する。

(232) 私は今では理由が分るから当然だと思っけれども、当時は分らないので、極度に母を 憎んで いた。母の愛す外の兄妹を 憎み、なぜ私のみ憎まれるのか

(坂口 安吾『ちくま日本文学全集』筑摩書房)(少納言)

(233) 次の場所もまた、金さえ払わず潜り込むのに、一番美味しい思いをさせてもらえるのだ。そこまで思って、私ははっきりと女作家を 憎んだ。いつかこの女作家と私は、同じ雑誌に出たことがある。

(岩井 志麻子『薄暗い花園』双葉社)(少納言)

感情主は「憎い」と「憎む」のどちらでも感情を表すことができるが、現在の直接的な感情を表す時には「憎い」を使う傾向であり、過去の感情を思い出し、客観的に自己を表現する時には「憎む」を選ぶ傾向である。

また、「憎がる」という表現は、辞書には活用形の一つとして載せられ、かつては、使用されていた言葉ではあるが、現在の用例を調べた限りでは見出すことはできなかった。しかし、この「憎がる」の代わりに「憎む」が使われている例は一例も存在しなかった。

「憎い」は感情主のある対象への敵意、憎悪の感情であるが、辞書によれば、その感情を反語的に用い、物事の素晴らしさを評価する属性的な使い方もできると述べている。したがって、「憎い」は「純粹直接感情表現」と「属性直接感情表現」に属することにする。また、「憎む」は反応または様子でから「間接反応間接感情表現」として使うことができるが、「憎がる」の持つ動作または言動によって感情を外部に表出するという役割は引き継いでいないので、「純粹間接感情表現」に属さないことにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
憎い	○	○				
憎む				○		
憎がる						



#### 5.2.34 「恥ずかしい（恥じる、恥ずかしがる）」

##### 「恥ずかしい」

- [形] ① 自分の失点・過失などが意識されて、人に合わせる顔がない気持ちだ。面目ない。ひきめが感じられて体裁が悪い。
- ② きまりが悪くて、人に見られたくない気持ちだ。照れくさい。
- ③ うれしいとともに困ってしまうような気持ちだ。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

##### 「恥じる」

- [自他上一] 自分の欠点・過失などに気づいて面目なく思う。恥ずかしく思う。
- [自上一] 《「…に一・じない」の形で》…の名誉や名声を傷つけることがない。…を辱はずかしめない。…にふさわしい。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

##### 「恥ずかしがる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

##### 「恥ずかしい」

- [形] 〔世間慣れがしていなかったり強い劣等感をいだいていたり差し障りがあったりして〕人前に入るのを避けたい気持ちだ。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

##### 「恥じる」

- [自他上一] 欠点の多い自分の至らなさに気づいたりして、恥ずかしく思う。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

##### 「恥ずかしがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「恥ずかしい」は恥、罪悪感や劣等感などを意識して人に見られたくない気持ちである。また、恥ずかしいは「一む」動詞は存在しない（「恥ずかしむ」は「辱める」の文語形である）ので、意味的に近い「恥じる」を分析することにする。まずは以下の例を見てみよう。

(234) F004 : で、ある子がー、なんかー、こう、氷が残ってたらしくって、水筒に。

こう、かしゃかしゃやってたの。(うん)

(中略)

だから、その子こうやってかしゃかしゃやってただけなのにー、あたし、あー、あたしいらないからいいよーって言っちゃったのねー。<笑い> すごい 恥ずかしく っさー。

(データ 4 1)(名大コーパス)

(235) とにかくずっと。。この映画も楽しみにしてました (^ 皿 ^) ぐいや~~~~泣いたな~~~~アニメで泣くなんて、恥ずかしい けどゞ (^ 皿 ^ ; ●)

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

(236) 同級生が通りかかったんで声をかけようとしたら思い切り目をそらして通り過ぎていきやがった!!! うわ、ムカツクーと思ってたらまた同級生が。って思い切り無視すんなよゞ (^ 皿 ^) ノしかも募金運動って意外と 恥ずかしい のよ!!!! ミ (ノ\_\_ \_\_) ノ= 3

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

例 (234) の感情主は相手が自分のためにしてくれていると早とちりしてしまい、「いらないからいいよ」と言ってしまったことに対して、恥ずかしいと思う例である。また例 (235) のアニメに感動して泣くことと例 (236) の募金活動をする事自体は恥ずべきことではないが、知っている人が通ったりするので、なにか「知られたくない」と「見られたくない」という気持ちになり、意外に恥ずかしく感じるということについて述べている。この気持ちは本人が表さなければ、他人からは観察できないので、「直接感情表現」に属す。

(237) 給料全額返納して、大臣辞めろ！議員も辞めろ！これ以上、日本を 恥ずかしい 国にするなよ！

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

(238) 年次計画を立ててこの老朽化対策には取り組んでいきませんと、今、世界競争の中で大学の間の世界競争という話もあります。これが世界に冠たる日本の大学かと言われたときに 恥ずかしい 現状があること

(河村政務次官「国会会議録」)(少納言)

また、「恥ずかしい」が持っている過失、失敗や恥などの価値的要素を基準として、ある物事を恥ずかしいかどうかという気持ちから評価することができる。例えば、例(237)の話者は今の政治家が過失を重ねることで日本が他国に対して恥ずかしいと思う程度の国になってしまうと訴えている。例(238)の政務次官は大学が老朽化し、世界に顔向けできないほどの恥ずかしい程度であると指摘している。「恥ずかしい」は感情を基準としてある物事を評価、判断することができるので、「属性直接感情表現」に属することにする。

次に「恥じる」と「恥ずかしがる」の例を見てみよう。

(239) 妻がいた。ただ彼女は亭主の酒の調達のために乞食同然の姿になり、それを 恥じて か、床下の病犬のように暗い屋内にとじこもったきりであった。

(司馬 遼太郎『木曜島の夜会』文芸春秋)(少納言)

(240) 常蔵は慶次郎の娘を手籠めにし、慶次郎の娘は、それを 恥じて 自害したのだった。

(北原 亞以子『雪の夜のあと』読売新聞社)(少納言)

「恥じる」は意味的に「恥ずかしい」と似ているが、重んじる対象は主に名誉、節操である。「恥ずかしい」は人に見られたくない気持ちに対して、「恥じる」は自分自身の名誉、節操に関わることが多い。例(239)の感情主(妻)は自分自身の乞食のような姿を恥じて身を隠している。例(240)の娘は常蔵から節操を奪われたことを恥じて自害を選んでいる。このように「恥じる」は感情表現として明確な動作または言動で表すことなので、「純粹間

接感情表現」に属すことにする。

(241) F102 : 何かあったときは心配だからってって、うちに泊まりに来たんですよ。

<笑い>その日はまだ9月だったんで、まだ実家に戻って一緒に日本語教えたりとかしながら。

でもやっぱり。

F017 : F102 コーF102 コーって言われたでしょ。

F102 : いやー、名前は 恥ずかしがって 言わないです。

(データ12)(名大コーパス)

(242) そんな時、父が人に指さされたりすると、兄や妹は 恥ずかしがって 父から離れて歩くんですけど、私は得意気に父と手を繋いで歩く子だったの(笑)。

(十朱 幸代(著)/ 斎藤 明美(著)『週刊文春』文藝春秋)(少納言)

「恥ずかしがる」は意味的に「恥ずかしい」と同じなので、恥、過失などから逃れようとする傾向がある。例(241)の感情主(F102の家に泊まりにきたアメリカ人男子留学生)は、F102の名前を呼ぶことが恥ずかしくて呼べないということである。例(242)の例は兄と妹は問題を起こした父と一緒に歩くことを他人から見られるのが恥ずかしく距離を置いて歩くことである。この場合「恥ずかしがる」は、父から離れて歩くという明確な動作になり、「純粹間接感情表現」に属すことにする。

「恥ずかしい」はあることを恥と感じ、その過失や失敗などから逃れたいという気持ちを伴う。その過失や失敗を評価する属性的な使い方もできるので、「純粹直接感情表現」と「属性直接感情表現」に属すことにする。また、「恥じる」と「恥ずかしがる」は共に「純粹間接感情表現」に属すが、「恥じる」の対象は「乞食姿」や「節操を汚される」など、自分自身の名誉、節操に関わることが多い。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
恥ずかしい	○	○				
恥じる					○	
恥ずかしがる					○	

### 5.2.35 「腹が立つ」、「腹を立てる」

#### 「腹が立つ」

怒りを感じる。しゃくにさわる。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「腹を立てる」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「腹が立つ」

心の中に怒りの感情がわく。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

#### 「腹を立てる」

怒りの気持を言動や態度に表わす。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「腹が立つ」と「腹を立てる」は2.1(倉持(1986))の先行研究の分析した通り、感情主の「心内に生じる感情の変化そのもの」と「感情の変化が基になって、表情・態度・言動等に投影された動的な変化」を表す。言い換えれば、本研究が主張している「直接感情表現」と「間接感情表現」そのものである。本節は両者を分析してその性質を検討する。

(243) F160 : じゃ、あれじゃない。

キャリアウーマンになるし、資質、すごい持ってたんじゃない？  
はきはきしてるなら。

F045 : まあ、ね。

あきらめたってことなのかね。  
何か、あなたたちの世話してたから働かなかったのよとか言われて（う  
ーん）ちょっと 腹が立ったん だけど。

(データ67)(名大コーパス)

(244) 私はだんだん 腹が立って きた。何に？私自身に。なんだって私は、ここで居心地の悪さに耐えていなければならないというんだろう。みんなとの会話を楽しめない、楽しんでいるふりさえできない女の子。

(原田 紀『悩ましいほどおしゃれな恋を』集英社)(少納言)

(245) 「再建は無理だね。自己破産でもして出直した方がいい。僕が君にしてあげられることは、弁護士を紹介することぐらいだ」(中略) 帰り道、靖夫さんは吉川さんに 腹が立って 仕方ありませんでした。しかし、メモ用紙を破り捨てることはできませんでした。

(実著者不明『実戦離婚マニュアル』自由国民社)(少納言)

例(243)の話者(F045)は母親に自分のために働かなかったと言われて「腹が立った」と述べている。例(244)の「私」は自分の置かれている立場に「腹が立ってきた」と自分の考えを述べている。例(245)の靖夫は吉川に対して「腹が立って仕方ない」と述べている。これら三つの例は感情主の会話、思考、作品の登場人物の思考といった異なる形式で「腹が立つ」が使用されている。三者はいずれも形容詞のように本人だけが知り得る感情を表しているので、「純粹直接感情表現」に属す。

次に「腹を立てる」の例を見てみよう。

(246) 「まったく、音羽屋さんあればこそ、大入りでございましたな」と言ったのは団十郎で、その声音にお菊は刺を感じた。大入りが菊五郎ひとりの手柄のよ

うに言われては、団十郎が 腹を立てる のは当然だ。

(皆川 博子『花櫓』講談社)(少納言)

(247) 記者を連れて行ってくれた釣り人のHさんは、チカを狙った「さびき」というしかけを何度もウグイに壊され、腹を立てて 怒鳴っていた。

(「Yahoo!ブログ」Yahoo)(少納言)

(248) きーっ、軟弱な奴！！と思った私は、腹を立て て言った。「あなたも一応アメリカ系なんですよ？自分のルーツに誇りを持つべきだと思うよ」

(山田 詠美『日はまた熱血ポンちゃん』講談社)(少納言)

例(246)のお菊は「その声音に刺を感じた」というように団十郎の話し方からそこに潜んでいる団十郎の「怒り」を感じている。例(247)の話者は、感情主(Hさん)の怒鳴るという言動から感情主の怒りを観察している。言い換えれば、「腹を立てる」は動作性が弱い声、反応や様子で表すことができるし、明確な言動で表すこともできるので、「間接反応間接感情表現」と「純粹間接感情表現」の両方に属することになる。

「腹が立つ」と「腹を立てる」は一見使い方の区別がはっきりしているものである。しかし、例(248)のように感情主は過去の自分自身を客観的に観察して「腹を立てる」を使うことも可能である。もう一度例(244)と例(248)の感情表現を見てみよう。

(244) 私はだんだん 腹が立って きた。 (直接感情表現)

(248) 私は、腹を立て て言った。 (間接感情表現)

「腹が立つ」は意味的には形容詞に近いが、感情表現の形式が感情主自身を客観的に観察することと似ているので、例(244)と例(248)のように類似した構成になる。また、小説、物語の地の文では、筆者は登場人物の視点と同化し、例(245)のように「腹が立つ」を使えば、例(244)と例(248)と似たような状況になることである。

(245) 靖夫さんは吉川さんに 腹が立って (直接感情表現)

(247) Hさんは 腹を立てて 怒鳴って (間接感情表現)

「腹が立つ」と「腹を立てる」は感情表現としては明白なものであるが、形式は同じ動詞句なので、類似した文体になることが多く見られる。この違いを学習者が人称で判断しないように重ねて注意すべきだと思う。

また、「腹が立つ」は「純粋直接感情表現」として使うことができるので、下位分類「属性直接感情表現」に属すかどうかを検証してみる。

悲しい事故です。 (属性直接感情表現)

腹が立つ事故です。 (属性直接感情表現?)

腹が立つような事故です。 (属性直接感情表現?)

「属性直接感情表現」は感情を基準としてある物事を評価、判断する表現である。しかし、「腹が立つ」は感情主の内心の怒りという特徴が強い。客観的な基準として使うことが難しいので、「属性直接感情表現」に属さないことにする。

「腹が立つ」は「属性直接感情表現」に属さないことになるが、「腹の立つ」は以下の例のように慣用句として属性的な用法をすることができる。

(249) 偉そうに待たせやがった上に承知できないとぬかしやがる。まったく、腹の立つ野郎だ」と、畳をばしばし叩いた。

(塩川 治子『北斎の娘』 邑書林) (少納言)

(250) 監督は『スタンド・バイ・ミー』の名匠ロブ・ライナー。このところ 腹の立つ アメリカ映画ばかり観ていたが、久々にアメリカの良心とも言うべき映画でホッと一息付けた

(「Yahoo!ブログ」Yahoo) (少納言)

また、倉持は「腹が立つ／腹を立てる」の対立関係が感情形容詞とその接尾辞「一がる」は次ページのように似ていると述べている。



腹が立つ —— 腹を立てる  
 うれしい —— うれしがる  
 悲しい —— 悲しがる  
 欲しい —— 欲しがる  
 (遊ビ) たい —— (遊ビ) たがる

(倉持 (1986) p720)

しかし、「腹を立てる」は「一がる」だけではなく、「一む」動詞の特徴も持っている  
 で、以下のような対立関係の方が正しいと思う。

腹が立つ —— 腹を立てる  
 うれしい —— 喜ぶ、うれしがる  
 悲しい —— 悲しむ、悲しがる  
 欲しい —— 欲しむ、欲しがる

「腹が立つ」は本人だけが知り得る感情を表すので、「純粹直接感情表現」に属す。対し  
 て「腹を立てる」は声、反応など動作性が弱い形式、あるいは明確な言動で表すことが  
 できるので、「間接反応間接感情表現」と「純粹間接感情表現」に属すことにする。また「腹  
 が立つ」は「属性直接感情表現」に属さないが、「腹の立つ」という慣用句で属性的な用法  
 をすることができる。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
腹が立つ	○					
腹を立てる				○	○	

### 5.2.36 「びっくりする」

#### 「びっくりする」

[副] 突然のことや意外なことにおどろくさま。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「びっくりする」

[副] 一と一する

〔「びっくり」と同源の「びっくり」の強調形〕

今まで見なかったような(通念を超える)事態の展開に接して、心が一時ひどく動揺すること。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「びっくりする」は意外な物事に接して一時的に動揺することである。また、「びっくりする」と「驚く」は互いの意味を解釈することであり、意味的には同じようなものと扱っている。まず、以下の例を見てみよう。

(251) F031 : でもさー、たぶん、お酒とか飲むから、そういうにおいがしたんじゃない？

だって、普通は。

F004 : あ、びっくりした。

体臭かと思った。

(データ82)(名大コーパス)

(252) 村のカラオケ大会で国松さんが歌ったのには びっくりした。「うわ、国松さんって、五十歳ぐらいなのに。」優希も驚いている。

(有栖川 有栖『虹果て村の秘密』講談社)(少納言)

(253) F032 : そしたらそのときね、(うん) わたしが、(うん) うん、8月に、実は、あの一、東海岸まで(うん) こうこう行くとって学生に言ったら学生が びっくりしちゃって。(うん)

(データ09)(名大コーパス)

(254) 松平伊豆夫の家には、大学運動各部のキャプテンが集まって攻撃案を練っていた。おれはさっそく彼らに、予備校軍の様子をできるだけ大袈裟に教えてやった。彼らは びっくりした。

(筒井 康隆『アルファルファ作戦』中央公論社)(少納言)

「びっくりする」でもっとも多く見られた使い方は、例(251)と例(252)のように感情主は過去の自分の感情を「タ形」で表すものである。「驚き」を表す感情形容詞は存在しないし、「びっくりする」という感情の持続時間が短いので、感情主が自分の驚愕の感情を表す時には既に感情が消え去ってしまっていることが多い。そのため、「タ形」で過去の自分の感情、およびその反応を客観的に伝えることになる。また、例(253)と例(254)のように第三者の感情主の「びっくりする」は外部からその反応を観察することができるので、「純粹間接感情表現」に属す。

次に「びっくりする」の動作性について、以下の例を見てみよう。

(255) その瞬間のことです。彼は激しく咳き込んでしまったというのです。「この～、ゲホゲホゲホゲホ…」社長も びっくりした 様子です。「丈夫かね、キミ。風邪でもひいたのか。まあ、水でも飲みなさい」

(水落 英雄『手相が教えるあなたの開運期』たちばな出版)(少納言)

(256) 連絡を聞いた金森は びっくりして 飛んでくると、リビングの惨状を見て、何度もため息をついた。

(宮部 みゆき『人質カノン』文芸春秋)(少納言)

(257) 「滅びゆく、タンゴに乾杯！」朽木さんが立ち上がってグラスを上げ、その拍子によろけて、重い大きな体で私に倒れかかってきた。びっくりして 逃げようとしたが、間に合わなかった。私はお尻からコンクリートの床に落ちた。

(久世 光彦『謎の母』朝日新聞社)(少納言)

辞書では「びっくりする」を心のひどい動揺と説明しているが、その動揺は例(255)のように反応または様子から観察することができる。さらに感情の動揺の大きさにより、例

(256) の「飛んでくる」こと、例 (257) の「逃げようとした」ことのように動作または行動で表されることがあるので、「間接反応間接感情表現」と「純粹間接感情表現」とともに属すものである。

また、文章を書く時には、同じ言葉を連続して使用することを避けようとする傾向があるので、「びっくりする」と「驚く」のような互いに意味的に共通する言葉を以下の例のように交代で使うことがある。

(258) 裕香が少し笑う。ポケットからタバコを取り出して火をつけると、静かに話した。「私ね、お父さんが好きなの」「えっ？」みんなが 驚く。私も、びっくりした。

(松岡 やよい『いってきます！』講談社) (少納言)

(259) 11月、衆議院の憲法調査会の中央公聴会に呼ばれて、憲法についての意見を求められ、いまのような発言をしました。議員のみなさんは 驚いた ようですが、もっと彼らを びっくりさせた のは、私の若者に対しての提案です。

(日野原 重明『新生きかた上手』ユーリーグ) (少納言)

「びっくりする」は、ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応である。しかし、その感情の強さによって、反応だけではなく、明確な動作または行動で表されることがある。そのため、分類としては「純粹間接感情表現」と「間接反応間接感情表現」の両方に属すことにする。また、「びっくりする」と「驚く」とは意味的、形式的に似ているが、「びっくりする」は話し言葉なので、名大コーパスにおいては、240 : 26と「驚く」の約十倍の検索数があった。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
びっくりする				○	○	

### 5.2.37 「欲しい（欲しむ、欲しがる）」

#### 「欲しい」

[形] ① 自分のものにしたいと思う。手に入れたい。

② 存在しないものの必要性が痛切に感じられる意を表す。

[補形] 《動詞連用形＋「て [で]」に付いて》自分の望むことを相手に求める気持ちを表す。…てもらいたい。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「欲しむ」

説明なし

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「欲しがる」

[他五] しきりに求める。欲しそうにようすをする。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「欲しい」

[形] ① できることなら自分の思うままに扱えるようにしたいという願望や欲求をいadak様子だ。

② [「…て(ないで)ー」の形で]

その実現を(切実に)願う気持を表わす。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

#### 「欲しむ」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

#### 「欲しがる」

説明なし

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「欲しい」および「欲しがる」は、感情主の願望、欲求を表す感情表現である。動詞化の「欲しむ」は既に死語になっているので、分析から除外することにする<sup>43</sup>。以下の「欲しい」の例を見てみよう。

(260) F102：でも、見学ばかりじゃなくて早く自分でやらないと。

\*\*\*。

何に追われてるのかわかんないですけど。

時間の使い方が下手なんですかねあたしは、きっと。

(中略)

F017：ふーん、時間、時間がいっぱい 欲しい です。

(データ12)(名大コーパス)

(261) 子供が 欲しい と考えています。小さい子を見ると可愛いし、自分も早く 欲しい な～って思いますが、ただ可愛いから・・・ってだけで子供を産んでいいんでしょうか？

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

例(260)の感情主は時間が欲しいと言ひ、例(261)の感情主は子供が欲しいと言う。両者の欲求は自分が言わなければ他人が知り得ないものなので、「直接感情表現」に属す。しかし、「……が欲しい」の対象には制限がある。以下の例を見てみよう。

私は時間が欲しい。

私はお金が欲しい。

私は子供が欲しい。

\*私は買い物が欲しい。

私は買い物したい。

\*私は旅行が欲しい。

私は旅行したい。

---

43 本研究は調べた限りでは、「欲しむ」という例は存在しなかった。

時間、お金、友達などの物や人などが対象になる時に違和感はないが、買い物、旅行のような行為、動作に対する欲求は「欲しい」では表せず、「……したい」になる。

また、「欲しい」は下位分類「属性直接感情表現」に属すかどうかを検証してみる。

楽しい歌です。 (属性直接感情表現)

? 欲しい歌です。 (属性直接感情表現?)

? 欲しい出会いです。 (属性直接感情表現?)

「欲しい」は感情主の願望、欲求を表す感情表現であり、その欲求が個人的なものなので、共通的な認識である基準として評価すると許容度が著しく落ちてしまう。例えば、「楽しい歌」と「欲しい歌」と「欲しい出会い」は文法形式としては違わないが、「欲しい歌」と「欲しい出会い」は、感情主自身の欲求の対象を表し、その対象物自体の持つ属性ではないため、「欲しい」は「属性直接感情表現」に属さないことにする。

最後に「欲しがる」という感情表現を見てみよう。

(262) 1歳8ヶ月の子供です。親が朝食に卵ご飯を食べていると 欲しがって 泣くのですが生卵は未だ食べさせていません。

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo) (少納言)

(263) 『だって、需要あるもんよ。消費者が 欲しがって るもんを売って、それで怒られるなんて道理に合わないね。

(井上 剛『マーブル騒動記』徳間書店) (少納言)

「欲しがる」は例(262)のように外部に表出された動作から観察可能なので、「純粹間接感情表現」に属す。また、例(263)のように一般論として第三者の欲求を述べることもある。

「欲しい」は感情主の願望、欲求を表す「純粹直接感情表現」である。また、「欲しい」は個人の願望を強調する感情表現なので、客観的な基準にするには不向きなので、「属性直接感情表現」に属さないことにする。また、「欲しがる」は「純粹間接感情表現」に属すが、一般論として第三者の欲求を述べることに使われることが多い。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粋直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粋間接感情 表現	
欲しい	○					
欲しむ						
欲しがる					○	

### 5.2.38 「笑う」

#### 「笑う」

[自五] ① うれしさ・おかしさ・楽しさ・照れくささ・軽蔑<sup>けいべつ</sup>などの表現として、顔をやわらげたり声を立てたりする。

② 《「一・ってしまう」「一・っちゃう」などの形で》[俗] あまりのひどさに笑いがひとりでに出てくる。事のばかばかしさなどを軽蔑<sup>けいべつ</sup>・嘲笑<sup>ちやうしょう</sup>しようしていう。

③ [雅] 花のつぼみが開く。また、果実が熟して皮がさける。

④ [俗] 膝ひざががくがくする。

[他五] ばかにする。嘲笑<sup>ちやうしょう</sup>しようする。あざわらう。

(北原保雄『明鏡国語辞典第二版』大修館書店)

#### 「笑う」

[自五] ① うれしさ・おかしさなどをおさえきれず、目を細めたり口許(モト)をゆるめたり時には声を上げたりしてその気持を表わす。

② [東京方言]

程度がひどくて、相手にするのもばかばかしいほどだ。

[他五] (だれ・なにヲー)

あざけりの対象にする。

(山田忠雄 等『新明解国語辞典第七版』三省堂)

「笑う」は、嬉しさだけではなく、おかしさ、楽しさ、照れくささや軽蔑などを表すことができる感情表現である。つまり、これは「泣く」と同様にある特定の感情から表情や



声に生じる生理的反応である。その反応の原因となる感情は上に述べたようにさまざまである。以下の例を見てみよう。

(264) 尋ねられると、照れくさくて「努力なんかじゃなくて下心のおかげですよ」と、ケタケタ 笑って ごまかしてしまう。

(松兼 功『あっかんべえ』労働旬報社)(少納言)

(265) 諒はにかつと 笑って 胸を叩いた。「崎谷君が心配してくれるなんて大変 嬉しいぞっ。しかしだね、あんなの初めからワタシの相手ではないのだった」

(若木 未生『天使はうまく踊れない』集英社)(少納言)

(266) 「もちろん、私は知りません。ここに来て、まだ三年ですから。…いや、もう三年も経ってしまったと言った方が当たってるか」 河合は遠慮がちに 笑った。少し 自虐的な 笑みに真木には見えた。

(戸井 十月『小説宝石』光文社)(少納言)

(267) F107: ハローとか言ったら、はーはーはーとか言って、<笑い>きのうのやつらだなどかっていう感じだったよね。

<笑い>

F023: そしたらさあ、ハローってこうやって、ニコニコ 笑って て、向こうの人も。

(データ02)(名大コーパス)

例(264)の感情主は照れくさくて笑っている。また、例(265)の感情主は「嬉しい」、例(266)の感情主は「自虐的」という苦しいと近い感情を持って笑うことである。「笑う」は明確な表情や声で感情を表す「純粹間接感情表現」であり、複数の感情に対応することが可能なので、他の感情表現とともに使うこともある。あるいは、例(267)のように相手に対して敵意のないことを示すためのサインとして使われることもある。

また、感情主自身が「笑う」を使っている例を見てみよう。

(268) 息子をひつつかまえようとして、すってんころりん、思いっきりバナナの皮を踏んで、真っ赤なパンツが丸見えになって転んで、めちゃくちゃ大笑いされました。これって母親として恥ずかしいと言う前に、女として恥ずかしいことですよ。もう親戚に会えません。かわいらしいじゃないですか～。思わず私も 笑ってしまいました。。(^o^)

(「Yahoo!知恵袋」Yahoo)(少納言)

(269) 「紅茶、私が…」元枝が言った。「いいですよ。後は俺がやるから」私は 笑ったが、父親と似ていると言われた、不愉快そうな目つきをしていたかもしれない。

(藤田 宜永『恋しい女』新潮社)(少納言)

例(268)の感情主は自分がバナナの皮を踏んで転んでしまったという本来恥ずかしい出来事に対して、誰かが「かわいらしいじゃないですか～」と言ったことに対して、滑稽なことと思わず笑ってしまったということである。これは、自分のことを第三者のように客観的に観察して述べていることである。例(269)は、敵意のないことを示すための笑いであるが、本来の感情を伴わないため、「不愉快そうな目つきをしていたかもしれない」と自分では観察できない部分(目つき)を推測している。この両者に共通する点は自分自身を客観的に観察して述べているということである。

「笑う」は特定を感情ではなく、嬉しいをはじめ、おかしい、照れくさいや楽しいなどの感情から生じる表情や声の反応を表すこと。また、「笑う」は明確な表情の反応や声で表される感情表現なので、「純粹間接感情表現」に属することにする。

	直接感情表現		間接感情表現			直接・間接同 形感情表現
	純粹直接感情 表現	属性直接感情 表現	直接反応間接 感情表現	間接反応間接 感情表現	純粹間接感情 表現	
笑う					○	

### 5.3 各分類に属す語句および分類の特徴

#### 5.3.1 「純粋直接感情表現」の特徴

本研究において「純粋直接感情表現」に属すとした語句は以下の表の通りである。

ありがたい	痛い	嫌	嬉しい	おかしい
惜しい	面白い	悲しい	かわいそう	悔しい
苦しい	怖い	寂しい	残念	楽しい
辛い	懐かしい	憎い	恥ずかしい	腹が立つ
欲しい				

[表6] 「純粋直接感情表現」の語句一覧表

また、「直接・間接同形感情表現」に属す語句は、以下の表の通りである。

愛する	恨む	恐れる	好き	嫌い
-----	----	-----	----	----

[表7] 「直接・間接同形感情表現」の語句一覧表

「純粋直接感情表現」は「直接感情表現」の下位に分類され、内在的、感情主だけが直接知り得る感情の表現の中で、純粋に感情を表す感情表現である。そして、感情形容詞は主観的な感覚・感情の表現をなすもの<sup>44</sup>という特徴において「純粋直接感情表現」と一致しているので、すべての感情形容詞はこの分類に属することになる。

また、感情形容詞の他、「腹が立つ」および直接・間接同形感情表現の「愛する」、「恨む」と「恐れる」も、この「純粋直接感情表現」と同じ用法となる。「腹が立つ」は心中の怒りを強調する慣用句であり、その性質は形容詞に近いので、例外として扱うことにする。

「愛する」、「恨む」と「恐れる」は品詞としては動詞であるが、意味的に対応する感情形容詞が存在しない（愛おしい、恨めしい、恐ろしいは意味的にズレがある）。その上、「愛憎」や「恐怖」などの感情は長時間にわたる抽象的、状態的なものである。外部から単一の反応または動作で判断することが極めて困難であり、感情主はその種類の感情動詞を表

44 西尾 寅弥 (1972) 『形容詞の意味・用法の記述的研究』、p21、秀英出版

す時に第三者からの観察は不可能なので、「(純粹) 直接感情表現」として使うことができる。例えば、以下の例を見てみよう。

私は今でも彼女を愛している。 (純粹直接感情表現)

?彼は今でも彼女を愛している。 (純粹直接感情表現?)

彼はずっと彼女の写真を肌身離さずに持ち歩くので、今でも彼女を愛している。  
(間接感情表現)

感情主は自分の感情が把握できるので、現在彼女を愛していると言える。しかし、第三者の「愛」は反応または動作から観察することができないので、長時間にわたる日常の言動や行為、動作または反応から知るほかない。

また、「純粹直接感情表現」に属す感情形容詞は、ほとんどが「生起性感情」である(「腹が立つ」も生起性感情である)。これに対して「直接・間接同形感情表現」に属す言葉は、すべて「恒常性感情」の性質を有している。しかし、「怖い」は「恒常性感情」の性質を持ちながら「純粹直接感情表現」であり、「間接感情表現」を表す時には、「好き／嫌い」のようにそのまま使えず、「怖がる」を使わなければならない。そのため、「怖い」は「直接・間接同形感情表現」には属さないことになる。

以下に「純粹直接感情表現」の特徴を示す。

#### 「純粹直接感情表現」に属す語句の特徴

1. 内在的、感情主だけが直接知り得る、純粹に感情を表す感情表現
2. 外部から観察することができない
3. 生起性感情の性質を有している (怖い例外である)
4. すべての感情形容詞と一部の慣用句が属す

#### 5.3.2 「属性直接感情表現」の特徴

本研究において「属性直接感情表現」に属す語句は次の通りである。

ありがたい	痛い	嫌	嬉しい	おかしい
惜しい	落ち着く	面白い	悲しい	かわいそう
苦しい	怖い	寂しい	残念	楽しい
辛い	懐かしい	憎い	恥ずかしい	

[表 8] 「属性直接感情表現」の語句一覧表

「属性直接感情表現」は「直接感情表現」の下位に分類され、内在的、感情主だけが直接知り得る感情の表現を客観的な基準として物事を評価、判断する表現である。ほとんどの「直接感情表現」の感情は一般的に認識される共通感情であり、「属性直接感情表現」に転用することができる。しかし、以下の表のような「直接感情表現」として使用可能であるが、「属性直接感情表現」に属さないものも存在している。

悔しい	腹が立つ	欲しい	愛する	恨む
恐れる	好き	嫌い		

[表 9] 「純粹直接感情表現」でありながら「属性直接感情表現」に属さない語句一覧表

「悔しい」と「欲しい」は個人の欲求に関する感情表現であり、その欲望は人によって大きく変わる。共通の基準で評価、判断することが不適切なので、「属性直接感情表現」として使うことができない。

毎月生理があるから女って悲しい。 (属性直接感情表現)

? 毎月生理があるから女って悔しい。 (属性直接感情表現?)

自由な大人が楽しい。 (属性直接感情表現)

? 自由な大人が欲しい。 (属性直接感情表現?)

「女って悲しい」と「大人が楽しい」は対象（女、大人）を客観的に評価し、それぞれ「悲しい存在」、「楽しい存在」のように、その存在（あり方）を評価するものである。しかし、「女って悔しい」は客観的な評価より、話者自身の主観的な、あるいは個人的な気持ち強く、一般的な属性として述べることができない。また、「大人が欲しい」も話者自身

の欲望を表すことになる。

「悔しい」と「欲しい」だけではなく、「好き／嫌い」の「好悪」も個人的な価値観に大きく左右されるものであり、一般的な基準とすることが不適切である。また、「愛する」、「恨む」、「恐れる」のような数少ない感情動詞の直接感情表現も動詞的な要素が残っているため、「属性直接感情表現」としては使われない。

また、「直接感情表現」に属さないが、「落ち着く」は慣用用法の「タ形」で、例外として「属性直接感情表現」に属することになる。

(102) 幸子と高子は御土産を受け取り、それぞれの包みを開けた。高級ブランドのワンピースが入っている。幸子には 落ち着いた 若草色、高子には黒色の同じワンピースだ。

(竹山 正子『逆転の序曲』文芸社) (少納言)

以下に「属性直接感情表現」の特徴を示す。

#### 「属性直接感情表現」に属す語句の特徴

1. 感情を基準としてある物事を評価、判断する表現
2. 主観的な感情表現ではなく、客観的に物事の性質を評価する
3. 欲求、好悪など個人の価値観により標準が大きく変わる感情表現を使うことができない
4. ほとんどの感情形容詞が属す (3. の該当する形容詞は属さない)

#### 5.3.3 「直接反応間接感情表現」の特徴

本研究において「直接反応間接感情表現」に属す語句は「痛む」のみである。

痛む				
----	--	--	--	--

[表 10] 「直接反応間接感情表現」の語句一覧表

「間接感情表現」は外から感情主の感情を観察可能な感情表現である。しかし、一部の間接感情表現は感情主自身が感情を表すことより、その感情・感覚の刺激によってわずか

な反応または様子を被動的に表すことになるので、「直接反応間接感情表現」と「間接反応間接感情表現」といった分類を立てた。その種類の感情表現は動作性が弱くて観察しにくいので、感情主視点で直接感情表現のように表すことになる。しかし、外から直接観察することが可能なので、直接感情表現とは一線を画している。

さらに、「痛む」は外部の刺激ではなく、感覚主自身の内部の痛みによる反応であるので、その反応を外部に表出し観察することが可能かもしれないが、そのような用例は見つけることができなかった（「だろう」、「に違いない」などのモダリティを使って推測する例の方が多い）。

また、「痛む」は表現形式として「直接感情表現」に近いが、「痛む」は生理的反応なので、「直接感情表現」のような時間を経ては消えていく気持ちではなく、断続的に生じてくる痛みの反応なので、「恒常性感情」の性質を有している。

以下に「直接反応間接感情表現」の特徴を示す。

#### 「直接反応間接感情表現」に属す語句の特徴

1. 本人しか知り得ない生理的反応を表す
2. 動作性が弱く、外から観察しにくい
3. 恒常性感情の性質を有している
4. 感情主自分で表すこと、あるいは外から推測することが多い

#### 5.3.4 「間接反応間接感情表現」の特徴

本研究において「間接反応間接感情表現」に属す語句は以下の通りである。

焦る	いらいらする	落ち着く	驚く	がっかりする
悲しむ	感じる	悔やむ	苦しむ	困る
楽しむ	懐かしむ	悩む	憎む	腹を立てる
びっくりする				

[表 1 1] 「間接反応間接感情表現」の語句一覧表

「間接感情表現」は外から感情主の感情を観察できる感情表現である。しかし、一部の間接感情表現は感情主自身が感情を表すことより、その感情・感覚の刺激によってわずか

な反応または様子を被動的に表すことになるので、「直接反応間接感情表現」と「間接反応間接感情表現」といった分類を立てた。

感情形容詞に対応する「一む」動詞および副詞（する動詞）は、ほとんど「間接反応間接感情表現」に属す。「直接反応間接感情表現」と違い、「間接反応間接感情表現」は感情の対象・原因を有しているの、動作性が弱くても外からその反応または様子を観察することができる。感情主視点で表すこともあるが、直接感情表現ではなく、自分を第三者のように客観的に観察することもある。

また、「驚き」や「怒り」のような激しい感情を受けると、しばしば生じた反応が大きくなり、明らかな動作にまで発展するので、「純粹間接感情表現」にも属することになる（焦る、いらいら、驚く、感じる、腹を立てる、びっくり）。あるいは他の動詞（泣く、嘆く）と結びついてその動作性が強くなることで「純粹間接感情表現」になることもある（悲しむ）。

焦る	いらいらする	驚く	悲しむ	感じる
腹を立てる	びっくりする			

[表 1 2] 「間接反応間接感情表現」と「純粹間接感情表現」の両方に属す語句一覧表

彼はびっくりした様子だ。	(間接反応間接感情表現)
彼はびっくりして飛び上がった。	(純粹間接感情表現)
彼は悲しんでいる。	(間接反応間接感情表現)
私は悲しんでいる。	(間接反応間接感情表現、自分を客観視する)
彼は嘆き悲しんでいる。	(純粹間接感情表現)

以下に「間接反応間接感情表現」の特徴を示す。

#### 「間接反応間接感情表現」に属す語句の特徴

1. ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応
2. 動作性が弱い、反応・様子で観察することができる
3. 主に副詞と感情形容詞に対応する「一む」動詞が属す
4. 「驚き」、「怒り」の感情表現は刺激の強さによって動作まで表すことがある
5. 他の動詞と結びついて動作性を強くすることがある



### 5.3.5 「純粋間接感情表現」の特徴

本研究において「純粋間接感情表現」に属す語句は以下の通りである。

呆れる	焦る	慌てる	ありがたがる	痛がる
嫌がる	いらいらする	喜ぶ	嬉しがる	おかしがる
怒る	惜しむ	惜しがる	驚く	面白がる
悲しむ	悲しがる	感じる	悔しがる	苦しがる
怖がる	寂しがる	残念がる	辛がる	泣く
懐かしがる	恥じる	恥ずかしがる	腹を立てる	びっくりする
欲しがる	笑う			

〔表 1 3〕 「純粋間接感情表現」の語句一覧表

また、「直接・間接同形感情表現」に属す語句は、以下の通りである。

愛する	恨む	恐れる	好き	嫌い
-----	----	-----	----	----

〔表 7〕 「直接・間接同形感情表現」の語句一覧表

純粋間接感情表現として使うことができる語句は概ね三つのグループに分けられる。一つ目は、感情形容詞の接尾辞「-がる」、怒る、慌てる、泣くや笑うなど明確な動作・表情で表す感情表現である。このグループの感情表現は感情主が積極的に感情で表すので、外からも容易に観察することができる(感情主が自分自身を客観的に観察することもできる)。

二つ目は「間接反応間接感情表現」に属す一部の語句では、感情に強く反応するため、動作に表れる(主に「驚き」と「怒り」を表す語句である)。あるいは、他の動詞と結び付いて動作性が強くなるものもある。

三つ目は「直接・間接同形感情表現」に属す語句である。そのグループの感情表現は直接観察することができないが、日常の言動または習慣でその感情を知ることができる。

彼は苦しんでいる。	(純粹間接感情表現)
私って怒ってるわ。	(純粹間接感情表現、自分を客観視する)
彼はびっくりして飛び上がった。	(純粹間接感情表現)
彼は嘆き悲しんでいる。	(純粹間接感情表現)
彼は彼女を愛している。	(純粹間接感情表現)

もう一つ注目すべきことは「喜ぶ」である。「嬉しい」に対応する言葉として「喜ぶ」と「嬉しがる」である。しかし、この「嬉しがる」の使用率が低下したことによって、「喜ぶ」がその役割を受け取ることになり、「純粹間接感情表現」に属すほどの動作性を有することになる。

対応する感情形容詞が存在しない「愛する」、「恨む」と「恐れる」は、その動作性が弱く、感情形容詞のように「直接感情表現」として表すことができる。これは「喜ぶ」が「嬉しがる」がほとんど使われなくなったために、その役割を引き受け、動作性が強くなったためではないだろうか。

また、「惜しむ」は「寸暇（時間）を惜しんで」という慣用句があり、忙しさを強調するものなので、何らかの動作または行動で表す傾向になる。「惜しがる」も現在ほとんど使われなくなっているので、「惜しむ」が動作性が強くなり、「純粹間接感情表現」に属することになる。

また、「純粹間接感情表現」に属す語句はほとんどが「生起性感情」である。これに対して「直接・間接同形感情表現」に属す語句はすべて「恒常性感情」の性質を有している。しかし、「怖がる」は「恒常性感情」の性質を有し、日常の言動または習慣で観察可能な特徴があるが、対応する感情形容詞「怖い」があるので、「直接・間接同形感情表現」ではなく、「純粹間接感情表現」に属することになる。

以下に「純粹間接感情表現」の特徴を示す。

#### 「純粹間接感情表現」に属す語句の特徴

1. 外在的、表情または動作などで表わされる感情の表現
2. 動作性が強く、容易に観察可能である
3. すべての接尾辞「-がる」、一部の感情動詞と「-む」動詞が属す
4. 生起性感情の性質を有している（怖がるは例外である）

5. 使用率が低い接尾辞「-がる」の代わりに、「-む」動詞（あるいは同じ感情形容詞に対応する動詞）の動作性が強くなることがある（喜ぶ、惜しむ）

### 5.3.6 「直接・間接同形感情表現」の特徴

本研究において「直接・間接同形感情表現」に属す語句は以下の通りである。

愛する	恨む	恐れる	好き	嫌い
-----	----	-----	----	----

[表7] 「直接・間接同形感情表現」の語句一覧表

「直接・間接同形感情表現」は感情形容詞と感情動詞でありながら「直接感情表現」とも「間接感情表現」ともなり得る感情表現である。言い換えれば、「直接感情表現」として使うことができる感情動詞（「愛する」、「恨む」、「恐れる」）と「間接感情表現」として使うことができる感情形容詞（「好き」、「嫌い」）の二つのタイプがある。

「愛する」、「恨む」と「恐れる」は品詞としては動詞であるが、対応する感情形容詞が存在しない（愛おしい、恨めしい、恐ろしいは意味的にズレがある）。その上、「愛憎」や「恐怖」などの感情は瞬間的なものではなく、長時間にわたる抽象的、状態的なものである。これらは外部から単一の反応または動作で判断することが極めて困難なので、直接に観察するのではなく、日常的な言動、習慣などからその「状態」を知ることになる。言い換えれば、感情主がこの種の感情動詞で表す時に、第三者からの観察は不可能なので、「(純粹) 直接感情表現」として使うことができる。例えば、以下の例を見てみよう。

私は今でも彼女を愛している。 (純粹直接感情表現)

?彼は今でも彼女を愛している。 (間接感情表現?)

彼はずっと彼女の写真を肌身離さずに持ち歩くので、今でも彼女を愛している。  
(間接感情表現)

感情主は自分の感情を把握できるので、現時点で彼女を愛していると言える。しかし、第三者の「愛」は反応または動作から観察することができないので、長時間にわたってその習慣から知るほかはない。

また、「好き」、「嫌い」は、品詞としては感情形容詞であるが、この感情は一時的なもの

ではなく、傾向という長時間にわたる状態的なものなので、「恒常性感情」の性質を有している。従って、感情主を対象にし、その「傾向」を日常の言動、習慣などから「間接感情表現」のように観察することが可能である。

私はビールが好きです。	(直接感情表現)
彼はビールが好きです。	(間接感情表現)
私はホラー映画が嫌いです。	(直接感情表現)
彼はホラー映画が嫌いです。	(間接感情表現)

「私はビールが好き」、「私はホラー映画が嫌い」という感情は感情主が言わない限り、誰も知ることができない。もし感情主がいつもビールを買い、何度もホラー映画の誘いを断れば、他人はそれを観察し、「彼はビールが好き」、「彼はホラー映画が嫌い」という結論に達する。

もう一つの例外は、「怖い」、「怖がる」が「恒常性感情」の性質を持ちながら、形容詞と「一がる」の対立関係を有しているということである。このため、「怖い」という傾向を持つ感情主を対象にして観察する時、「好き／嫌い」ように同一の語で表すことはできず、「怖がる」で以下のように第三者の傾向を表すことになる。

私はビールが好きです。	(直接感情表現・恒常性感情)
私は犬が怖いです。	(直接感情表現・恒常性感情)
彼はビールが好きです。	(間接感情表現・恒常性感情)
彼は犬を見て怖がっています	(間接感情表現・生起性感情)
彼は犬を怖がっています。	(間接感情表現・恒常性感情)

「怖い」、「怖がる」は対立関係を持つので、「恒常性感情」の性質がありながら「直接・間接同形感情表現」に属さないことになる。逆に言えば、「愛する」、「恨む」、「恐れる」、「好き」と「嫌い」はその対立関係を持っていないので、「直接・間接同形感情表現」に属することになる。

以下に「直接・間接同形感情表現」の特徴を示す。

#### 「直接・間接同形感情表現」に属す語句の特徴

1. 「直接感情」も「間接感情」も表せる感情表現
2. 「恒常性感情」の性質を有している
3. 「間接感情表現」で表す時、直接観察することではなく、日常の言動、習慣から知る
4. 「愛憎」、「好悪」、「恐怖」など抽象的、状態的な「傾向」に限る
5. 形容詞と接尾辞「-がる」のような対立関係が存在しない

#### 5.4 まとめ

本研究において各分類の語句および語句の関連性によって分類した一覧表は以下の通りである。

直接感情表現		直接・間接同 形感情表現	間接感情表現		
純粹直接感情表現	属性直接感情表現		純粹間接感情表現	間接反応間接感情表現	直接反応間接感情表現
ありがたい	ありがたい	愛する	呆れる	焦る	痛む
痛い	痛い	恨む	焦る	いらいらする	
嫌	嫌	恐れる	慌てる	落ち着く	
嬉しい	嬉しい	好き	ありがたがる	驚く	
おかしい	おかしい	嫌い	痛がる	がっかりする	
惜しい	惜しい		嫌がる	悲しむ	
面白い	面白い		いらいらする	感じる	
悲しい	悲しい		喜ぶ	悔やむ	
かわいそう	かわいそう		嬉しがる	苦しむ	
悔しい	苦しい		おかしがる	困る	
苦しい	怖い		怒る	楽しむ	
怖い	寂しい		惜しむ	懐かしむ	
寂しい	残念		惜しがる	悩む	
残念	楽しい		驚く	憎む	
楽しい	辛い		面白がる	腹を立てる	
辛い	懐かしい		悲しむ	びっくりする	
懐かしい	憎い		悲しがる		
憎い	恥ずかしい		感じる		
恥ずかしい	落ち着く		悔しがる		
腹が立つ			苦しがる		
欲しい			怖がる		
			寂しがる		
			残念がる		
			辛がる		
			泣く		
			……		

[表 1 4] 「感情表現」の各分類の語句一覧表

直接感情表現		直接・間接同 形感情表現	間接感情表現		
純粹直接感情表現	属性直接感情表現		純粹間接感情表現	間接反応間接感情表現	直接反応間接感情表現
ありがたい	ありがたい		ありがたがる		
痛い	痛い		痛がる		痛む
嬉しい	嬉しい		喜ぶ/嬉しいがる		
おかしい	おかしい		おかしがる		
惜しい	惜しい		惜しむ/惜しがる		
面白い	面白い		面白がる		
悲しい	悲しい		悲しむ/悲しがる	悲しむ	
悔しい			悔しがる	悔やむ	
苦しい	苦しい		苦しがる	苦しむ	
怖い	怖い		怖がる		
寂しい	寂しい		寂しがる		
楽しい	楽しい			楽しむ	
辛い	辛い		辛がる		
懐かしい	懐かしい		懐かしがる	懐かしむ	
憎い	憎い			憎む	
恥ずかしい	恥ずかしい		恥じる/恥ずかしがる		
欲しい			欲しがる		

【表 1 5】 感情形容詞および形容詞の動詞化と接尾辞「がる」の一覧表

直接感情表現		直接・間接同 形感情表現	間接感情表現		
純粹直接感情表現	属性直接感情表現		純粹間接感情表現	間接反応間接感情表現	直接反応間接感情表現
嫌	嫌		嫌がる		
かわいそう	かわいそう				
		嫌い			
残念	残念		残念がる		
		好き			

【表 1 6】 感情形容動詞および形容動詞の接尾辞「がる」の一覧表

直接感情表現		直接・間接同 形感情表現	間接感情表現		
純粹直接感情表現	属性直接感情表現		純粹間接感情表現	間接反応間接感情表現	直接反応間接感情表現
		愛する			
			呆れる		
			焦る	焦る	
			慌てる		
			いらいらする	いらいらする	
		恨む			
			怒る		
		恐れる			
	落ち着く			落ち着く	
			驚く	驚く	
				がっかりする	
			感じる	感じる	
				困る	
			泣く		
				悩む	
腹が立つ			腹を立てる	腹を立てる	
			びっくりする	びっくりする	
			笑う		

〔表 17〕 感情動詞、句（感情形容（動）詞の動詞化を除く）の一覧表

感情（感覚）を表す各語句を表現形式によって分類すれば、概ね「直接感情表現＝感情形容詞」、「間接反応間接感情表現＝『一む』動詞および副詞、動作性が弱い感情動詞」、「純粹間接感情表現＝接尾辞『一がる』、動作性が強い感情動詞」といった傾向で分けられる。しかし、「喜ぶ」、「惜しむ」は、他の「悲しむ」、「苦しむ」のような間接反応間接感情表現とは異なる分類に属す。また、「好き／嫌い」、「恨む」のような複数の表現形式を持つ語も存在する。

最後に、各分類の特徴を以下の表に示す。



直接感情表現	純粹直接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内在的、感情主だけが直接知り得る、純粹に感情を表す感情表現</li> <li>2. 外部から観察することができない</li> <li>3. 生起性感情の性質を有している（怖いは例外である）</li> <li>4. すべての感情形容詞と一部の慣用句が属す</li> </ol>
	属性直接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感情を基準としてある物事を評価、判断する表現</li> <li>2. 主観的な感情表現ではなく、客観的に物事の性質を評価する</li> <li>3. 欲求、好悪など個人の価値観により標準が大きく変わる感情表現を使うことができない</li> <li>4. ほとんどの感情形容詞が属す（3. の該当する形容詞は属さない）</li> </ol>
間接感情表現	直接反応間接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本人しか知り得ない生理的反応を表す</li> <li>2. 動作性が弱く、外から観察しにくい</li> <li>3. 恒常性感情の性質を有している</li> <li>4. 感情主自分で表すこと、あるいは外から推測することが多い</li> </ol>
	間接反応間接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応</li> <li>2. 動作性が弱い、反応・様子で観察することができる</li> <li>3. 主に副詞と感情形容詞に対応する「一む」動詞が属す</li> <li>4. 「驚き」、「怒り」の感情表現は刺激の強さによって動作まで表すことがある</li> <li>5. 他の動詞と結び付いて動作性を強くすることがある</li> </ol>
	純粹間接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外在的、表情または動作などで表わされる感情の表現</li> <li>2. 動作性が強く、容易に観察可能である</li> <li>3. すべての接尾辞「一がる」、一部の感情動詞と「一む」動詞が属す</li> </ol>

		<p>4. 生起性感情の性質を有している（怖がるは例外である）</p> <p>5. 使用率が低い接尾辞「一がる」の代わりに、「一む」動詞（あるいは同じ感情形容詞に対応する動詞）の動作性が強くなることもある（喜ぶ、惜しむ）。</p>
<p>直接・間接同形感情表現</p>	<p>1. 「直接感情」も「間接感情」も表せる感情表現</p> <p>2. 「恒常性感情」の性質を有している</p> <p>3. 「間接感情表現」で表す時、直接観察することではなく、日常の言動、習慣から知る</p> <p>4. 「愛憎」、「好悪」、「恐怖」など抽象的、状態的な「傾向」に限る</p> <p>5. 形容詞と接尾辞「一がる」のような対立関係が存在しない</p>	

[表 18] 「感情表現」の各分類の特徴

## 第六章

### まとめおよび将来の展望

## 第一章 はじめに

第一章では、本研究の動機、目的、研究方法および論文概要について論じた。

## 第二章 感情表現の使い分けに関する先行研究

第二章では、「人称によって使用する言葉が変わる」という感情表現の使い分けのもっとも大きな問題点を検討するため、「人称」に関する先行研究について考察し、それぞれの問題点を検討した。

2.1 節では、倉持の「腹が立つ」と「腹を立てる」(1986) について論じた。

まず、倉持は「腹が立つ」、「腹を立てる」と「自動形」、「他動形」の意味的な対応関係を調べ、「腹が立つ」と「腹を立てる」には形式的に自他の対応はあるが、意味的な対応関係とは異なるという結論に至っている。

次に倉持は、実際の用例を検討し「腹が立つ」と「腹を立てる」について、それぞれの差異を見出している。その中で、人称に関する差異について、「腹が立つ」は、本来は第一人称を主体するものであるが、視点を第三人称に転位すれば、三人称を主語とすることが可能である（主に文学作品において）と述べている。それに対して、「腹を立てる」の主語は、本来は第三人称であるが、自分を客観的に観察するとすれば、一人称も取ることができるとしている。最後に、倉持は「腹が立つ」という形容詞に近い性質と「腹を立てる」という動詞的な性質が強いという両者の特徴が情意・感覚形容詞とその接尾辞「一がる」と似ていると指摘している。

2.2 節では、加藤(2001)は感情表現について述べた。加藤は、一人称には形容詞を使い、三人称には動詞を使うという原則を認めるが、例外的な状況があると指摘し、「喜ぶ」と「楽しむ」を比較している。「楽しむ」は状況によって主語を一人称にすることができるという柔軟性を持っているが、「喜ぶ」はそのような柔軟性を持っていないと述べている。言い換えれば、動詞によってその人称制限の度合いが異なるものだとしている。

また、対応する感情形容詞が存在しない感情動詞は「テイル形」を使えば一人称の主語を取ることが可能である。しかし、形容詞のように一人称を取っても、感情表現のニュアンスは異なってくると、加藤は指摘している。

また、テイル形の他に、タ形でも人称制限を解除できるとも加藤は述べている。しかし、これは小説や物語の文の場合に限られており、実際に会話の中で使うと、不自然さを感じる文が多いと指摘している。

2.3節では、大曾（2001）は一部の感情動詞（句）は感情形容詞と同じような人称制限があると指摘し、その制限を解除する方法をまとめている。

まず、大曾は「思う」、「困る」、「いらいらする」、「はらはらする」、「ひやひやする」、「わくわくする」、「腹が立つ」、「胸が痛む」、「胸が躍る」のような動詞（句）または擬態語は形容詞のように三人称の主体にならないという人称制限があると指摘している。

次に、前節のような感情主自身の感情を第三者の感情として表す場合、次の四つの表現形式があると述べている。

- ① 「一がる」
- ② 「一む」、「一する」
- ③ 「一ている」
- ④ 他動詞

まず、①「一がる」について、形容詞の感情表現を第三者が表す時、接尾辞「一がる」を加えて表すと述べている。

②の「一む」、「一する」について、まず、感情形容詞が「一がる」を付加できるかどうかによって、二つのタイプに分けている。「一がる」と共起しないグループは、第三者が感情を表す時、「一む」あるいは「一する」（「楽しむ」、「心配する」）を使う。また、「一む」と「一がる」とともに共起出来るグループは「一がる」が感情表出の描写に使われているのに対し、「一む」は事物の性状規定、つまり感情的品定めに使われているとしている。

また、前述の「思う」、「困る」、「いらいらする」、「はらはらする」のような感情動詞または擬態語の場合、第三者の感情表現には「一ている」を使う必要があると述べている。

また、「腹が立つ」、「胸が痛む」のような自動詞を持つ動詞句の場合、第三者の感情表現はその自動詞に対応する他動詞を使うと述べている。

2.4節では、馬場（2001）について取り上げた。馬場は、三人称の主語が「ハラガタツ／アタマニクル／ムカツク」をテイル形で表す時、それぞれ許容度が違うと指摘している。

馬場はこの問題を説明するために、神尾（1990）<sup>45</sup>の「なわばり理論」と柳沢（1994）<sup>46</sup>

---

45 神尾 昭雄（1990）『情報のなわ張り理論—言語の機能的分析』大修館書店

46 柳沢 浩哉（1994）「テイル形の非アスペクト的意味—テイル形の報告性」『森野宗明教授退官記念論集 言語・文

の「報告性」の概念を引用し、「テイル形」が「報告者によって認知された確信度の高い情報」を表すものとし、それ以外の「ようだ／みたいだ／らしい」といったモダリティは「確信度が強くない情報」を表すものとしている。

また、「ハラガタツ」という感情主の感情が報告者のなわばりの「外」にあり、報告者は感情主の感情への確信度が低いので、報告者は感情主の感情を三人称主語として述べる時に「テイル形」を使うことができず、(ようだ／みたいだ／らしい) を用いないと報告できない。一方、「アタマニクル／ムカツク」は、感情主の感情が報告者のなわばりの「内」にあるので、捉えることが出来、テイル形をある程度使えと主張している。

2.5節では、「人称」に関する先行研究をまとめた。従来の先行研究において、一人称には形容詞を使い、三人称には動詞を使うという共通認識があるが、倉持は「腹が立つ」、「腹を立てる」、加藤は「楽しむ」、大曾は「思う」、「困る」、「いらいらする」や「胸が躍る」といった感情動詞(句)や擬態語でも一人称が使えると指摘している。

また、「テイル形」、「タ形」および「ようだ／みたいだ／らしい」といったモダリティを付加することによって主語を 三人称に 変更することが可能なので、人称によって感情表現の言葉を区別することは不適切であると思われる。

また、倉持と加藤は感情動詞(句)の中で、性質は動詞より形容詞に近い言葉を発見した(「腹が立つ」、「楽しむ」)。さらに加藤は「楽しむ」と「楽しい」、大曾は「一む」動詞と「一がる」という接尾辞は、同じ人称で表されてもその感情表現のニュアンスは異なる」と指摘している。

### 第三章 感情表現の表現形式

3.1の「感情表現の特徴」では、寺村(1982)は感情動詞を二つのタイプに分け、その特徴を以下のように二つの種類に分類している。

感情の表現形式：(1)感情を表情または動作で表すもの

(2)話し手自身の気持ちを直接に表出するもの

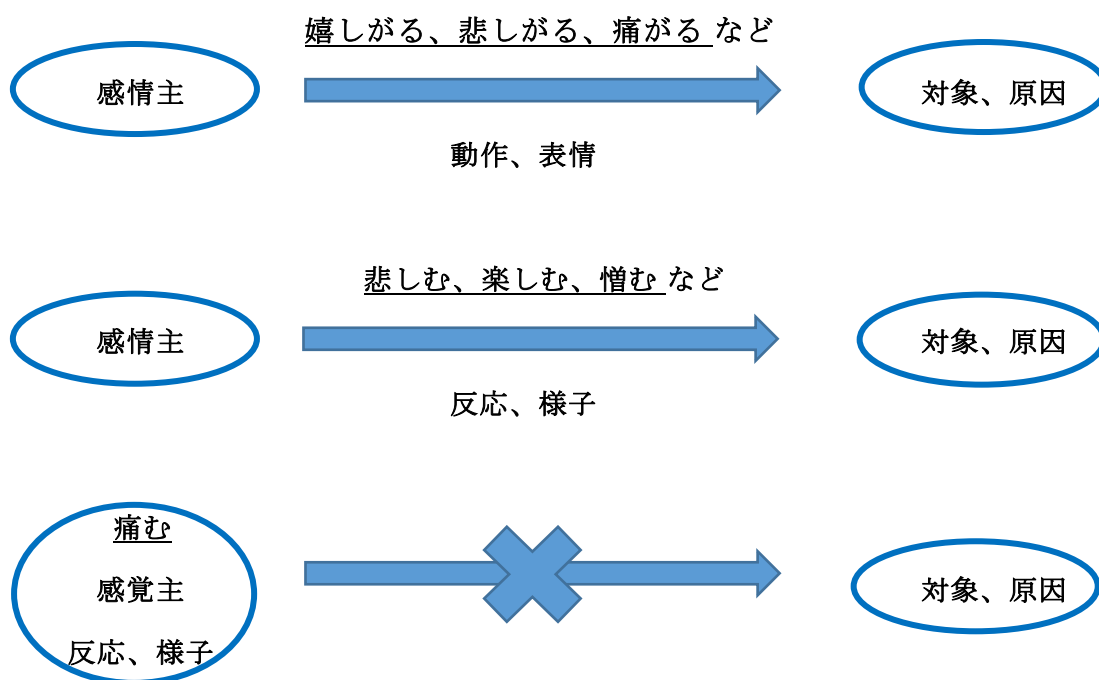


3.3節では、間接感情表現とその下位分類の定義および特徴について論じた。

3.3.1では、間接感情表現の特徴について論じた。間接感情表現は外在的な表情または動作などで表わされる感情表現であるため、必ず外部から観察することが可能である。また、自分自身を客観的に述べると一人称感情主で間接感情表現を表すことも可能である。

3.3.2では、間接感情表現の下位分類とその特徴について論じた。明確な動作あるいは行為などで外部に感情を表す感情形容詞の接尾辞「-がる」に対して、感情形容詞の動詞化（「-む」動詞など）は、感情主がある対象に対する、あるいは、原因から生じる感情的反応である。

さらに、「痛む」そのものは志向性がなく、痛みから生じてくる本人しか知り得ない生理的な反応である。感情表現としては直接感情表現に極めて近いが、それ自体反応であるため、外部に表出し観察することが可能かもしれないが、そのような用例は見つけることができなかった。



[図1] 接尾辞「がる」、感情形容詞の動詞化、「痛む」との差異

この三者を区分するため、「間接反応間接感情表現」と「直接反応間接感情表現」といった新たな下位分類を立てることにした。



- 〔
  - ① 純粹間接感情表現：明確な表情または動作などで表わされる感情表現  
 (嬉しがる、悲しがる、痛がる)
  - ② 間接反応間接感情表現：ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応  
 (悲しむ、楽しむ、憎む)
  - ③ 直接反応間接感情表現：本人しか知り得ない生理的な反応 (痛む)
 〕

3.4 節では、直接・間接同形感情表現の定義および特徴について論じた。直接感情または間接感情を表す感情表現のほかに、直接感情と間接感情のその両者を表すことができる「直接・間接同形感情表現」が存在する。この感情表現は「直接感情表現」または「間接感情表現」の感情表現と同様、人称に制限されないことが分かる。

3.5 節では、表現形式による新たな分類方法をまとめ、各分類の定義と相互関係を以下のように学習者にとって分かりやすい形に整えた。

「直接感情表現」：内在的、感情主のみが直接知り得る感情の表現

「純粹直接感情表現」：純粹に感情そのものを表す感情表現

「属性直接感情表現」：感情を基準としてある物事を評価、判断する表現

「直接・間接同形感情表現」：「直接感情」も「間接感情」も表せる感情表現

「間接感情表現」：外在的、表情または動作などで表わされる感情の表現

「純粹間接感情表現」：明確な表情または動作などで表わされる感情表現

「間接反応間接感情表現」：ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的  
 反応

「直接反応間接感情表現」：本人しか知り得ない生理的な反応

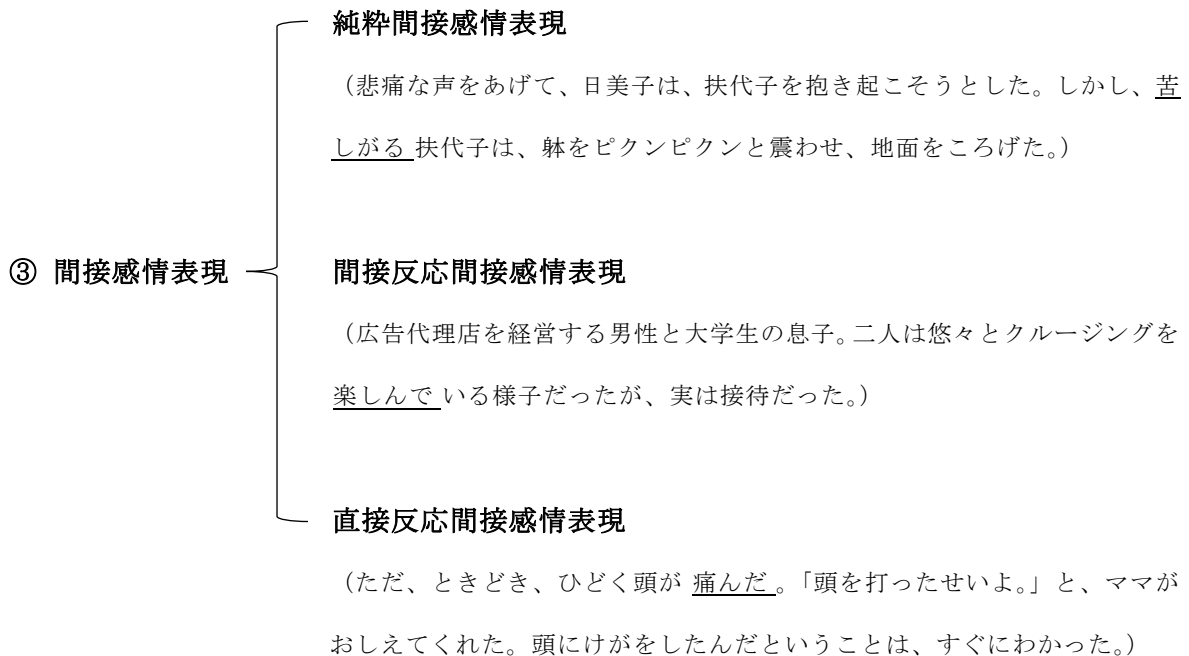
① 直接感情表現 —— 純粹直接感情表現

(本当に 悲しかった し、悔しかったですよ。誰も僕の言うことなんて信用してくれないわけですから。)

└───▶ 属性直接感情表現

(子供ができれば、ある程度大きくならないと皆で集まったりとかもできな いしね。女って 悲しい ですね…。)

② 直接・間接同形感情表現 (彼女 が僕のことを 愛して くれて僕も彼女が 好き なら付き合います。)



[図 2] 表現形式による感情表現の分類方法

## 第四章 感情表現の生起性と恒常性

4.1 節では、感情表現の表現形式による分類には、もう一つ感情表現の表現形式に大きく影響する要素として感情表現の生起性と恒常性の問題があると考えた。生起性とは、その感情が生じている時にだけ存在する感情の特性を表す。恒常性とは、その感情が生じているか、生じていないかに関わらず常に存在すると考えられる感情の特性である。感情表現の生起性と恒常性に関わる先行研究は、ほとんど動詞のアスペクトの研究の中で一部の

動詞（感情動詞）だけを取り上げ、行われている。本節はこのアспектに関する先行研究を考察した。

4.1.1 では、森山（1983）は動詞と期間成分（～間、暫く、等）あるいは、特定の動詞（続ける、始める、終わる）が共起することの有無により、動詞の素性（持続性、過程性、終結性など）を判断している。この中で、感覚、心理状態、態度などを表す動詞は、動きの全体量ということでは設定され得ず、動きの終結点はないと指摘している。

4.1.2 では、小泉（1989）はテイル形の意味について五つに分けている。この中で、「心の状態の持続」というタイプは物理的な動作・動きではなく、心的な動作であり、動きの始まりと終わりが定かでない述べている。言い換えれば、心の動作である「喜ぶ」と「悩む」という動詞は始まりと終わりが定かでないという特徴があるということである。

4.1.3 では、吉永（2004）は感覚自動詞（見える、聞こえる、痛む、痺れる、飢える、渴くなど）と形容詞とは類似しているが、感覚自動詞は時間と空間とに関わることができるという点で形容詞と大きく異なると指摘している。特に感覚自動詞は「時々」との共起により、異なる時間に生じたある感覚を 断続的に体感できる という点で、明らかに形容詞、心理動詞や状態動詞とは異なると述べている。

4.1.4 では、関口（2004）は心理動詞に局面動詞を結び付けることによって、そこに「時間」が存在することが証明されると考えている。さらに感情動詞を「継続の感情動詞」と「短期継続の感情動詞」を分類しているが、区分する基準については説明していない。

4.1.5 では、感情表現のアспектに関する先行研究をまとめた。森山（1983）、および小泉（1989）は心の動きである感情動詞には明確な終わりが存在しないと述べている。また、関口（2014）は限られた状況では、感情・感覚動詞は完了・完遂が表せるとしているが、言い換えれば、一般的に終わりが存在しないということであろう。もし感情・感覚動詞に終わりが存在しないとすれば、心の動きの絶対時間を測ることは不可能に近いと言えるであろう。また、吉永（2004）は感覚動詞に断続的な持続性という重要な特徴が有していると指摘している。

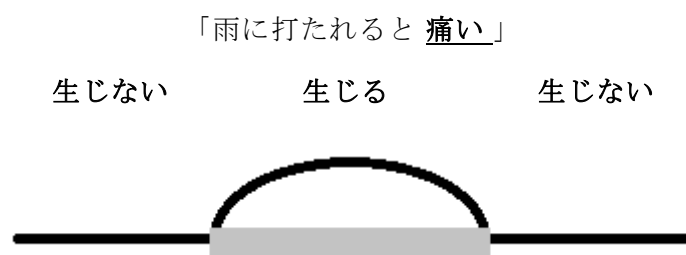
4.2 節の「感情の生起性と恒常性」では、感情の生起性と恒常性の特徴を検討し、かつての分類方法を再考することである。

まず、蔡（2015）を取り上げた。蔡はこの論文で、感情表現を持続時間によって次の二つのタイプに分けた。

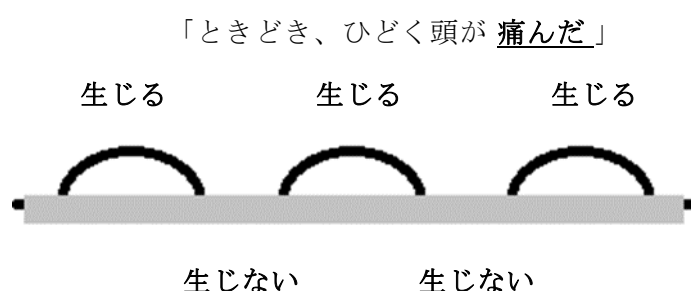
「瞬時的感情」：一瞬またはしばらくして消え去る感情

「恒常的感情」：一定の時間を継続、維持する感情

しかし、その後、森山（1983）、小泉（1989）、関口（2014）にある心の動きの絶対時間を測ることは極めて困難であるという指摘から、先のような心の動きと強く関わる感情表現を持続時間の長さで分類することは不適切であると考え、持続時間による分類を再考した。断続的に生じる痛覚を表す「痛む」、「疼く」と、生じる間だけを表す「痛い」とには明確な差異が存在すると考え、以下の図のように区別し、「生起性感情」と「恒常性感情」と新たに名付けた。



〔図3〕 生起性感情：生起している間だけ存在する感情



〔図4〕 恒常性感情：生じているか、生じていないかに関わりなく常に存在する感情

また、恒常性感情を表す感情表現は、感覚表現のように時間要素を含む言葉（時々、たまに）と共起しないが、感情の生じている期間と、生じていない期間を区別することが出来る。

従って、筆者がかつて主張した持続時間による分類を修正し、以下のように改めて定義

することにする。

生起性感情：生起している間だけ存在する感情

恒常性感情：生じているか、生じていないかに関わりなく常に存在する感情

4.3 節では、前章で提出した表現形式による分類がどのような特徴を持っているかについて検証した。

4.3.1 では、直接感情表現の下位分類の生起性と恒常性について検証した。純粋に感情を表す「純粋直接感情表現」は、その時だけ生起し、消えていくという特徴によって「生起性感情」に属す。これに対して「属性直接感情表現」は物事に対する評価、判断であるため、ある時に生じてくる一時的な感情ではなく、ある対象に対する恒常的な感情であり、即ち「恒常性感情」である。

4.3.2 では、間接感情表現および下位分類の生起性と恒常性について検証した。典型的な間接感情表現の言葉（泣くなど）、あるいは「一がる」の接尾辞は動作性が強く、外部から観察しやすいので、直接観察可能な「生起性感情」となる。これに対して「直接反応間接感情表現」は生起と消滅とが断続的に生じる生理反応であるので、「恒常性感情」に属す。また、「間接反応間接感情表現」は動作性の弱い反応または様子で表わされるため、一回きりの「生起性感情」で表すことも可能だが、その様子を状態的なものとして捉えれば、何度も観察可能であるので、「恒常性感情」とすることも可能である。

4.3.3 では、直接・間接同形感情表現の生起性と恒常性について検証した。直接・間接同形感情表現は感情主のみが知り得る気持ちであり、「直接感情表現」として使うことができる。この感情は生じているか、生じていないかに拘わらずに、長時間にわたる感情主の傾向を表すため、第三者からも、その日常の言動や習慣などから観察可能であり、「間接感情表現」のように使用できる。逆に言えば、生じているか、生じていないかに拘わらずに、長時間にわたるという「恒常性感情」の特徴を有しているので、「直接・間接同形感情表現」ともなり得ると言える。

4.4 では、各分類の生起性と恒常性の特徴についてまとめた。各感情表現の分類と生起性と恒常性の性質との関係は以下のようなものである。

**生起性感情：生起している間だけ存在する感情**

「純粋直接感情表現」 （「楽しい」、「悲しい」、「嬉しい」など）

「純粹間接感情表現」 （「悲しがる」、「泣く」など）

恒常性感情：生じているか、生じていないかに関わりなく常に存在する感情

「属性直接感情表現」 （「悲しい」、「苦しい」など）

「直接反応間接感情表現」 （「痛む」、「疼く」など）

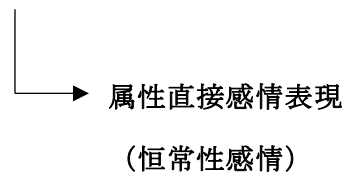
「直接・間接同形感情表現」 （「好き」、「嫌い」など）

生起性感情または恒常性感情

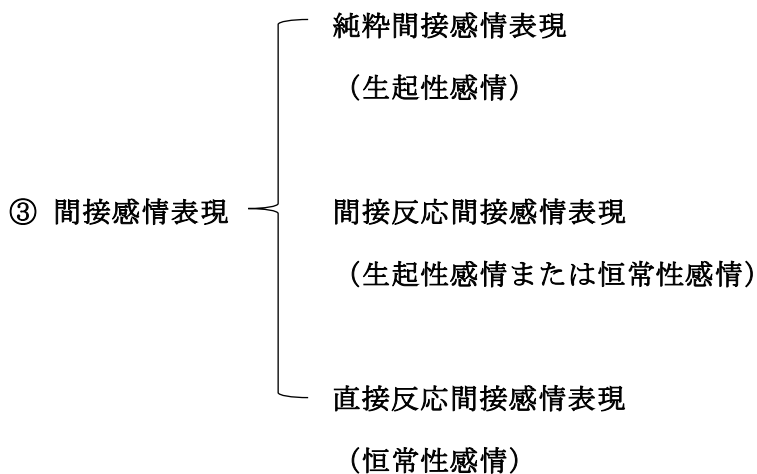
「間接反応間接感情表現」 （「楽しむ」、「苦しむ」など）

① 直接感情表現 —— 純粹直接感情表現

（生起性感情）



② 直接・間接同形感情表現（恒常性感情）



〔図5〕 表現形式による分類の生起性と恒常性

## 第五章 感情表現の各語句の分析

5.1 節では、本研究において感情表現の各分類に属す語句、および、その特徴を明らかにするために、分析対象とする語句を選定した。

まず、感情表現に関してもっとも詳細なものは『感情表現辞典』である。この辞典に収集されている感情動詞の数は770個、感情形容詞は265個、擬態語は145個、その他慣用句などがある。しかし、この辞書では、品詞による分類は存在せず、形容動詞、サ変動詞、「とする」動詞や連語などが、「あいうえお」順で混在しているため、研究対象とすべき語句を系統的に選定するには不向きであった。

また、『日本語の慣用表現辞典』、『例解慣用句辞典』、『日本語オノマトペ辞典』、『現代擬音語擬態語用法辞典』と『現代形容詞用法辞典』も調べたが、感情動詞、感情形容詞に特化した辞典は、調べた限りでは、見つけることはできなかった。慣用句、擬音語・擬態語に特化した辞典はあるが、意味で分類したものは少ない。各辞書を比較して研究対象を選定するためには、不適切である。また、各辞書に載せられている語句は、述べ2000語以上となり、すべての語句を分析することは到底不可能であり、日本語教育にとって有用な代表的な感情表現の語句を選出する必要があると考えた。

次に、『日本語教育のための基本語彙調査』（1984）を調べたが、その調査から感情・感覚に関する意味分類に属す語句は117個であると分かった。さらに『現代雑誌九十種の用語用字』（1962）の「使用率順語彙表」を用い、『日本語教育のための基本語彙調査』（1984）の117語を使用率順に並べた。また、「腹が立つ」のような、『現代雑誌九十種の用語用字』に含まれていないが、感情表現の研究において典型的、かつ重要な感情・感覚の語句を補足し、以下のように研究対象とすべき語句を選定した。

愛する	呆れる	焦る	ありがたい*	慌てる
痛い*	嫌*	いらいらする	恨む	嬉しい*
おかしい*	怒る	惜しい*	恐れる	落ち着く
驚く	面白い*	がっかりする	悲しい*	かわいそう
感じる	嫌い	悔しい*	苦しい*	困る
怖い*	寂しい*	残念*	好き	楽しい*
辛い*	泣く	懐かしい*	悩む	憎い*

恥ずかしい*	腹が立つ	腹を立てる	びっくりする	欲しい*
喜ぶ	笑う			

\*形容詞を検討する時、対応する「一む」動詞、「一がる」接尾辞も一緒に分析する

[表 5] 本研究が選定した研究対象の語句一覧表

5.1.3 では、研究対象とする語句の用例を検討して分析するため、以下のコーパスと辞典（例文集）を用いた。

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』

『名大会話コーパス』

『感情表現辞典』

5.2 節では、感情表現の各語句を分析し、各語句がそれぞれ属すべき分類とその特徴を明らかにした。

5.2.1 から 5.2.38 は、それぞれの語句について分析した。一部の語句は明確な相互・対立関係があるので、ともに分析することにした。

5.3 節では、各分類に属す語句の特徴について分析した。

5.3.1 では、「純粹直接感情表現」に属す語句の特徴を分析した。「純粹直接感情表現」とは内在的、感情主だけが直接知り得る感情の表現の中で、純粹に感情を表す感情表現である。そして、感情形容詞の特徴が「純粹直接感情表現」と一致しているので、すべての感情形容詞はこの分類に属することになる。

また、「愛する」、「恨む」と「恐れる」は品詞としては動詞であるが、意味的に対応する感情形容詞が存在しない。その上、「愛憎」や「恐怖」などの感情は長時間にわたる抽象的、状態的なものであり、外部から単一の反応または動作として判断することは極めて困難であるため、第三者からの観察は不可能なので、「(純粹) 直接感情表現」とすることができ

る。  
「純粹直接感情表現」は、ほとんどが「生起性感情」である。しかし、「怖い」は「恒常性感情」の性質を持ちながら、「純粹直接感情表現」であり、「間接感情表現」を表す時には、「好き／嫌い」のようにそのまま使えず、「怖がる」を使わなければならない。そのため、「怖い」は「直接・間接同形感情表現」には属さないことになる。



### 「純粹直接感情表現」に属す語句の特徴

1. 内在的、感情主だけが直接知り得る、純粹に感情を表す感情表現
2. 外部から観察することができない
3. 生起性感情の性質を有している（怖い例外である）
4. すべての感情形容詞と一部の慣用句が属す

5.3.2 では、「属性直接感情表現」に属す語句の特徴を分析した。「属性直接感情表現」は感情を客観的な基準として物事を評価、判断する表現である。ほとんどの「直接感情表現」の感情は一般的に認識される共通感情であり、「属性直接感情表現」に転用することができる。しかし、その中で一部の「欲求」、「好悪」に関する感情表現は個人的な価値観に大きく左右されるものであり、一般的な基準とすることは不適切なため、「属性直接感情表現」として使うことができない。

また、「直接感情表現」には属さないが、「落ち着く」は慣用用法の「タ形」で、例外として「属性直接感情表現」に属することになる。

### 「属性直接感情表現」に属す語句の特徴

1. 感情を基準としてある物事を評価、判断する表現
2. 主観的な感情表現ではなく、客観的に物事の性質を評価する
3. 欲求、好悪など個人の価値観により標準が大きく変わる感情表現を使うことができない
4. ほとんどの感情形容詞が属す（3. の該当する形容詞は属さない）

5.3.3 では、「直接反応間接感情表現」に属す語句の特徴を分析した。「痛む」は外部の刺激ではなく、感覚主自身の内部の痛みによる反応であるので、感情主視点で直接感情表現のように表すことになり、その反応が外部に表出され、それを観察することは可能かもしれないが、このような用例は調査した限りでは、見つけることができなかった。

### 「直接反応間接感情表現」に属す語句の特徴

1. 本人しか知り得ない生理的反応を表す
2. 動作性が弱く、外から観察しにくい

3. 恒常性感情の性質を有している
4. 感情主自分で表すこと、あるいは外からの推測することが多い

5.3.4 では、「間接反応間接感情表現」に属す語句の特徴を分析した。「間接反応間接感情表現」に属す「一む」動詞（悲しむ、苦しむ）および副詞（する動詞）（いらいらする、がっかりする）は感情・感覚の刺激によって、わずかな反応または様子を被動的に表すことである。しかし、「驚き」や「怒り」のような激しい感情を受けると、しばしば生じた反応が大きくなり、明らかな動作にまで発展するので、「純粹間接感情表現」にも属すことになる。あるいは他の動詞（泣く、嘆く）と結び付いてその動作性が強くなることで「純粹間接感情表現」になることもある（悲しむ）。

#### 「間接反応間接感情表現」に属す語句の特徴

1. ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応
2. 動作性が弱い、反応・様子で観察することができる
3. 主に副詞と感情形容詞に対応する「一む」動詞が属す
4. 「驚き」、「怒り」の感情表現は刺激の強さによって動作まで表すことがある
5. 他の動詞と結び付いて動作性を強くすることがある

5.3.5 では、「純粹間接感情表現」に属す語句の特徴を分析した。純粹間接感情表現として使うことができる語句は、概ね次の三つのグループに分けられる。

- ① 感情形容詞の接尾辞「一がる」、怒る、泣くや笑うなど明確な動作・表情で表す感情表現
- ② 「間接反応間接感情表現」に属す「驚き」または「怒り」を表す語句
- ③ 「直接・間接同形感情表現」に属す語句

また、現在「惜しがる」と「嬉しがる」がほとんど使われなくなっているため、同じ感情形容詞に対応する「惜しむ」、「喜ぶ」がその役割を引き受け、動作性が強くなり、「純粹間接感情表現」に属すことになる。

また、「純粹間接感情表現」に属す語句はほとんどが「生起性感情」である。しかし、「怖

がる」は「恒常性感情」の性質を有し、日常の言動または習慣で観察可能な特徴があるが、対応する感情形容詞「怖い」があるので、「直接・間接同形感情表現」ではなく、「純粹間接感情表現」に属することになる。

#### 「純粹間接感情表現」に属す語句の特徴

1. 外在的、表情または動作などで表わされる感情の表現
2. 動作性が強く、容易に観察可能である
3. すべての接尾辞「一がる」、一部の感情動詞と「一む」動詞が属す
4. 生起性感情の性質を有している（怖がるは例外である）
5. 使用率が低い接尾辞「一がる」の代わりに、「一む」動詞（あるいは同じ感情形容詞に対応する動詞）の動作性が強くなることがある（喜ぶ、惜しむ）

5.3.6 では、「直接・間接同形感情表現」に属す語句の特徴を分析した。この分類に属す語句は「直接感情表現」として使うことができる感情動詞と「間接感情表現」として使うことができる感情形容詞の二つのタイプである。

「愛する」、「恨む」と「恐れる」は品詞としては動詞であるが、対応する感情形容詞が存在しない。その上、「愛憎」や「恐怖」などの感情は瞬間的なものではなく、長時間にわたる抽象的、状态的なものである。これらは外部から単一の反応または動作で判断することが極めて困難なので、直接に観察するのではなく、日常的な言動、習慣などからその「状態」を知ることになる。言い換えれば、感情主がこの種の感情動詞で表す時に、第三者からの観察は不可能なので、「(純粹) 直接感情表現」として使うことができる。

また、「好き」、「嫌い」は、品詞としては感情形容詞であるが、この感情は一時的なものではなく、傾向という長時間にわたる状态的なものなので、「恒常性感情」の性質を有している。従って、感情主を対象にし、その「傾向」を日常の言動、習慣などから「間接感情表現」のように観察することが可能である。

もう一つの例外は、「怖い」、「怖がる」が「恒常性感情」の性質を持ちながら、形容詞と「一がる」の対立関係を有しているということである。このため、「怖い」という傾向を持つ感情主を対象にして観察する時、「好き／嫌い」ように同一の語で表すことはできず、「怖がる」で第三者の傾向を表すことになる。

### 「直接・間接同形感情表現」に属す語句の特徴

1. 「直接感情」も「間接感情」も表せる感情表現
2. 「恒常性感情」の性質を有している
3. 「間接感情表現」で表す時、直接観察することではなく、日常の言動、習慣から知る
4. 「愛憎」、「好悪」、「恐怖」など抽象的、状態的な「傾向」に限る
5. 形容詞と接尾辞「-がる」のような対立関係が存在しない

5.4 節では、各分類に属す語句および特徴を表にしたものである。感情（感覚）を表す各語句を表現形式によって分類すれば、概ね「直接感情表現＝感情形容詞」、「間接反応間接感情表現＝『-む』動詞および副詞、動作性が弱い感情動詞」、「純粹間接感情表現＝接尾辞『-がる』、動作性が強い感情動詞」といった傾向で分けられる。しかし、「喜ぶ」、「惜しむ」は、他の「悲しむ」、「苦しむ」のような間接反応間接感情表現とは異なる分類に属す。また、「好き／嫌い」、「恨む」のような複数の表現形式を持つ言葉も存在する。

直接感情表現		直接・間接同 形感情表現	間接感情表現		
純粹直接感情表現	属性直接感情表現		純粹間接感情表現	間接反応間接感情表現	直接反応間接感情表現
ありがたい	ありがたい	愛する	呆れる	焦る	痛む
痛い	痛い	恨む	焦る	いらいらする	
嫌	嫌	恐れる	慌てる	落ち着く	
嬉しい	嬉しい	好き	ありがたがる	驚く	
おかしい	おかしい	嫌い	痛がる	がっかりする	
惜しい	惜しい		嫌がる	悲しむ	
面白い	面白い		いらいらする	感じる	
悲しい	悲しい		喜ぶ	悔やむ	
かわいそう	かわいそう		嬉しがる	苦しむ	
悔しい	苦しい		おかしがる	困る	
苦しい	怖い		怒る	楽しむ	
怖い	寂しい		惜しむ	懐かしむ	
寂しい	残念		惜しがる	悩む	
残念	楽しい		驚く	憎む	
楽しい	辛い		面白がる	腹を立てる	
辛い	懐かしい		悲しむ	びっくりする	
懐かしい	憎い		悲しがる		
憎い	恥ずかしい		感じる		
恥ずかしい	落ち着く		悔しがる		
腹が立つ			苦しがる		
欲しい			怖がる		
			寂しがる		
			残念がる		
			辛がる		
			泣く		
			……		

[表 1 4] 「感情表現」の各分類の語句一覧表

直接感情表現		直接・間接同 形感情表現	間接感情表現		
純粹直接感情表現	属性直接感情表現		純粹間接感情表現	間接反応間接感情表現	直接反応間接感情表現
ありがたい	ありがたい		ありがたがる		
痛い	痛い		痛がる		痛む
嬉しい	嬉しい		喜ぶ/嬉しいがる		
おかしい	おかしい		おかしがる		
惜しい	惜しい		惜しむ/惜しがる		
面白い	面白い		面白がる		
悲しい	悲しい		悲しむ/悲しがる	悲しむ	
悔しい			悔しがる	悔やむ	
苦しい	苦しい		苦しがる	苦しむ	
怖い	怖い		怖がる		
寂しい	寂しい		寂しがる		
楽しい	楽しい			楽しむ	
辛い	辛い		辛がる		
懐かしい	懐かしい		懐かしがる	懐かしむ	
憎い	憎い			憎む	
恥ずかしい	恥ずかしい		恥じる/恥ずかしがる		
欲しい			欲しがる		

【表 1 5】 感情形容詞および形容詞の動詞化と接尾辞「がる」の一覧表

直接感情表現		直接・間接同 形感情表現	間接感情表現		
純粹直接感情表現	属性直接感情表現		純粹間接感情表現	間接反応間接感情表現	直接反応間接感情表現
嫌	嫌		嫌がる		
かわいそう	かわいそう				
		嫌い			
残念	残念		残念がる		
		好き			

【表 1 6】 感情形容動詞および形容動詞の接尾辞「がる」の一覧表

直接感情表現		直接・間接同 形感情表現	間接感情表現		
純粹直接感情表現	属性直接感情表現		純粹間接感情表現	間接反応間接感情表現	直接反応間接感情表現
		愛する			
			呆れる		
			焦る	焦る	
			慌てる		
			いらいらする	いらいらする	
		恨む			
			怒る		
		恐れる			
	落ち着く			落ち着く	
			驚く	驚く	
				がっかりする	
			感じる	感じる	
				困る	
			泣く		
				悩む	
腹が立つ			腹を立てる	腹を立てる	
			びっくりする	びっくりする	
			笑う		

[表 17] 感情動詞、句（感情形容（動）詞の動詞化を除く）の一覧表

直接感情表現	純粹直接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内在的、感情主だけが直接知り得る、純粹に感情を表す感情表現</li> <li>2. 外部から観察することができない</li> <li>3. 生起性感情の性質を有している（怖いは例外である）</li> <li>4. すべての感情形容詞と一部の慣用句が属す</li> </ol>
	属性直接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感情を基準としてある物事を評価、判断する表現</li> <li>2. 主観的な感情表現ではなく、客観的に物事の性質を評価する</li> <li>3. 欲求、好悪など個人の価値観により標準が大きく変わる感情表現を使うことができない</li> <li>4. ほとんどの感情形容詞が属す（3. の該当する形容詞は属さない）</li> </ol>
間接感情表現	直接反応間接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本人しか知り得ない生理的な反応を表す</li> <li>2. 動作性が弱い、外から観察しにくい</li> <li>3. 恒常性感情の性質を有している</li> <li>4. 感情主自分で表すこと、あるいは外からの推測することが多い</li> </ol>
	間接反応間接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ある対象に対する、あるいは、原因から生じた感情的反応</li> <li>2. 動作性が弱い、反応・様子で観察することができる</li> <li>3. 主に副詞と感情形容詞に対応する「一む」動詞</li> <li>4. 「驚き」、「怒り」の感情表現は刺激の強さによって動作まで表すことがある</li> <li>5. 他の動詞と結び付けて動作性を強くすることがある</li> </ol>
	純粹間接感情表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外在的、表情または動作などで表わされる感情の表現</li> <li>2. 動作性が強い、容易く観察することができる</li> <li>3. すべての接尾辞「一がる」、一部の感情動詞と「一む」動詞が属す</li> <li>4. 生起性感情の性質を有している（怖がるは例外である）</li> </ol>



		<p>5. 使用率が低い接尾辞「一がる」を取り替わるため、「一む」動詞（あるいは同じ感情形容詞に対応する動詞）の動作性が強くなることがある（喜ぶ、惜しむ）。</p>
<p>直接・間接同形感情表現</p>		<p>1. 「直接感情」も「間接感情」も表せる感情表現  2. 「恒常性感情」の性質を有している  3. 「間接感情表現」で表す時、直接観察することではなく、日常の言動、習慣から知ることである  4. 「愛憎」、「好悪」、「恐怖」など抽象的、状態的な「傾向」に限る  5. 形容詞と接尾辞「一がる」のような対立関係が存在しない</p>

[表 1 8] 「感情表現」の各分類の特徴

以上が本論文のまとめである。

将来の展望としては、本研究では感情表現の表現形式による分類を行った。しかし、現段階では、未だ基礎研究の段階にあり、より体系的な指導法を考えるまでには至っていない。将来の展望としては、各感情における言葉の数がまだ不足していると思う。学習者が感情を表そうとする時に、調べやすい検索表を作成するためには、さらに分析対象を増やす必要があると考える。さらに、これらを基に、教材を含め、感情表現の使い分けの指導法を研究していくことを今後の課題としたい。

## 参考文献

- 青木 陽子 (2014) 「小説における視点の問題」『民主文学五月号』日本民主主義文学会
- 石黒 利江子 (2012) 「「憎い」と「憎らしい」に関する考察」『言葉と文化』13号、名古屋  
大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻
- 井上 宗雄 (1992) 『例解慣用句辞典』創拓社
- 王 安 (2005) 「現代日本語の感情形容詞における主観性の認知的再考」『日本認知言語学会  
論文集』日本認知言語学会
- 大曾 美恵子 (2001) 「感情を表す動詞・形容詞に関する一考察」『言語文化論集』22巻2号、  
名古屋大学大学院国際言語文化研究科
- 大谷 伊都子 (2014) 「感覚動詞の意味・用法」『研究紀要』梅花女子大学短期大学部
- 小野 正弘 (2007) 『日本語オノマトペ辞典』小学館
- 加藤 恵梨 (2011) 『感情を表す形容詞の意味分析』名古屋大学大学院国際言語文化研究科
- 加藤 由紀子 (2001) 「感情表現における動詞とその周辺」『岐阜大学留学生センター紀要』  
岐阜大学留学生センター
- 神尾 昭雄 (1990) 『情報のなわ張り理論一言語の機能的分析』大修館書店
- 賀 耀明 (2014) 「古文における感情形容詞・感情動詞の一考察：「楽し」・「楽しむ」を中  
心に」『岡山商大論叢』岡山商科大学学会
- 韓 金柱 (2008) 「感情形容詞と「がる」との接続」『東京外国語大学日本研究教育年報』東  
京外国語大学日本課程
- 韓 金柱 (2011) 「感情形容詞に対応する「～む」動詞について—「～がる」との比較を視  
野に入れて—」『言語・地域文化研究』東京外国語大学大学院
- 北原 保雄 編 (2010) 『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店
- 金水 敏 (1989) 「「報告」についての覚書」『日本語のモダリティ』くろしお出版
- 金田一 春彦 (1976) 『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房
- 工藤 真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト』ひつじ書房
- 倉持 保男 (1986) 「「腹が立つ」と「腹を立てる」」、『松村明教授古稀記念国語研究論集』  
明治書院

- 小泉 保・本田 凡治・塚本 秀樹・船城 道雄・仁田 義雄（1989）『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店
- 小出 慶一（2013）「感情表現の体系について」『埼玉大学紀要、教養学部』49 卷 1 号、埼玉大学教養学部
- 国立国語研究所（1962）『現代雑誌九十種の用語用字』国立国語研究所報告 21 秀英出版
- 国立国語研究所（1984）『日本語教育のための基本語彙調査』国立国語研究所報告 78 秀英出版
- 小竹 直子（2007）「日本語の感情表現における動詞と形容詞の対立——形態的に対応する動詞と形容詞の比較に焦点を当てて」『電子情報通信学会技術研究報告：信学技報』107(138)号、東京：電子情報通信学会
- 蔡 嘉紘（2015）「感情を表す表現体系に関する考察—感情動詞に関する先行研究の分析と検討—」2015 年度第 10 回日本語教育学会研究集会
- 蔡 嘉紘（2015）「感情を表す表現体系に関する考察—研究対象についての再検討—」拓殖大学大学院言語教育研究科
- 蔡 嘉紘（2017）「感情を表す表現体系に関する考察—感情動詞を中心に—」『言語教育研究』拓殖大学大学院言語教育研究科
- 蔡 嘉紘（2017）「感情の表現形式による分類を検討する—直接・間接同形感情表現について—」拓殖大学大学院言語教育研究科
- 蔡 嘉紘（2017）「直接感情表現と間接感情表現に関する再考」第 21 回東アジア日本語教育・日本文化研究学会国際学術大会
- 蔡 嘉紘（2018）「感情を表す表現体系の分類方法の再構成—瞬間的感情と恒常的感情を再考する—」『言語教育研究』拓殖大学大学院言語教育研究科
- 新屋 映子（1995）「「彼女を好きだ」という言い方—感情形容詞の他動性について」『桜美林論集. 一般教育篇』「桜美林論集」編集委員会
- 関口 美緒（2012）「日本語感覚動詞の特徴」『言語と交流』凡人社
- 関口 美緒（2014）「完了・完遂の局面動詞との結合関係から分析した「心理動詞のアスペクト」」『言語と交流』凡人社
- 高橋 萌（2010）「擬情語について」『国文』113 号、お茶の水女子大学国語国文学会
- 寺村 秀夫（1982）『日本語のシンタクスと意味 I』くろしお出版
- 中村 明 編（1993）『感情表現辞典』、東京堂出版

- 西尾 寅弥 (1972) 『形容詞の意味・用法の記述的研究』、国立国語研究所報告 44 秀英出版
- 西尾 実・岩淵 悦太郎・水谷 静夫 編 (2009) 『岩波国語辞典 第七版』岩波書店
- 馬場 典子 (2001-03) 「感情動詞のテンス・アスペクトについての—考察—怒りを表す動詞  
(句) の場合」『言葉と文化』2号、名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文  
化専攻
- 馬場 典子 (2001-06) 「怒りの直接表出表現「ハラガタツ、アタマニクル、ムカツク」の意  
味分析」『日本語教育論集 世界の日本語教育 第11号』、国際交流基金
- 馬場 典子 (2001-09) 「怒りを表す動詞(句) の分類とその特徴」『日本語文法』1号、日本  
語文法学会
- 馬場 典子 (2001-12) 「程度の高い怒りを表す動詞(句) の意味分析：ゲキドスル、ギャク  
ジョウスル、キレル、カンシャクヲオコス」『ことばの科学』14巻、名古屋大学言語文  
化部言語文化研究会
- 原沢 伊都夫 (2010) 「心の状態を表す動詞の再分類」『静岡大学国際交流センター紀要』静  
岡大学国際交流センター
- 飛田 良文・浅田 秀子 (1991) 『現代形容詞用法辞典』東京堂出版
- 飛田 良文・浅田 秀子 (2002) 『現代擬音語擬態語用法辞典』東京堂出版
- 藤村 逸子・大曾 美恵子・大島 デイヴィッド義和 (2011) 「会話コーパスの構築によるコ  
ミュニケーション研究」藤村 逸子、滝沢 直宏 編『言語研究の技法：データの収集  
と分析』pp43-72、ひつじ書房
- 益岡 隆志 (1997) 「表現の主観性」『視点と言語行動』くろしお出版
- 町田 健 (1989) 『日本語の時制とアスペクト』アルク
- 宮島 達夫 (1972) 『動詞の意味・用法の記述的研究 第7版』国立国語研究所報告 43 秀  
英出版
- 森田 良行 (2010) 『日本語の慣用表現辞典』東京堂出版
- 森山 卓郎 (1983) 「動詞のアスペクチュアルな素性について」『待兼山論叢』大阪大学大学  
院文学研究科
- 森山 卓郎 (1988) 『日本語動詞述語文の研究』明治書院
- 柳沢 浩哉 (1995) 「テイル形の非アスペクト的意味(2)：報告性の射程」『人文学教育研究  
22号』人文学教育学会
- 山岡 政紀 (1998) 「感情表出動詞文の分類と語彙」『日本語日本文学 第8号』創価大学日

本語日本文学会

山岡 政紀 (1999) 「感情表出動詞の文法的特徴」『日本語日本文学 第 9 号』創価大学日本語日本文学会

山岡 政紀 (2000) 「感情変化動詞の語彙と文法的特徴」『日本語日本文学 第 10 号』創価大学日本語日本文学会

山岡 政紀 (2002) 「感情描写動詞の語彙と文法的特徴」『日本語日本文学 第 12 号』創価大学日本語日本文学会

山田 忠雄他 編 (2011) 『新明解国語辞典 第七版』三省堂

吉永 尚 (2004) 「感覚動詞の非状態性について」『そのだ語文』園田学園日本語日本文学懇話会

劉 笑明 (1997) 「モダリティから見た主体——感情表現を中心に」、『国語国文研究』106 号、北海道大学国語国文学会

劉 笑明、吉田 則夫 (2003) 「感情・感覚表現におけるモダリティの体系と構造」『岡山大学教育学部研究集録』123 号、岡山大学教育学部学術研究委員会

廖 紋淑 (2005) 「局面動詞「～始める」、「～続ける」、「～終わる/～終える」と内的情態動詞との共起関係についての記述的研究」『言葉の科学』名古屋大学言語文化研究会

国立国語研究所 (2011) 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ:Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese) 国立国語研究所

大曾美恵子他 (2011) 『名大コーパス』国立国語研究所